

授業科目名	人間と哲学	科目コード	K0102P03
英文名	Humans and Philosophy		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 人間理解		
------	-----------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	大藪 敏宏
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	5限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>人間には「したいこと・したくないこと」という区別のほかに、「していいこと・してはいけないこと」という区別があります。人は動物的に生きるだけでは満足することができません。こうしたことを発見した人類の精神史をたどりながら、哲学的思考の特徴について理解を深めていきます。また、必要に応じて現代的な問題の資料やビデオ教材を使って、現代の時事的な問題や現実の問題について議論していきます。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	理性	不安	歴史		
-------	----	----	----	--	--

到達目標	議論することの大切さや、人間にとっての理性の重要性を理解する。				

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）		21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	講義概要と受講上の注意点	
	【予習】現代的な問題について理解を深める。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第2回	現代における哲学...現代の問題から最近の大学教育について学ぶ。	
	【予習】時事的な問題の中に哲学的問題を探す。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容と哲学をノートにまとめる	30分
第3回	対話と哲学...哲学における議論や対話をする実践の意義	
	【予習】資料等をもとに、アクティブラーニングについて調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とアクティブラーニングについてノートにまとめる。	30分
第4回	哲学的な問いとは...大学教育における哲学の事例研究	
	【予習】アクティブラーニングについて調べて理解を深める。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とアクティブラーニングについてノートにまとめる。	30分
第5回	理性と社会(共同体)...人間の価値と共同体との関係	
	【予習】共同体主義の哲学を調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容共同体主義についてノートにまとめる	30分
第6回	人類の本質と歴史...理性の不安の目覚めと人類史	
	【予習】ロールズのリベラリズムについて調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とロールズについてノートにまとめる	30分
第7回	さまざまな歴史の見方...歴史をどう見るかについての議論	
	【予習】リベラリズム等の歴史の見方について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とリベラリズムについてノートにまとめる	30分
第8回	近代的な歴史の見方...近代啓蒙哲学の歴史の見方	
	【予習】百科事典等で、啓蒙哲学について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容と啓蒙についてノートにまとめる	30分
第9回	現代的な歴史の見方...時事資料にみる現代の歴史観	
	【予習】百科事典等で、K.ヤスパースについて調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とヤスパースについてノートにまとめる	30分

第10回	人類史の基軸となった時代...20世紀の歴史観	
	【予習】百科事典等で、K.ヤスパースの歴史観について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とヤスパースの歴史観についてノートにまとめる	30分
第11回	神話から哲学へ...規範の変遷	
	【予習】百科事典等で、ギリシア哲学について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とギリシア哲学についてノートにまとめる	30分
第12回	自然の哲学...原理的思考の誕生	
	【予習】ギリシア哲学の自然哲学について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とギリシアの自然哲学についてノートにまとめる	30分
第13回	ピタゴラスの哲学宣言...哲学の本質的特徴	
	【予習】ピタゴラスについて、百科事典等で調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とピタゴラスについてノートにまとめる	30分
第14回	人間と社会	
	【予習】ソフィストについて、百科事典等で調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とソフィストについてノートにまとめる	30分
第15回	西洋理想主義哲学の源流...人間の心の発見	
	【予習】ソクラテスについて、百科事典等で調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とソクラテスについてノートにまとめる	30分
第16回	期末試験	
	【予習】	30分
	【復習】	30分

評価方法	期末試験又はレポート（70％）受講学習状況等の平常点（30％）で総合的に判断 人間性：40％、 社会性：30％、 専門性：30％ 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	必要に応じて指示する。 H.サンデル『ハーバード白熱教室講義録（
授業外学修等	新聞やニュース等の現代の問題を読むとともに、授業に出た難しい言葉の意味を辞事典で調べて消化吸収する。		
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に随時、研究室等で受けつけます。		
オフィス・アワー	水曜2限 研究室		

授業科目名	社会学	科目コード	K0202L03
英文名	Sociology		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解
------	-----------------------

職名	教授	担当教員名	大藪 敏宏
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	5限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>アリストテレスは、「人間は本性上、社会的存在である」という言葉を残しました。この言葉は、人間は社会性を離れては人間の本質を失う、ということの意味します。だとすれば人間の社会性とは何か、ということを理解することなしに、「人間の尊厳」も「個人の尊厳」も重んじることは難しいことになります。</p> <p>たとえば、社会福祉法は「福祉サービスは、個人の尊厳の保持を旨とし」と明記しています。人間らしく生きるためにどのような福祉が必要かを念頭に、「個人と社会」を軸に人間の本質をなす社会性と社会システムについて、多面的に学びます。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	社会	コミュニティ	社会システム	社会構造	家族
-------	----	--------	--------	------	----

到達目標	社会学について理解を深め、「社会を見る眼」を養い、社会問題の改善について考える視点を得る。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1.「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養		2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援		

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	現代社会と西欧近代社会の特色	
	【予習】百科事典や教科書等によって、近代や近代化について調べておく。	30分
	【復習】近代市民社会の特色を整理する。	30分
第2回	社会学とは何か	
	【予習】事典や教科書等によって、社会学と他の社会科学との違いについて調べる。	30分
	【復習】社会学の特色について整理しておく。	30分
第3回	社会システムとは	
	【予習】事典や教科書等によって、社会システムについて調べる。	30分
	【復習】社会システム理論について、整理しておく。	30分
第4回	法と社会システムの関係	
	【予習】事典や教科書等によって、法の疎遠性等について調べておく。	30分
	【復習】法の普遍性等について、整理しておく。	30分
第5回	経済と社会システムの関係	
	【予習】事典や教科書等によって、交換と市場について調べておく。	30分
	【復習】市場における力の不均衡等について、整理しておく。	30分
第6回	社会変動とは何か	
	【予習】事典や教科書等によって、社会変動について調べる。	30分
	【復習】近代化の社会変動等について、整理する。	30分
第7回	社会変動と福祉国家	
	【予習】事典や教科書等によって、福祉国家とは何かについて調べる。	30分
	【復習】社会変動と福祉国家について、整理しておく。	30分
第8回	生活をめぐる現代的状況	
	【予習】事典や教科書等によって、生活のとらえ方について調べる。	30分
	【復習】生活をめぐる現代的状況等について、整理しておく。	30分

第9回	家族の機能の変化	
	【予習】社会学事典や教科書等によって、家族という社会現象について調べておく。	30分
	【復習】家族の機能等について整理しておく。	30分
第10回	地域とコミュニティ	
	【予習】社会学事典や教科書等によって、地域やコミュニティについて調べる。	30分
	【復習】地域社会の集団や組織について、整理しておく。	30分
第11回	社会的行為とホブズ問題	
	【予習】哲学事典や社会学事典や教科書等によって、T.ホブズについて調べる。	30分
	【復習】社会学的秩序問題について、整理しておく。	30分
第12回	社会集団の類型と支配システム	
	【予習】社会学事典や教科書等によって、社会集団の類型について調べてみる。	30分
	【復習】社会学的社会集団の概念について、整理しておく。	30分
第13回	個人的合理性と社会的合理性のジレンマ	
	【予習】哲学事典や教科書等によって、個人的合理性について調べておく。	30分
	【復習】個人的合理性と社会的合理性の矛盾等について、整理しておく。	30分
第14回	社会病理と逸脱	
	【予習】事典や教科書等によって、社会病理について調べておく。	30分
	【復習】社会学の諸問題について、まとめる。	180分
第15回	社会学と社会問題、福祉	
	【予習】社会学事典や教科書等によって、社会問題について調べておく。	30分
	【復習】社会問題への社会学の取り組み方について、整理しておく。	30分
第16回	期末試験またはレポート	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験又はレポート（70%）、出席学修状況などの平常点（30%）で総合的に判断 人間性：40%、 社会性：30%、 専門性：30% 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	社会福祉士養成講座編集委員会編『社会理論と社会システム』（新・社会福祉士養成講	使用資料 <参考図書>	必要に応じて指示する。
授業外学修等	テキストを予習・復習し、テキストや授業に出てきた日本語や専門用語で自信のない概念を辞事典等で調べて消化する。		
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に随時、研究室等で受けつけます。		
オフィス・アワー	水曜2限(大藪) 研究室		

授業科目名	世界の言語と文化	科目コード	K0302L05
英文名	World Languages and Cultures		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応
------	------------------------

職名	教授	担当教員名	福島 美枝子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>世界の言語と文化について学び、異文化間コミュニケーションの面白さや難しさ、そして多文化共生の重要性について考えます。「言語」から見た世界と日本、および「文化」概念について学んだ後、フランスなどについてDVDで学び、さらにインド、韓国、アメリカ、ベトナム、ブラジル、中国について外部招聘講師の講義によって学びます。それぞれの国のことば、文化、社会について知識を深め、同時に外国の人々の目に映る日本や富山について考えます。（外部講師による授業は講師の都合により国や順番を変更する場合があります。）</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	多言語・多文化の世	言語の系統	言語の種類	諸外国探訪	多文化共生
-------	-----------	-------	-------	-------	-------

到達目標	言語の系統, 類型, 文化概念について学んだことを平易な言葉で表現することができる。
	講義内容を通して対象国について関心を高め、疑問や課題に取り組むことができる。
	授業を通して得た各自の課題に関して調査・研究を遂行できる。できるだけ主体的、対話的で深い学びにすることを求める。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(1) 科目紹介 (2) 世界のあいさつことば～その意味は？ (3) 富山県在住の外国籍の人々	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	(1) 言語から見た世界と日本～系統（語族）と類型	
	【予習】世界の言語予習ワークシート	20分
	【復習】言語の系統と類型に関する学習内容の復習（次回小テスト）	30分
第3回	DVD視聴 (1)外国語入門編 (2) 世界遺産探訪	
	【予習】（1）関心のある外国語について旅行者用フレーズを調べる	30分
	【復習】世界遺産についての学習内容の復習	30分
第4回	ビデオ英語教材による世界探訪：インドとフランス～国を見る視点について	
	【予習】インドとフランスについて既知事項をまとめてみよう	30分
	【復習】インドとフランスについて新しく知ったことを復習し、さらに知りたいことを考えてみよう	30分
第5回	インドのことばと文化（外部招聘講師による講義）	
	【予習】インドについて既知っていることやこれから知りたいことをまとめて書いてみよう	20分
	【復習】講義後の感想や疑問をまとめてみよう	40分
第6回	韓国のことばと文化（外部招聘講師による講義）	
	【予習】韓国について既知っていることやこれから知りたいことをまとめて書いてみよう	30分
	【復習】講義後の感想や疑問をまとめてみよう	30分
第7回	アメリカのことばと文化（外部招聘講師による講義）	
	【予習】アメリカについて既知っていることやこれから知りたいことをまとめて書いてみよう	30分
	【復習】講義後の感想や疑問をまとめて書いてみよう	30分
第8回	ブラジルのことばと文化（外部招聘講師による講義）	
	【予習】ブラジルについて既知っていることやこれから知りたいことをまとめて書いてみよう	20分
	【復習】講義後の感想や疑問をまとめて書いてみよう	40分
第9回	ベトナムのことばと文化（外部招聘講師による講義）	
	【予習】ベトナムについて既知っていることやこれから知りたいことをまとめて書いてみよう	30分
	【復習】講義後の感想や疑問点をまとめて書いてみよう	30分

	グループ研究プロジェクト（1）立案と資料収集	
第10回	【予習】研究テーマを考えてみよう	30分
	【復習】資料収集を始める	60分
	中国のことばと文化（外部招聘講師による講義）	
第11回	【予習】中国について既に知っていることやこれから知りたいことをまとめて書いてみよう	30分
	【復習】講義後の感想や疑問をまとめて書いてみよう	30分
	外国にルーツを持つ子ども達への支援について	
第12回	【予習】県内在住の人々と子ども達の問題について考えてみよう	30分
	【復習】「多文化共生」についてあなた自身の考えをまとめてみよう	40分
	グループ研究プロジェクト（2）まとめと発表準備	
第13回	【予習】グループごとにまとめの準備	60分
	【復習】発表準備	60分
	グループ研究 成果発表会（1）およびフィードバック	
第14回	【予習】発表の準備とリハーサル	60分
	【復習】他のグループから学んだことをまとめる	30分
	グループ研究 成果発表会（2）およびフィードバック	
第15回	【予習】発表の準備とリハーサル	60分
	【復習】他のグループから学んだことをまとめる	30分
	期末試験（言語の系統・類型などに関する事項の説明・多文化共生または異文化間コミュニケーションに関するエッセイ）	
第16回	【予習】1学期間の学びをもとに知識と考えをまとめる	60分
	【復習】研究発表と期末試験の振り返り	30分

評価方法	1. 平常点 (授業での活動・課題・振り返り) (20%) 2. 期末試験 (40%) 3. グループ研究 (40%)		
使用資料 <テキスト>	授業の中でプリント教材配付。ビデオやDVDの視聴も行ないます。	使用資料 <参考図書>	適宜授業で紹介します。
授業外学修等	授業外学修は復習を中心にします。毎回学んだ内容と疑問点をノートにまとめ、調査・研究活動につないでいくことを求めます。		
授業外質問方法	・ 研究室 (#311) での面談 または Eメールでの連絡 mifuku@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	火曜日 2限		

授業科目名	異文化研修	科目コード	K0306F06
英文名	International Cultural Exchange for Children		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応		
------	------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	福島 美枝子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>今年度の訪問国はカナダです。日本でよく名の知られた国ですが、意外と知らないことが多いのも事実です。この国の広大な自然や多民族の街、そしてそこに暮らす人々との交流を通して、国際的な視野やコミュニケーション能力を養いたいと思います。事前授業で十分に準備をしたのち、レスブリッジ大学（アルバータ州）で研修を行います。帰途はバンクーバー（ブリティッシュコロンビア州）で名所旧跡を訪問し、広大な自然と大都市の両方を鑑賞する予定です。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	カナダ	広大な自然	多民族社会	大学での研修	交流活動
-------	-----	-------	-------	--------	------

到達目標	訪問国カナダの地理、歴史、社会、教育について基礎的な知識を習得し、さらに各自の関心事に関する調査・研究を行なう。				
	現地での交流を通して英語による国際的なコミュニケーション力や自己表現力を養う。				
	コミュニケーションの場面や目的に相応しい英語表現を学び、そうした表現を自身で見つける方法についても学ぶ。				
	現地の文化財や自然環境の鑑賞と、日本の良さへの気づき。				
	視野を広げ、異なる文化を持つ人々の共存について考える。				

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Learning about Canada: (1) geography and history; (2) diversity; (3) how to get information for your research study	
	【予習】	
	【復習】 a worksheet for reviewing	30分
第2回	Learning about Canada: (3) politics; (4) Canadian education system	
	【予習】	
	【復習】 a worksheet for reviewing	30分
第3回	Learning about Alberta and the University of Lethbridge: (1) Lethbridge; (2) The university of Lethbridge; (3) Program for TUINS students	
	【予習】 searching information about the city of Lethbridge and the University of Lethbridge on the Internet	30分
	【復習】 a worksheet for reviewing	30分
第4回	English conversation practice: (1) situation-based learning; (2) communicative-function-based learning	
	【予習】 making a list of useful expressions in English for daily conversation	30分
	【復習】 saying the learned expressions aloud several times to acquire them	30分
第5回	Guidance for the participants' own research study on a topic about Canada	
	【予習】 making a list of the things and questions about Canada of your interest	30分
	【復習】 setting up your own research topic/s and finding useful books and articles .	60分
第6回	English conversation practice: (3) English for homestay; (4) questions you want to ask	
	【予習】 searching information on English for homestay on the Internet	30分
	【復習】 saying the learned expressions aloud several times to acquire them	30分
第7回	Each participant's report on his/her own research study about Canada	
	【予習】 getting ready to speak about what you have explored so far regarding the thing/s of your interest	60分
	【復習】 clarifying what to be further looked into for your research	30分
第8回	Preparing for the meetings with Uleth students, elementary school students, and daycare children: (1) working on your own ideas	
	【予習】 working on some ideas of activities, either for: Group 1: Uleth students; Group 2: daycare children; or Group 3: elementary school children	30分
	【復習】 clarifying what to be made for the selected activities	30分

第9回	Preparing for the meetings with Uleth students, elementary school students, and daycare children: (2) making materials for the meetings	
	【予習】 asking the teacher to get necessary papers, scissors, glues, pens, taes, etc.	20分
	【復習】 checking to see if all the materials are ready	20分
第10回	Preparing for the meetings with Uleth students, elementary school students, and daycare children: (3) rehearsing; (4) preparing for lesson observation:	
	【予習】 writing a speech draft and rehearsing	60分
	【復習】 setting up particular viewpoints for lesson observation and questions to ask in an interveiw with: 1) Uleth students; 2) early childhood educators; and 3) elementary school teachers	30分
第11回	Guidance for crisis management	
	【予習】	
	【復習】 reading the TUIINS booklet and the teacher's advice on crisis management again at home	30分
第12回	Cross-cultural study abroad in Canada: from early March to middle March (2 weeks) Part 1 10-day custom program offered by the University of Lethbridge: English lessons; learning about Canada (diversity, education system, etc), meeting with education students, visiting the campus daycare, meeting with elementary school students, Conversation Cafe with Canadian students, etc.	
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回	Part 2 Visiting famous places in Vancouver Gastown, Grouse Mountain, Capilano Suspension Bridge, Granville Island, Stanley Park, etc.	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	Students are required to submit their term papers a couple of days after getting back to Toyama, Japan.	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	(1)事前授業とカナダでの研修への取り組み(50%) (2)レポート(50%)・・・帰国後早期に提出		
使用資料 <テキスト>	授業でプリント教材配付	使用資料 <参考図書>	・授業で適宜紹介
授業外学修等	<p>1. 事前授業段階から始める個人研究に熱心に取り組み、最終的な成果をレポートにまとめます。情報源の探し方も学びます。</p> <p>2. 構えず、自然体で、英語を使ってやりとりをしてみようと思う気持ちが大事です。日常的に、自分に必要な英語表現を自分で 見つけ、それを使ってみる習慣を身につけてください。</p>		
授業外質問方法	研究室での面談、またはメールでの連絡 mifuku@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	インターナショナルプログラムズ(長期)	科目コード	K0306F07
英文名	Current Issues in Japan		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応		
------	------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	福島 美枝子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	12単位

授業の概要	<p>本プログラムは、原則として3カ月以上、1年以下の留学プログラムである。留学先は、フランス、オーストラリア、マルタ、米国、カナダ、中国、韓国等の本学との提携校である。現地での語学研修のプログラム内容は留学先で異なるが、派遣前指導、派遣後指導を行い、受講時間数ならびに成績によって単位を与える。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	語学のスキルアップ	異文化理解			
-------	-----------	-------	--	--	--

到達目標	語学研修プログラムを通して、語学のスキルアップを図る。			
	ホームステイや学生寮での生活を通して、現地の人々との交流を図る。			

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)		
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上		

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	派遣前指導、派遣先大学の状況、生活等について説明。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	事後指導、本学における単位認定請求の資料作成。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	現地研修の時間数や成績に応じて、単位を与える。評価は、認定単位 (P)とする。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	インターナショナルプログラムズ(短期)	科目コード	K0306F08
英文名	Current Issues in the World		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応		
------	------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	福島 美枝子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	4単位

授業の概要	<p>本プログラムは、2週間～5週間の留学プログラムである。留学先は、フランス、オーストラリア、マルタ、米国、カナダ、中国、韓国等の本学との提携校である。現地での語学研修のプログラム内容は留学先で異なるが、派遣前指導、派遣後指導を行い、受講時間数ならびに成績によって単位を与える。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	語学のスキルアップ	異文化理解		
-------	-----------	-------	--	--

到達目標	語学研修プログラムを通して、語学のスキルアップを図る。			
	ホームステイや学生寮での生活を通して、現地の人々との交流を図る。			

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	派遣前指導、派遣先大学の状況、生活等について説明。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	事後指導、本学における単位認定請求の資料作成。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	現地研修の時間数や成績に応じて、2～4単位を与える。評価は、認定単位(P)とする。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	TOEIC	科目コード	K0306L04
英文名	TOEIC		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応		
------	------------------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	小林 佳奈子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>TOEIC各パートの解き方や対策を学び、応用問題に取り組みます。 4技能のトレーニング方法を身につけ、自主学習の方法を学びます。 TOEICのスコアアップを狙うとともに、スコア同等の英会話力を身につけます。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	TOEIC	Speaking	Listening	Reading	
-------	-------	----------	-----------	---------	--

到達目標	英語学習における自分自身の目標を設定し、その達成のために計画的に学習を進める力をつける。また、目標達成のためにどのような学習が必要なのかを知る。				
	TOEICの攻略法を学習し、実際の試験でそれを活かす力を身につける。				
	英語における4技能のトレーニング方法を身につけ、自律した学習者を目指す。				
	英会話の基礎を身につける。				

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	「人」としての資質・能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction TOEICとは 英語学習・TOEICの目標設定 【ゼロドリ】第1章 英文の基本、これからの学習について	
	【予習】	
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.10～p.19、p.24～27 基本ドリル 練習 練習方法は授業中に学習します。	90分
第2回	TOEIC Part 1 対策 基本問題・リスニングトレーニング(短文) 【ゼロドリ】第1章p.42～p.45	
	【予習】【ゼロドリ】第1章p.30～p.31	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.42～p.45 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第3回	TOEIC Part 5 対策 問題パターンの見分け 【ゼロドリ】第1章p.46～p.49	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.46～p.49 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第4回	TOEIC Part 2 対策 基本問題 【ゼロドリ】第2章p.58～p.61、p.64～p.65、p.68～73、p.76～p.77	
	【予習】【ゼロドリ】第2章p.58～p.61、p.68～73 会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.58～p.61、p.64～p.65、p.68～73、p.76～p.77 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第5回	TOEIC Part 5 対策 文法問題の解き方 【ゼロドリ】第2章p.84～p.85、p.88～p.89、p.92～93	
	【予習】【ゼロドリ】第2章p.84～p.85 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.84～p.85、p.88～p.89、p.92～93 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第6回	TOEIC Part 1 対策 難問対策 【ゼロドリ】第2章p.94～p.97、第4章p.120～p.123、p.128～p.129	
	【予習】TOEIC Part 1 対策 で学習した内容 【ゼロドリ】第2章p.94～p.95、第4章p.120～p.123 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.94～p.97、第4章p.120～p.123、p.128～p.129 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分

第7回	TOEIC Part 5 対策 実践練習 【ゼロドリ】第5章p.138～p.145	
	【予習】TOEIC Part 5 対策 で学習した内容 【ゼロドリ】第5章p.138～p.141 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第5章p.138～p.145 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 5 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第8回	TOEIC Part 2 対策 難問対策 【ゼロドリ】第5章p.146～p.147、第6章p.156～p.159	
	【予習】TOEIC Part 2 対策 で学習した内容 【ゼロドリ】第6章p.156～p.157 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第5章p.146～p.147、第6章p.156～p.159 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 2 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第9回	Part 7 時間配分・速読トレーニング 【ゼロドリ】第6章p.160～p.163	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第6章p.160～p.163 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 7 速読トレーニング 学習方法は授業中に説明します。	150分
第10回	TOEIC Part 3 対策 リスニングトレーニング(長文) 【ゼロドリ】第1章p.28～p.29、p.50～p.55	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.28～p.29、p.50～p.55 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 【TOEIC】Part 3 リスニングトレーニング 学習方法は授業中に説明します。	150分
第11回	TOEIC Part 3 対策 問題の解き方 【ゼロドリ】第2章p.82～p.83、p.98～p.102	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.82～p.83、p.98～p.102 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 【TOEIC】Part 3 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第12回	TOEIC Part 4 対策 問題の解き方 【ゼロドリ】第3章p.114～p.117	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第3章p.114～p.117 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 【TOEIC】Part 4 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分

第13回	TOEIC Part 7 対策 問題の解き方 【ゼロドリ】第4章p.132～p.135	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。 【TOEIC】Part 7 問題 予習方法は第12回の授業中に説明します。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第4章p.132～p.135 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 【TOEIC】Part 7 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第14回	TOEIC対策の復習 【ゼロドリ】第5章p.150～p.153	
	【予習】【TOEIC】学習した対策復習	60分
	【復習】【ゼロドリ】第5章p.150～p.153 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 【TOEIC】実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第15回	会話練習の復習 【ゼロドリ】第6章p.164～p.167、語彙リストp.168～p.175	
	【予習】	
	【復習】【ゼロドリ】第6章p.164～p.167、語彙リストp.168～p.175 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 期末試験に向けて学習	180分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 、 、 については、授業中に指定する課題への取り組み、授業への出席、参加態度を中心に評価する。(50%)) 到達目標 については、期末筆記テストで評価する。(50%) なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	・公式TOEIC®Listening & Reading問題集 6 (IIBC)	使用資料 <参考図書>	英英辞書、もしくは英和辞書(電子辞書、 携帯アプリ可)
授業外学修等	タスクを計画的に行うことを強く推奨します。予習よりも復習に比重を多く置いています。やり方は講義内で説明致します。 。毎授業冒頭に、【ゼロドリ】の復習ができていないかチェックテストを行います。ペアでチェックし、その評価を講師が確認 します。		
授業外質問方法	授業前または終了後		
オフィス・アワー	授業前または終了後、非常勤講師控室で対応致します。		

授業科目名	TOEIC	科目コード	K0306P03
英文名	TOEIC		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応
------	------------------------

職名	非常勤講師	担当教員名	小林 佳奈子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	1年・2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	TOEIC各パートの解き方や対策を学びます。4技能のトレーニング方法を身につけ、自主学習の方法を学びます。TOEICのスコアアップを狙うとともに、スコア同等の英会話力を身につけます。			
-------	---	--	--	--

キーワード	TOEIC	Speaking	Listening	Reading
-------	-------	----------	-----------	---------

到達目標	英語学習における自分自身の目標を設定し、その達成のために計画的に学習を進める力をつける。また、目標達成のためにどのような学習が必要なのかを知る。
	TOEICの攻略法を学習し、実際の試験でそれを活かす力を身につける。
	英語における4技能のトレーニング方法を身につけ、自律した学習者を目指す。
	英会話の基礎を身につける。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
------	-------	-----	-------	-------	-------------------

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	「人」としての資質・能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
------------	-----	-------	-------	-------

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
-------	-------	----------	--------	------------	--------------

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction TOEICとは 英語学習・TOEICの目標設定 【ゼロドリ】第1章 英文の基本、これからの学習について	
	【予習】	
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.10～p.23 基本ドリル 練習 練習方法は授業中に学習します。	90分
第2回	TOEIC Part 1 対策 基本問題・リスニングトレーニング(短文) 【ゼロドリ】第1章p.30～p.33	
	【予習】【ゼロドリ】第1章p.30～p.31	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.30～p.33 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第3回	TOEIC Part 5 対策 問題パターンの見分け 【ゼロドリ】第1章p.34～p.37	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.34～p.37 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第4回	TOEIC Part 2 対策 基本問題 【ゼロドリ】第1章p.38～p.41	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.38～p.41 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第5回	TOEIC Part 5 対策 文法問題の解き方 【ゼロドリ】第2章p.58～p.63、p.66～p.67	
	【予習】【ゼロドリ】第2章p.58～p.61 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.58～p.63、p.66～p.67 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第6回	TOEIC Part 1 対策 難問対策 【ゼロドリ】第2章p.68～p.75、p.78～p.79	
	【予習】TOEIC Part 1 対策 で学習した内容 【ゼロドリ】第2章p.68～p.73 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.68～p.75、p.78～p.79 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分

第7回	TOEIC Part 5 対策 実践練習 【ゼロドリ】第2章p.80～p.81	
	【予習】TOEIC Part 5 対策 で学習した内容 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.80～p.81 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 5 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第8回	TOEIC Part 2 対策 難問対策 【ゼロドリ】第2章p.84～p.87、p.90～p.91	
	【予習】TOEIC Part 2 対策 で学習した内容 【ゼロドリ】第2章p.84～p.85 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.84～p.87、p.90～p.91 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 2 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第9回	Part 7 時間配分・速読トレーニング 【ゼロドリ】第3章p.104～p.109	
	【予習】【ゼロドリ】第3章p.104～p.105 会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第3章p.104～p.109 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 7 速読トレーニング 学習方法は授業中に説明します。	150分
第10回	TOEIC Part 3 対策 リスニングトレーニング(長文) 【ゼロドリ】第3章p.110～p.113	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第3章p.110～p.113 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 3 リスニングトレーニング 学習方法は授業中に説明します。	150分
第11回	TOEIC Part 3 対策 問題の解き方 【ゼロドリ】第4章p.120～p.127	
	【予習】【ゼロドリ】第4章p.120～p.123 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第4章p.120～p.127 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 3 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第12回	TOEIC Part 4 対策 問題の解き方 【ゼロドリ】第4章p.130～p.131、第5章p.138～p.141、p.148～p.149	
	【予習】【ゼロドリ】第5章p.138～p.141 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第4章p.130～p.131、第5章p.138～p.141、p.148～p.149 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 4 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分

第13回	TOEIC Part 7 対策 問題の解き方	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。 【TOEIC】Part 7 問題 予習方法は第12回の授業中に説明します。	60分
	【復習】【ゼロドリ】復習 自分で設定する 【TOEIC】Part 7 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第14回	TOEIC対策の復習	
	【予習】【TOEIC】学習した対策復習	60分
	【復習】【ゼロドリ】復習 自分で設定する 【TOEIC】実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第15回	会話練習の復習	
	【予習】	
	【復習】期末試験に向けて学習	180分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 、 、 については、授業中に指定する課題への取り組み、授業への出席、参加態度を中心に評価する。(50%) 到達目標 については、期末筆記テストで評価する。(50%) なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	・公式TOEIC@Listening & Reading問題集 6 (libC)	使用資料 <参考図書>	英英辞書、もしくは英和辞書(電子辞書、 携帯アプリ可)
授業外学修等	タスクを計画的に行うことを強く推奨します。予習よりも復習に比重を多く置いています。やり方は講義内で説明致します。 。毎授業冒頭に、【ゼロドリ】の復習ができているかチェックテストを行います。ペアでチェックし、その評価を講師が確認します。		
授業外質問方法	授業前または終了後		
オフィス・アワー	授業前または終了後、非常勤講師控室で対応致します。		

授業科目名	プレゼンテーション	科目コード	K0402P04
英文名	Presentation Skills		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 情報化対応
------	------------------------

職名	非常勤講師	担当教員名	成瀬 喜則
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>Society 5.0の社会に向けてICTを積極的に活用することや、協働するために他者にわかりやすく表現することは重要であり、プレゼンテーションはそのための情報伝達手段です。必要な情報を収集し、分析、評価することが必要であり、情報を他者にいかに効果的に伝えるかということを考え、プレゼンテーションツールを有効に活用することが求められます。特に、学校教育では授業の中でプレゼンテーションを行うことはもちろんのこと、会議や校内研修等で他の教員に効果的に、かつ端的に伝えることが必要となります。本授業では、プレゼンテーションの基本的な知識や技術を修得し、様々なテーマに関する調べ活動の成果を通して、プレゼンテーションツールを使用して効果的に他者に伝えるということ学びます。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	プレゼンテーション	情報活用能力	言語・身体表現	ICT利用教育	著作権
-------	-----------	--------	---------	---------	-----

到達目標	プレゼンテーションをする上で身につけないといけない技術や評価方法について、さまざまな観点から説明することができる(20%)
	プレゼンテーションツールを使って効果的なプレゼンテーションのための基礎技法が活用できる(50%)
	プレゼンテーションする内容について深く考察をして、必要な技術を使って、わかりやすく効果的にプレゼンテーションすることができる(30%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本授業の目的と内容及び成績評価方法についてシラバスを利用して理解する。プレゼンテーションの意味や重要性について学ぶ。プレゼンテーションの教育における位置づけ、良いプレゼンテーション資料を作ったりプレゼンテーションを行う際に必要となる情報活用能力について学ぶ。	
	【予習】シラバスを見て、本授業の目的と授業の方法の概要を把握する。また、情報活用能力について事前に調べる。	30分
	【復習】情報活用能力について資料を見てまとめ、それに対して考察を深める。また、プレゼンテーションが教育の中で必要となる場面について考える。	60分
第2回	プレゼンテーションの基本的な考え方について学ぶ。表現する内容、プレゼンテーションのシナリオなど基本的なコンセプトについて学ぶ。簡単なテーマを設定して各自でプレゼンテーションの構成を考えることで理解を深める。	
	【予習】プレゼンテーションのテーマと内容について考える。テーマは学校教育におけるICT利用、Society5.0の社会と教育等として、プレゼンテーションをするための材料を収集してみる。	60分
	【復習】プレゼンテーションのシナリオについて考えてまとめる。また、Society5.0、AI、ビッグデータなどについて自分の考えをまとめる。	60分
第3回	テーマに沿ったプレゼンテーションを実際に体験することでプレゼンテーションに必要な要素を考える。これによってどのようにプレゼンテーションするのが効果的かを考える力を身につける。グループ活動を通してプレゼンテーションをする上で必要な見方や考え方を身につける。	
	【予習】プレゼンテーションをする上で必要な見方・考え方について考えて、Society5.0、AI、ビッグデータなどをキーワードにしてプレゼンテーションの内容を考えてみる。	60分
	【復習】効果的なプレゼンテーションに必要な考え方、Society5.0、AI、ビッグデータなどについて自分の考えをまとめる。	60分
第4回	授業で使用するプレゼンテーション作りの考え方について学ぶ。授業では、児童・生徒にわかりやすく概念を伝えること、課題について深く考えさせることの重要性を知る。どのような場面でプレゼンテーションが有効か、また、どのようなプレゼンテーション資料を作るのが望ましいかを演習を通して考える。	
	【予習】主体的・対話的で深い学びについて調べ、ICTを活用した効果的な授業について考える。	60分
	【復習】児童・生徒が深く考えることができる授業のあり方について考えて、プレゼンテーション資料を作成する。	60分
第5回	授業で使用するプレゼンテーション資料をプレゼンテーションツールを使って作成する。そのために、プレゼンテーションツールの具体的な活用方法に関して学習する。作成にあたっては、グループ内で相互に評価し、助言し合いながら完成度の高い資料の作成を目指す。	
	【予習】プレゼンテーションツールのいろいろな種類について調べる。	60分
	【復習】本日のプレゼンテーションに対する評価及び助言を基にして、プレゼンテーション資料の検討・改善をする	60分
第6回	ICTを活用した模擬授業を見て、各自のプレゼンテーションのあり方を振り返り、改善を図る。プレゼンテーションツールを活用した模擬授業を通して、効果的なプレゼンテーションや児童・生徒の学びを深める授業のあり方について議論する。	
	【予習】ICTの教育利用について調べ、どのようなプレゼンテーションが効果的かを考える。	60分
	【復習】本日のプレゼンテーションに対する振り返りを元にしてプレゼンテーション資料を改善する。	60分
第7回	データを活用したプレゼンテーション技術について学ぶ。表計算ソフトやグラフ作成ツールを使って伝えたいことをわかりやすく伝える方法について考え、データ分析・表現の重要性を知る。統計的手法を用いることで論理的なプレゼンテーションができることを知る。	
	【予習】表計算ソフトやグラフ作成ルーツを使って簡単なデータ分析ができるように練習し、ICTの教育利用に関するプレゼンテーション資料を考える。	60分
	【復習】授業で学んだプレゼンテーション技術に基づいて、どのような資料を作れば良いか考える。	60分
第8回	データを活用したプレゼンテーション技術について学ぶ。いくつかのグラフを使って資料をわかりやすく説明する方法を学ぶ。演習を通してデータ分析・表現の重要性を学び、プレゼンテーションでの活用方法について考える。さらに、児童・生徒の情報活用能力の育成の重要性を理解する。	
	【予習】平均や標準偏差など簡単なデータ分析ができるように調べる。	60分
	【復習】本日のプレゼンテーションに対する知識を元にして指導助言に基づき、プレゼンテーション資料の改良を行う。	60分

第9回	実際にプレゼンテーション資料を作成しながらデータを活用したプレゼンテーション技術を習得する。図や表などを効果的に配置することで伝達性が高まることを知る。グループ内で相互評価することで、課題や改善点を明確化する。	
	【予習】図や表を使って説明したプレゼンテーション資料を検索して事前にその特徴について調べる。	60分
	【復習】図表入りのプレゼンテーション資料を、相互評価を元にして課題を明らかにして改善する。	60分
第10回	視覚効果を高めるプレゼンテーションについて学ぶ。そのポイントや効果的なプレゼンテーション活用について演習を通して学ぶ。その際、著作権に対する配慮や引用方法についても理解する。	
	【予習】プレゼンテーションにおける視覚効果について調べ、いくつかの観点について発表できるようにする。	60分
	【復習】視覚効果を高めるプレゼンテーション、特に図・表を効果的に取り入れたプレゼンテーションについて考える。著作権についてさらに調べる。	60分
第11回	児童・生徒の言語能力を高めるための考え方や実際のプレゼンテーション時において効果的に表現する技法について学ぶ。	
	【予習】新学習指導要領にある主体的・対話的で深い学び、言語能力の育成について調べる。また、図・表をを有効に活用して端的にまとめる方法について考える。	60分
	【復習】主体的・対話的で深い学びや、言語能力の育成について端的に報告する方法について考える。	60分
第12回	評価の高いプレゼンテーションを鑑賞して、良いプレゼンテーションにはどのような要素を必要かを考える。グループで協議して、プレゼンテーションに必要な要素を発表して共有する。	
	【予習】評価の高いプレゼンテーションについて興味のある内容をあらかじめ調べる。	60分
	【復習】プレゼンテーションに必要な要素について簡単にまとめてみる。	60分
第13回	鑑賞して、分析した評価の高いプレゼンテーションについて、良いプレゼンテーションを作成するため必要な見方・考え方について整理する。各自でどのような工夫をするか明らかにして、テーマに沿って最終のプレゼンテーション資料を作成する。さらに、プレゼンテーション資料を使ってどのような発表をするのが効果的かも併せて考える。	
	【予習】インターネット上で、興味のある評価の高いプレゼンテーションを視聴し、どのような工夫がなされているか、どのような内容が適切なかの、また、何が魅力的なのか考える。	60分
	【復習】良いプレゼンテーションを作るポイントを整理して、最終のプレゼンテーション資料を完成させる。その際、プレゼンテーション資料、プレゼンテーション方法の特徴を他者に伝えることができるように観点を整理する。	60分
第14回	評価の高いプレゼンテーションを参考にしてグループ内で発表を行う。さらに相互に評価して、プレゼンテーションの意義について考える。	
	【予習】作成した最終プレゼンテーション資料およびプレゼンテーション方法を評価するために必要な情報整理を行う。	60分
	【復習】相互評価や助言に基づき、自らのプレゼン資料の長所、課題を明確にして、さらなる改善をする。	60分
第15回	効果的なプレゼンテーションのあり方とその評価方法、さらにさまざまなプレゼンテーションツールについてまとめ、必要な表現能力の育成について考える。	
	【予習】効果的なプレゼンテーションについてはこれまでいくつか作成し改善したことを中心にして観点を整理しておく。	60分
	【復習】本授業を受講して修得した効果的なプレゼンテーション資料の作成方法やプレゼンテーション方法についてまとめる。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	プレゼンテーションに関する議論への参加状況（50%）、作品提出や課題提出（50%）にもとづいて総合的に判定する。		
使用資料 <テキスト>	必要に応じて参考書・プリント・文献等を提示する。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	授業後の復習と、提示した課題による自習		
授業外質問方法	電子メールによる質問を受け付ける。 naruse@edu.u-toyama.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	人間と環境	科目コード	K0502P01
英文名	Humans and Environment		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 環境と共生対応		
------	--------------------------	--	--

職名	教授 客員教授	担当教員名	松山 友之 尾畑 納子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	身近な暮らしと環境の関わりや全地球的な自然環境のメカニズムと環境問題、E S Dについて概説する。		
-------	---	--	--

キーワード	暮らしと環境	環境問題	E S D		
-------	--------	------	-------	--	--

到達目標	幼児から小学生が、人間と環境の関わりを調べ、環境について考えるために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。(60%)				
	環境問題について多面的に考え、持続可能な社会を作り上げるためにどのように行動すればよいかを意思決定できる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）		21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養		富山の子ども育成		

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 人間と環境の授業の紹介、「江戸時代の暮らしから現在の暮らしを考える。」	
	【予習】	
	【復習】・「江戸時代と現在の暮らしを比較して」小レポートにまとめ、提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第2回	暮らしと環境について、生活とは	
	【予習】	
	【復習】自分の1日の生活時間について整理する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第3回	食生活と環境	
	【予習】食生活と環境で気になっていることをまとめる	30分
	【復習】食の安全について関心のある事柄を小レポートにまとめ、提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第4回	衣生活と環境	
	【予習】家庭の中での衣服で問題点を探る。	30分
	【復習】衣服のリサイクルについて調べ、小レポートにまとめ、提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第5回	快適性と環境問題	
	【予習】	
	【復習】家庭用洗剤の表示（用途、成分）を3つまで書き写し、提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第6回	日本の環境問題の変遷	
	【予習】生活と環境の関わりについて考える	30分
	【復習】生活と環境問題の関わりにつてまとめ、提出する（課題）学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第7回	地球のプロフィール（生命の誕生と進化、地球環境の歴史）	
	【予習】・生命の誕生から進化について主な年代を調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・地球のプロフィールの授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第8回	地球温暖化と砂漠化（海面上昇、ヒートアイランド、森林破壊）	
	【予習】・地球温暖化の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・地球温暖化と砂漠化からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第9回	水質汚染と浄化（赤潮、マイクロプラスチック、重油流失）	
	【予習】・水質汚染の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・水質汚染と浄化の授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分

第10回	大気汚染とその対策（光化学スモッグ、PM2.5、黄砂、酸性雨、オゾン層の生成と破壊）	
	【予習】・大気汚染の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・大気汚染とその対策の授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第11回	生物環境の維持と食物生産（生物濃縮、遺伝子組換え食品、外来種、過放牧、乱獲）	
	【予習】・生物環境を破壊する原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・生物環境の維持と食物生産の授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第12回	環境破壊と伝染病（インフルエンザ、デング熱、エボラ出血熱）	
	【予習】・代表的な伝染病について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・環境破壊と伝染病の授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第13回	産業と公害（四大公害病、イタイイタイ病、ダイオキシン、鉱毒）	
	【予習】・公害の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・産業と公害の授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第14回	ESDとユネスコスクール（バイオマス、小水力発電、風力発電）	
	【予習】・ESDとユネスコスクールについて調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・ESDとユネスコスクールの授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第15回	富山の自然環境とその保全（呉羽キャンパス、富山市・射水市の自然や環境保護の実態）	
	【予習】	
	【復習】人間と環境の授業から総合的に身近な自然や環境を保全し、住みやすい地域をつくることについて意見をレポートにまとめ提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	課題のレポート(80%)、15回の取組の状況及び小レポート等(20%)により評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	プリント資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、授業中に紹介する。
授業外学修等	予習復習の徹底。		
授業外質問方法	授業終了後またはメールで質問 (obata@tuins.ac.jp; matsuyama@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	金曜 1 限		

授業科目名	人間と科学	科目コード	K0502P02
英文名	Humans and Science		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 環境と共生対応
------	--------------------------

職名	教授	担当教員名	辻井 満雄 松山 友之
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	4限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>1 数学の美しさや不思議さについて数にまつわる話題を中心に概説する。 2 科学分野の中で最初に発展した天文学から科学史を中心に概説し、運動など物理の面白さを理解する。 実務経験のある教員による授業。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	単位	素数	暗号	天文学	科学史
-------	----	----	----	-----	-----

到達目標	(数学分野) 実社会で使われている数学に興味をもち、内容を概ね理解することができる。(45%)
	(理科分野) 天文学や物体の運動など身近な科学に関心をもち、内容を概ね理解することができる。(45%)
	(AI・データサイエンス分野) 最新の科学技術であるAIやデータサイエンスに関心をもち、内容を概ね理解し生活との関連を考えることができる。(10%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1. 「人」としての資質・能力(人間性の向上)	4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力(社会性の向上)
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 間年 【辻井】 カレンダーの不思議について、ペアで協議する。 (1~15実務経験のある教員による授業)	
	【予習】シラバスを確認し、全体像をつかむ。	30分
	【復習】潤年を踏まえて、過去や、未来の特定の日の曜日を求めることができる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第2回	単位 【辻井】 単位の必要性について、ペアで話し合う。	
	【予習】単位について調べ、発表できるようにする。	30分
	【復習】メートル法のよさについてまとめ、小レポートを提出する。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第3回	素数(1) 【辻井】 エラトステネスの篩を体験する。	
	【予習】素数について調べ、疑問点を整理する。	30分
	【復習】1~500の間の素数を調べ、レポートにまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第4回	素数(2) 【辻井】 素数がどうかの判定をグループで話し、発表する。資料 出席票 出席票は、「課題1」へ提出せよ。5/11までとする。	
	【予習】素数の疑問点を考える。	30分
	【復習】素数の見出す式の確認をする。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第5回	十進数 【辻井】 世の中にある進数と10進法を使うわけについて、ペアで考える。資料 遠隔授業の場合の出席票 この出席票は、「課題1」へ提出せよ。	
	【予習】2進数について調べる。	30分
	【復習】進数について復習する。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第6回	合同式、計算の条件 【辻井】 合同式の面白さについて、グループで協議する。	
	【予習】おもしろい計算を調べてくる。	30分
	【復習】生活で生かせる合同式についてまとめる。	60分
第7回	暗号と数学、パスカルの三角形 【辻井】 暗号は必要か、ペアで考える。数学の不思議を体験する。 レポート レポートはwebシラバス「人間と科学」第7回の課題1へ6月21日(月)までに提出する。	
	【予習】暗号を調べてくる。 数学の不思議さを考える。	30分
	【復習】インターネットに使われている暗号の仕組みを復習する。数学の美しさ・不思議さについてまとめ、「数学の魅力」についてレポートに論述する。	120分
第8回	身近な生活にある科学(音、光、モノづくり) 【松山】	
	【予習】音や光について調べ、発表できるようにする。	30分
	【復習】音や光など身近にある科学について考えをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分

第9回	科学史(原始～中世) 「宇宙と物質」 【松山】	
	【予習】古代ギリシャなどの宇宙観、物質観を調べ、発表できるようにまとめる。	30分
	【復習】古代の人々の宇宙観、物質観について学んだことを小レポートにまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第10回	科学史(中世～近代) 「天文学、宗教と科学」 【松山】 色の不思議と光の速さについてまとめます。 色の合成に挑戦しよう! P D F R G Bカラー分割(webカメラ利用) ちょうどいいところで FreezeIc を入れてください。R G B 3色の画像が動いて重ねられます。 C M Y Kカラー分割(webカメラ利用) この画像は動きません。 L C Dディスプレイのしくみ RとGとBの色を動かすと色々な色ができてきます。楽しんでみてください。 光の三原色 R G Bのスポットライトを動かして光の色を重ねると自由に色がつくれます。	
	【予習】ガリレオ・ガリレイについて調べ、発表できるようにする。	30分
	【復習】ガリレオなどの天文学やその他の科学に関する業績と宗教との関連について小レポートにまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第11回	科学史(近代～現代) 「天文学から物理学」 【松山】	
	【予習】ニュートンについて調べ、発表できるようにする。	30分
	【復習】ニュートンなど、現代の天文学や物理学の基礎を築いた人々の業績について小レポートにまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第12回	科学史(近代～現代) 「物理学から科学の広がり」 【松山】	
	【予習】アインシュタインについて調べ、発表できるようにする。	30分
	【復習】アインシュタインなど、現代の物理学を発展させた人々の取り組みについて小レポートにまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第13回	生活を変えた発明・発見と科学者、災害と科学、日本人ノーベル賞受賞者と富山、科学の在り方とその利用 【松山】	
	【予習】身近で生活を変えた発明・発見について調べ、発表できるようにする。 日本人ノーベル賞授業者を調べ、発表できるようにまとめる。	30分
	【復習】人間生活を変えた発明・発見、災害を防ぐための科学の利用等、生活に関わる科学について考えをまとめ、科学の在り方とその利用についてノーベル賞の話も加えて小レポートにする。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第14回	A Iの仕組みの理解とS o c i e t y 5.0に見られる社会の変化やこれからの生活の中でのA Iの利用について学ぶ。 人間と科学 第14回 事前資料 各自授業の前にダウンロードしてスクリーンが見にくい場合はパソコンで見られるようにしてください。	
	【予習】A Iの仕組みやその基本的な理解とSociety5.0について調べ、発表できるようにする。	30分
	【復習】 人工知能に代替されないための対策として、あなたが考えることを3文以上で記述し、授業の最後で提示するアンケートフォームに記述して提出する。	60分

第15回	<p>データサイエンスの利用について、現状とこれからの発展について学ぶ。</p> <p>人間と科学 第15回 事前資料</p> <p>各自授業の前にダウンロードしてスクリーンが見にくい場合はパソコンで見られるようにしてください。</p>	
	【予習】身近な生活の場面でビックデータなどデータサイエンスの利用について調べて、紹介できるようにする。	30分
	【復習】データサイエンスの利用によって、私たちの生活がどのように変化したか。さらに変化するかについて小レポートにまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 については、7回の取組状況及び小レポート（18.7%）、期末試験（28%）で辻井が評価し、到達目標項目 については、6回の取組状況及び小レポート（16%）、期末試験（24%）で松山が評価、到達目標 については、2回の取組状況及び小レポート（5.3%）、期末試験（8%）でA I・データサイエンス担当者が評価する。なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	テキストは使わず、プリント資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、授業中に紹介する。
授業外学修等	予習復習の徹底		
授業外質問方法	各担当者のゼミ室を来訪する。メール（辻井：tsujii@tuins.ac.jp、松山：matsuyama@tuins.ac.jp）を送る。		
オフィス・アワー	辻井：月曜3限 松山：金曜1限		

授業科目名	ジェンダー論	科目コード	K0602L02
英文名	Gender		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 少子高齢化対応
------	--------------------------

職名	教授	担当教員名	彼谷 環
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	社会的・文化的な性のありようを意味するジェンダーは、時代や地域、社会によって意識や変化がみられる。ジェンダーの概念はどのような社会のなかで成立し、国・地域の制度や法に影響を与えてきたのだろうか。日本では第5次男女共同参画社会基本計画が閣議決定されたが「ジェンダー平等」はどこまで実現したか。また、性的マイノリティの人々を支える施策について、諸外国の事例と比較し検討してみよう。				
-------	--	--	--	--	--

キーワード	ジェンダー平等	ポジティブ・アクシ	隠れたカリキュラム	DV	性的マイノリティ
-------	---------	-----------	-----------	----	----------

到達目標	ジェンダーの概念について、説明できる(20%)。				
	これまで普遍的だとされていた考え方に対し異なる視点があることを、理解できる(40%)。				
	「ジェンダー不平等」が生じる社会的・政治的背景を考え、解決する方法について議論できる(40%)。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力(人間性の向上)		21世紀を生きる社会人としての資質・能力(社会性の向上)		
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 「ジェンダー」とはなにか。「両性の平等」原則と現実とのギャップを日本、世界の現状から考える。	
	【予習】「ジェンダー」概念について、文献やネットの情報を活用して調べておく。	60分
	【復習】現代社会でみられる日本と世界のジェンダー差別について整理する。	60分
第2回	近代日本における性差別と今日の動向を整理する 「男/女」（性別二元論）に基づく社会制度はどう変更しているか？	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】多様な性の存在を認める諸外国の制度について整理しておく。	60分
第3回	教育 学校教育におけるジェンダー・バイアス、「隠されたカリキュラム」について考える。 (理解度を自己確認できるために、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】文部科学省の通達の内容を理解し、望ましい教育現場の在り方について自分の意見をまとめる。	60分
第4回	家族 現代に残る「家制度」、変容する家族のあり方を考える。	
	【予習】民法（家族法）の関係条文を、テキストを活用して予習しておく。	60分
	【復習】家庭生活における男女平等が実現した部分、そうでない部分を整理しておく。	60分
第5回	契約 「いのちの値段」と男女格差、「レディース・デー」は男性排除かを考える。	
	【予習】身近で行われている「レディース・デー」「マン・デー」の内容とねらいを調べておく。	60分
	【復習】逸失利益による男女差別の歴史についてまとめる。	60分
第6回	労働 男女雇用機会均等法の歴史と展開をまとめる。 「セクハラ」、「マタハラ」の定義と裁判例から時代の変化を読み解く。 (理解度を自己確認できるために、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】「セクハラ」・「パワハラ」等をめぐる最近の事例について調べておく。	60分
	【復習】「セクハラ」・「パワハラ」に関する事件について近年の裁判例をまとめる。	60分
第7回	社会保障 家族モデルの変化と社会保障制度の未来について考える。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読し、日本の現行制度を調べておく。	60分
	【復習】日本の社会保障制度と諸外国のそれとの違いをまとめる。	60分
第8回	性暴力・その1 刑法上の犯罪はどのように変容してきたかを考える。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】刑法における罪の種類が変更したことについてまとめる。	60分

第9回	性暴力・その2 ドメスティック・バイオレンス(DV)、デートDV、児童虐待の「いま」を学ぶ。 (外部講師・自治体の相談支援員による講義)	
	【予習】DVが生じる理由と子どもに与える影響について、他の授業科目で学んだことも活用しながら整理する。	60分
	【復習】講師の話を聞いて感想をまとめる。 (理解度を自己確認できるようにするため、Google Formで投稿する。)	60分
第10回	産む自由/産まない自由 「リプロダクティブ・ライツ」(性的自己決定権)の歴史と内容を理解する。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】宗教や文化を背景に、諸外国の制度に違いがあることを理解する。	60分
第11回	性表現 ポルノグラフィと「性表現の自由」、わいせつ罪との関係を考える。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】日本国憲法と子どもの権利条約を根拠に、どこまでが「表現の自由」として認められるかを考える。	60分
第12回	政策決定 政治・行政における女性参加の促進、「ポジティブ・アクション」という方法を理解する。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】女性の政治参加が顕著な諸外国の制度とその効果についてまとめる。	60分
第13回	司法 犯罪被害者・犯罪加害者とジェンダーの関係性を考える。 性被害者に対する報道による「二次被害」の深刻さ、「加害者に対する教育」にはどのようなものがあるか。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】犯罪被害者と加害者の報道の仕方について、新聞やネットニュースを比較しながらまとめてみる。	60分
第14回	男性にとつてのジェンダー ワーク・ライフ・バランス(WLB)の実現と課題	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】男女平等の実現を男性の視点から考察する重要性を理解する。	60分
第15回	世界のなかの性差別 児童婚、持参金制度(インド)、女子割礼(アフリカ諸国)等、人権侵害と指摘される文化的慣習について考える。	
	【予習】これまで学んだ諸外国の性差別について整理しておく。	60分
	【復習】授業内容について、「子どもの権利」の保障という視点からも深められるようにする。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 及び では、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。 到達目標項目 では、期末レポートで評価する（50％）。 人間性：50％、 社会性：50％ なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>犬伏由子・君塚正臣・井上匡子編『レクチャー ジェンダー法』（法律文化社）</p>	使用資料 <参考図書>	<p>テーマにあわせ適宜資料を配布する。</p>
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに今日生起している法的社会的ニュースを取り上げるので、各自新聞をよく読んでくること。 ・授業テーマについては、テキストや資料・文献等を参考に復習を心がけること。 		
授業外質問方法	<p>時間外の質問は、メールで受け付ける。 kayatama@tuins.ac.jp</p>		
オフィス・アワー	<p>水曜3限</p>		

授業科目名	キャリア支援講座	科目コード	K0702F02
英文名	Career Planning and Support I		

科目区分	キャリア系科目
------	---------

職名	講師 教授 教授	担当教員名	竹田 好美 仲井 文之 室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	5限目
開講時期	2年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、社会福祉士の専門の道を目指し、それぞれの分野の仕事内容について理解を深め、着実に就職活動を行うための基礎知識や試験対策などについて学ぶ。 (科目担当教員：小学校分野担当教員(岩崎)は小学校教諭、幼保分野担当教員(竹田)は幼稚園教諭、社会福祉分野担当教員(室林)は社会福祉施設職員の実務経験あり)</p>		
-------	---	--	--

キーワード	なりたい自分	就職活動	採用試験対策		
-------	--------	------	--------	--	--

到達目標	それぞれの分野の専門の仕事を理解することができる。(30%)
	それぞれの専門分野の就職活動の概要や流れを理解することができる。(30%)
	それぞれの専門分野の試験対策に必要な内容を理解し、その準備に取り組むことができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力(社会性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p><小学校分野> オリエンテーション<年間計画、教員採用試験の概要> 一般教養演習1<富山県過去問題>(岩崎・杉本) <幼保分野> 4月16日 オリエンテーション<保育者の仕事の魅力と心構え、年間計画・採用試験の概要> 第1回資料(幼保分野) 第1回資料(幼保分野) GoogleForms課題 GoogleForms出席票 <社会福祉分野> 4月16日 社会福祉の仕事(1)<オリエンテーション、児童家庭支援、社会福祉協議会、医療機関></p>	
	<p>【予習】キャリア支援入門講座での学びをまとめてくる。</p>	90分
	<p>【復習】第1回の授業の内容をまとめる。</p>	90分
第2回	<p><小学校分野> 専門科目演習1 国語(岩崎) <幼保分野> 4月23日 実技試験対策講座1<ペーパーサート、パネルシアター、エプロンシアター等 教材紹介・教材研究> 第2回資料 Forms出席票 <社会福祉分野> 4月23日 社会福祉の仕事(2)地域包括支援センター、福祉事務所、障害福祉分野</p>	
	<p>【予習】第2回に取り組みべき内容について理解し、準備しておく。</p>	90分
	<p>【復習】第2回の授業の内容をまとめる。</p>	90分
第3回	<p><小学校分野> 専門科目演習2 社会(大藪) <幼保分野> 5月7日 専門試験対策講座1<保育原理> 幼保分野資料(レジュメ) 幼保分野資料(採用試験ガイドス) ポイントや問題の資料は1限目中にアップロードします。4人程度のグループに分かれ、ブレイクアウトセッションで問題を解きその解説を自分たちで考え、全体に発表する、という方法をとる予定です。詳しくは授業の最初に伝えます。 <社会福祉分野> 5月7日 社会福祉入門(1)社会福祉援助とは 【資料】社会福祉資料</p>	
	<p>【予習】第3回に取り組みべき内容について理解し、準備しておく。 幼保分野資料(問題) 幼保分野資料(ポイント)</p>	90分
	<p>【復習】第3回の授業の内容をまとめる。 幼保分野資料(解答) 幼保分野資料(Formskイズ 解答)</p>	90分
第4回	<p><小学校分野> 専門科目演習3 算数(辻井) <幼保分野> 5月13日 専門試験対策講座2<子どもの食と栄養> 幼保分野第4回資料 <社会福祉分野> 5月14日 社会福祉入門(2)福祉国家の形成</p>	
	<p>【予習】第4回に取り組みべき内容について理解し、準備しておく。 幼保分野第4回資料(問題) 幼保分野第4回資料(ポイント) 幼保分野第4回資料(子どもの保健・子どもの食と栄養 ポイント)</p>	90分
	<p>【復習】第4回の授業の内容をまとめる。 幼保分野第4回資料(解答・解説)</p>	90分
第5回	<p><小学校分野> 専門科目演習4 理科(松山) <幼保分野> 5月20日 実技試験対策講座2<ペーパーサート、パネルシアター、エプロンシアター等 教材製作> 第5回資料(幼保分野) 食と栄養 問題と解答 <社会福祉分野> 社会福祉入門(3)福祉国家の基本プラン</p>	
	<p>【予習】第5回に取り組みべき内容について理解し、準備しておく。</p>	90分
	<p>【復習】第5回の授業の内容をまとめる。</p>	90分

第6回	<p><小学校分野> 専門科目演習5 英語(福島) <幼保分野> 6月4日 実技試験対策講座3<ペーパーサート、パネルシアター、エプロンシアター等 教材製作・発表練習> 第6回資料(幼保分野) 発表教材資料(幼保分野) Forms出席票 <社会福祉分野> 社会福祉入門(4)福祉国家はどこへ行くのか</p>	
	【予習】第6回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第6回の授業の内容をまとめる。	90分
第7回	<p><小学校分野> 自己表現演習1 課題作文の書き方(岩崎・辻井) <幼保分野> 6月18日 専門試験対策講座3(子どもの保健) 第7回資料(幼保分野) <社会福祉分野> 社会福祉入門(5)戦後の社会福祉</p>	
	【予習】第7回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。 第7回資料(幼保分野 子どもの保健 問題) 第7回資料(幼保分野 子どもの保健 ポイント) 第7回資料(幼保分野 子どもの保健 ポイント)	90分
	【復習】第7回の授業の内容をまとめる。 第7回資料(幼保分野 子どもの保健 解答・解説)	90分
第8回	<p><小学校分野> 自己表現演習2 課題作文の書き方(岩崎・辻井) <幼保分野> 7月2日 実技試験対策講座4<実技発表会(ペーパーサート、パネルシアター、エプロンシアター等)>(竹田・石倉・大平・河崎・本江・佐部利) 第8回資料(幼保分野) 第8回資料(幼保分野) <社会福祉分野> 社会福祉入門(6)社会福祉入門のまとめ、前期ふりかえり</p>	
	【予習】第8回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第8回の授業の内容をまとめる。	90分
第9回	<p><小学校分野> 教職教養演習1 教育法規(辻井) <幼保分野> オリエンテーション<保育者としての心構えについて・就職活動の支援体制について・試験勉強の進め方> <社会福祉分野> はじめての社会保障(1)社会保障を学ぶ意義・社会保障の学び方</p>	
	【予習】第9回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第9回の授業の内容をまとめる。	90分
第10回	<p><小学校分野> 教職教養演習2 教育原理・教育史(大藪) <幼保分野> 文章講座1<課題作文の書き方>(竹田・杉本) <社会福祉分野> はじめての社会保障(2)医療保険</p>	
	【予習】第10回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第10回の授業の内容をまとめる。	90分

第11回	<p><小学校分野> 教職教養演習3 教育心理(岩崎) <幼保分野> 文章講座2 <課題作文の書き方> (竹田・杉本) <社会福祉分野> はじめての社会保障(3)生活保護と社会福祉制度</p>	
	【予習】第11回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第11回の授業の内容をまとめる。	90分
第12回	<p><小学校分野> 教職教養演習4 教育法規(彼谷) <幼保分野> 実技試験対策講座5 <弾き歌い対策 個人レッスン> (堀江) <社会福祉分野> はじめての社会保障(4)介護保険</p>	
	【予習】第12回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第12回の授業の内容をまとめる。	90分
第13回	<p><小学校分野> 教職教養演習5 教育史・教育原理(大藪) <幼保分野> 実技試験対策講座6 <弾き歌い対策 個人練習> (竹田) <社会福祉分野> はじめての社会保障(5)年金</p>	
	【予習】第13回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第13回の授業の内容をまとめる。	90分
第14回	<p><小学校分野> 教職教養演習6 教育心理(岩崎) <幼保分野> 文章講座3 <課題作文の書き方> (竹田・杉本) <社会福祉分野> はじめての社会保障(6)雇用保険と労災</p>	
	【予習】第14回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第14回の授業の内容をまとめる。	90分
第15回	<p><小学校分野> 自己表現演習3 討論の進め方 (岩崎・辻井・松山・彼谷・堀江・金子・杉本) <幼保分野> 専門試験対策講座5 <保育内容> <社会福祉分野> はじめての社会保障(7)社会保障と民間保険</p>	
	【予習】第15回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第15回の授業の内容をまとめる。	90分
第16回	<p><小学校分野> 自己表現演習4 討論の進め方 (岩崎・辻井・松山・彼谷・堀江・金子・杉本) <幼保分野> 専門試験対策講座4 <音楽(楽典)> (堀江) <社会福祉分野> はじめての社会保障(8)社会保障の歴史と構造</p>	
	【予習】第16回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第16回の授業の内容をまとめる。	90分

	期末試験は行わない。	
第17回	【予習】	
	【復習】	
第18回	【予習】	
	【復習】	
第19回	【予習】	
	【復習】	
第20回	【予習】	
	【復習】	
第21回	【予習】	
	【復習】	
第22回	【予習】	
	【復習】	
第23回	【予習】	
	【復習】	
第24回	【予習】	
	【復習】	
第25回	【予習】	
	【復習】	

第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	
第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	
第30回		
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	各回のレポート等の課題（80％）と受講態度・意欲（20％）を総合的に判断して評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	社会福祉分野：はじめての社会保障（第13版）有斐閣アルマ（有斐閣） 後期に使	使用資料 <参考図書>	随時紹介する。
授業外学修等	子ども育成の専門職の仕事に関して興味を持ち、情報収集をすること。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室に訪問するか、メールで質問をする。<小学校分野：岩崎 iwasaki@tuins.ac.jp 幼保分野：竹田 takeda@tuins.ac.jp 社会福祉分野：室林 muro@tuins.ac.jp >		
オフィス・アワー	<前期>岩崎：木曜4限（E303 岩崎研究室） 室林研究室） 竹田：月曜4限（E301 竹田研究室） 室林：水曜2限（E707 <後期>岩崎： 曜 限（E303 岩崎研究室） 室林研究室） 竹田：水曜2限（E301 竹田研究室） 室林： 曜 限（E707 室林研究室）		

授業科目名	生活文化演習(A)	科目コード	K0801L02
英文名	Seminar in Cultural Traditions in Japan		

科目区分	演習科目
------	------

職名	教授 教授 非常勤講師 非常勤講師	担当教員名	彼谷 環 堀江 英一 深井 康子 大崎 雅子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>「生活文化」は、人々が生活を送る地域や場所、時代、宗教、思想など様々な要素を含み形成される文化だと言えます。この演習では、富山県や日本の地域性、国際社会との関係性にも想いを馳せながら、生活文化を理解し、具体的に体験していきます。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	民衆信仰	伝統行事	和食	ビジネスマナー	おもてなし
-------	------	------	----	---------	-------

到達目標	子ども育成のスペシャリストをみざす者の基礎教育として、時代を超えて受け継がれてきた生活文化の一端に触れることができる（50％）。				
	地域に根差した文化を知り、次世代に継承したい行事について自ら考え理解を深めることができる（50％）。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 「生活文化」を考える（彼谷）	
	【予習】「生活文化」という用語からイメージすること・もの・ならわし等を考えておく。	30分
	【復習】最後のワークで取り上げたい「次世代に伝えたい行事」について考える。	60分
第2回	富山の民衆信仰（1）富山の神社によるネットワーク（堀江）	
	【予習】自宅周辺の神社にはどのようなものがあるか地図などを用いて理解する。	30分
	【復習】神社の種類を整理して覚える。	10分
第3回	富山の民衆信仰（2）富山・金沢・全国を結ぶ神社によるネットワーク（堀江）	
	【予習】地図を用いて自宅周辺の神社の位置関係を把握する。	10分
	【復習】射水市周辺の神社の位置関係の規則性を用意された地図に見いだす。	60分
第4回	富山の音楽（1）唱歌・童謡・歌曲の歴史（堀江）	
	【予習】「音楽科教育法」の我が国の音楽教育の歩みについて概要を把握する。	20分
	【復習】時代ごとの唱歌・童謡の歴史を整理して覚える。	30分
第5回	暮らしの文化（1）基本的な手紙の書き方 お礼状を中心に（彼谷）	
	【予習】これまで自分が書いた（あるいは、いただいた）手紙や葉書について、どんな特徴があったか調べる。	30分
	【復習】お世話になっているゼミ担当教員への手紙を書く。	60分
第6回	暮らしの文化（2）葉書・手紙の応用を学ぶ（彼谷）	
	【予習】私信以外に、冠婚葬祭やイベントで用いることが出来る葉書・手紙について調べる。	30分
	【復習】催事のお誘いのための手紙を作成する。	60分
第7回	暮らしの文化（1）「和食文化の継承と食育」（深井）	
	【予習】ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食；日本人の伝統的な食文化」の意義について理解を深める。	30分
	【復習】和食文化の継承と食育について、家庭や教育などで実践できることを考えてみる。	60分
第8回	富山の音楽（2）唱歌・童謡の歴史・その2（堀江）	
	【予習】「音楽科教育法」の我が国の音楽教育後半の歩みについて概要を把握する。	20分
	【復習】時代ごとの唱歌・童謡の後半の歴史を整理して覚える。	30分
第9回	富山の音楽（3）民謡の歴史（堀江）	
	【予習】自分が住んでいる地域の民謡・わらべ歌にはどのようなものがあるか調べる。	20分
	【復習】富山県の代表的な民謡・わらべ歌について概要を理解する。	20分

第10回	適切な人間関係を学ぶ（外部講師）	
	【予習】新聞やインターネット等を用いて、デートDVについて調べておく。	60分
	【復習】講演を聞いて、実践に活かす。	90分
第11回	適切な話し方を学ぶ（外部講師）	
	【予習】「相手に伝える」目的で話すために必要な点を考えておく。	60分
	【復習】講演の内容を、授業や生活に活かす。	90分
第12回	ビジネスマナーを学ぶ（1）（大崎）	
	【予習】目上の人に対する挨拶の仕方や立ち居振る舞いなどを調べておく。	60分
	【復習】講義の内容を、実習や生活で活かす。	90分
第13回	ビジネスマナーを学ぶ（2）（大崎）	
	【予習】前回の内容を確認しておく。	60分
	【復習】講義の内容を、実習や生活で活かす。	90分
第14回	グループ発表のための準備・次世代に伝えたい日本の行事（彼谷）	
	【予習】プレゼン用のPPTを製作し、発表の準備を行う。	90分
	【復習】発表の良かった点、改善したら良い点をまとめる。	90分
第15回	グループ発表・次世代に伝えたい日本の行事（彼谷）	
	【予習】プレゼン用のPPTのを製作し、発表の準備を行う。	90分
	【復習】発表の良かった点、改善したら良い点をまとめる。	90分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	各担当者からの課題（80%）、授業への積極的参加（20%）により総合的に評価します。		
使用資料 <テキスト>	必要に応じてプリント、資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	適宜指示します。
授業外学修等	授業では、内容に応じて担当者が交代します。これからの生き方の指針となるものを発見できるよう、積極的に学ぶ姿勢を心がけてください。		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールでも受け付けます。彼谷（kayatama@tuins.ac.jp）、堀江（horie@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	授業の前後（各担当）		

授業科目名	教養演習	科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars		

科目区分	演習科目
------	------

職名	講師	担当教員名	岩崎 直哉
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	1限目
開講時期	2年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	8単位

授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。		
-------	---	--	--

キーワード	教養	導入教育		
-------	----	------	--	--

到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」(1年生全員)	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する	90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方等	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理等(1年生全員)	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する	60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方等	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する	30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求、ゼミ別活動計画立案	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧（1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表（1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表（2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70%程度）、出席状況・受講態度等(30%程度)を総合的に判断する。		
使用資料 <テキスト>	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 <参考図書>	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習	科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars		

科目区分	演習科目
------	------

職名	教授	担当教員名	辻井 満雄
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	1限目
開講時期	2年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	8単位

授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。		
-------	---	--	--

キーワード	教養	導入教育		
-------	----	------	--	--

到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」(1年生全員)	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する	90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方等	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理等(1年生全員)	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する	60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方等	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する	30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求、ゼミ別活動計画立案	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧（1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表（1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表（2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70%程度）、出席状況・受講態度等(30%程度)を総合的に判断する。		
使用資料 <テキスト>	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 <参考図書>	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	子ども育成論	科目コード	K1102L02
英文名	Theory of Child Development & Education		

科目区分	子ども育成の理論
------	----------

職名	講師 教授 非常勤講師	担当教員名	竹田 好美 宮田 徹 水上 義行
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>子ども育成の理論に関する中核的な科目3科目（「子ども育成入門」、「子ども育成論」、「子ども育成専門演習」）のうち、発展科目として「子ども育成論」を開講して、子ども育成の理念と意義、目標と方法、現状と課題等について考察し、保育・教育・福祉の視点から総合的に学ぶ。教員3人によるオムニバス形式とし、子ども育成についてそれぞれ保育学・教育学・福祉学の視点から論じる。 （科目担当教員：宮田は児童福祉分野職員、水上は小学校教諭、竹田は幼稚園教諭としての実務経験あり）</p>		
-------	--	--	--

キーワード	子ども育成	子どもの生活・発達	保育・教育と福祉の		
-------	-------	-----------	-----------	--	--

到達目標	子どもの生活・発達・学びの連続性をふまえた保育・教育のあり方、子どもの育ちと家庭・地域・社会環境の関係性をふまえた子ども福祉のあり方について理解できる。（40％）
	子ども育成における保育・教育と子ども福祉のハイブリッド（統合的視点）について理解できる。（30％）
	心身ともに健やかな子どもの育成を担うために必要となる基礎的な理論を、教育・発達・福祉の分野から総合的に学ぶことにより、学生自身が多様な視点から子どもを捉え、子ども育成に対する意欲を高められるようになる。（30％）

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(竹田) オリエンテーション 子ども育成における保育の視点 保育所・幼稚園・認定こども園の実際から	
	【予習】1年次に履修した「子ども育成入門」の幼保分野の資料や授業の内容を復習する。	90分
	【復習】保育所・幼稚園・認定こども園の現状をまとめる。	90分
第2回	(竹田) 保育者の専門性 (1) 子どもの発達を捉える視点	
	【予習】1年次に履修した「保育原理」の、子ども観・発達観・保育観の部分を復習する。	90分
	【復習】自分の「子どもを見る視点」について意識化し、現時点での自分の「子ども観」についてまとめる。	90分
第3回	(竹田) 保育者の専門性 (2) 遊びを捉える視点	
	【予習】保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の各々の第2章を読んでおく。	90分
	【復習】遊びを5領域を通して総合的・相互関連的に見る視点を学ぶためのレポートを作成する。	90分
第4回	(竹田) 保育者の専門性 (3) 保育における環境構成	
	【予習】保育の環境にはどのようなものがあるか、調べておく。	90分
	【復習】環境を通した保育とは何か、保育者として何を大切にすべきか、自分なりの考えをまとめておく。	90分
第5回	(竹田) 子ども育成から保育を問う 地域に生きる保育者として成長するために	
	【予習】保育施設が地域に果たす役割には何かがあるか、考えておく。 「保育者として成長する」とはどんなことが、考えておく。	90分
	【復習】5回分の講義内容をまとめたレポートを作成する。	90分
第6回	(宮田) 子ども育成における福祉の視点 「社会福祉とは」	
	【予習】社会福祉の意義について調べる。	90分
	【復習】社会福祉の意義について講義の内容を復習する。	90分
第7回	(宮田) 子ども育成における福祉の視点 「社会福祉の歴史」	
	【予習】社会福祉の歴史について調べる。	90分
	【復習】社会福祉の歴史について講義の内容を復習する。	90分
第8回	(宮田) 子ども育成における福祉の視点 「子ども家庭福祉のいま・未来(1) 子育てを支える」	
	【予習】子ども・子育て支援について調べる。	90分
	【復習】子ども・子育て支援について講義の内容を復習する。	90分
第9回	(宮田) 子ども育成における福祉の視点 「子ども家庭福祉のいま・未来(2) 子どもを護る」	
	【予習】子どもの権利擁護について調べる。	90分
	【復習】子どもの権利擁護について講義の内容を復習する。	90分

第10回	(水上)教育とは何か 発達を踏まえて考える	
	【予習】子どもの発達について調べておく。	90分
	【復習】子どもの発達に関する講義の内容を復習する。	90分
第11回	(水上)よく生きること 教育と福祉	
	【予習】福祉に関する歴史について調べる。	90分
	【復習】福祉に関する歴史について講義の内容を復習する。	90分
第12回	(水上)教育と民主主義 教育と共同体	
	【予習】教育と福祉のかかわりについて調べる。	90分
	【復習】教育と福祉のかかわりについて講義の内容を復習する。	90分
第13回	(水上)今後の日本の学校教育	
	【予習】教育と民主主義のかかわりについて調べる。	90分
	【復習】教育と民主主義のかかわりについて、講義の内容を復習する。	90分
第14回	(水上)日本の教育と世界の教育	
	【予習】日本の教育と海外の教育を調べ、比較する。	90分
	【復習】日本の教育と海外の教育について講義の内容を復習する。	90分
第15回	(水上)国際化と教育	
	【予習】国際化と教育について調べる。	90分
	【復習】国際化と教育について講義の内容を復習する。	90分
第16回	定期試験は行わない	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 、 、 については、担当教員ごとの個別評価を合わせて総合評価する。(平常点(20%)程度・レポート(80%)程度) なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	適宜資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	適宜資料を配布する。
授業外学修等	1.次回分の学習予定範囲及び授業で触れた部分について教科書・関係資料等を読んでおくこと。 2.他の教育・心理・福祉関連科目で学習した内容を復習し、再確認しておくこと。		
授業外質問方法	[宮田 (tmiyata@tuins.ac.jp) 竹田 (takeda@tuins.ac.jp)] オフィスアワー等に直接研究室を訪ねて、またはメールにて質問可 [水上 (mizukami@tuins.ac.jp)] 授業終了後、またはメールにて質問可		
オフィス・アワー	宮田： 曜 限 (E507 宮田研究室) 竹田：水曜 2 限 (E301 竹田研究室)		

授業科目名	社会的養護	科目コード	K1102L11
英文名	Social Care I		

科目区分	子ども育成の理論
------	----------

職名	教授	担当教員名	宮田 徹
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	4限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>保育所以外の児童福祉施設も保育士の職域であることをふまえ、児童の社会的養護の原理と実際について学ぶとともに、保育士資格科目「施設実習」の事前学習としても位置づける（「施設実習指導」の授業・施設見学などと関連付けて学習します。）（担当教員：児童福祉分野の実務経験あり）</p>		
-------	--	--	--

キーワード	社会的養護	子どもの権利			
-------	-------	--------	--	--	--

到達目標	社会的養護の基本的事項や施設養護における保育士の役割について基本的事項を理解し、説明できる。(60%)
	社会的養護の動向や方向性を踏まえ、問題解決のための方策について考察することができる。(20%)
	社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援について高い関心を持ち、援助者としての実践力向上への意欲を有する。(20%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>「オリエンテーション」「社会的養護の意義」 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する / 社会的養護の意義について学ぶ 【資料】スライド (印刷用)</p>	
	<p>【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト第1章を読み、社会的養護の意義について確認する 配布用シラバス テキストもくじ / テキスト序章</p>	90分
	<p>【復習】授業の全体像について確認する 社会的養護の意義、理念、基本原理について、授業内容を把握し、理解を深める / 第1章 参考動画 (Youtube) : 「夢が持てない：養護施設や里親の下で暮らす子どもたち」(2014年) 新しい社会的養育ビジョン (厚生労働省) 概要 本文</p>	90分
第2回	<p>「現代社会における社会的養護のニーズ」 現代社会の子どもと家庭の状況 / 児童養護問題の発生 【資料】スライド (印刷用)</p>	
	<p>【予習】現代社会における社会的養護のニーズについて、テキスト第2章、参考文献等で確認する</p>	90分
	<p>【復習】現代社会における社会的養護のニーズについて、授業内容を把握し、理解を深める / 第2章</p>	90分
第3回	<p>「社会的養護の歴史の変遷」 子ども観の変遷と子どもの権利保障の歩み / 日本における社会的養護の歴史 【資料】スライド (印刷用)</p>	
	<p>【予習】社会的養護の歴史の変遷について、テキスト第3章、参考文献等で確認する</p>	90分
	<p>【復習】社会的養護の歴史の変遷について、授業内容を把握し、理解を深める / 第3章</p>	90分
第4回	<p>「社会的養護における子どもの人権」 基本的人権と子どもの権利 / 「児童の権利に関する条約」 / 権利擁護 【資料】スライド (印刷用)</p>	
	<p>【予習】社会的養護における子どもの人権について、テキスト第4章、参考文献等で確認する 参考：子どもの権利条約について (ユニセフ) 児童の権利条約 (児童の権利に関する条約) 外務省</p>	90分
	<p>【復習】社会的養護における子どもの人権について、授業内容を把握し、理解を深める / 第4章 参考：国連「児童の代替的養護に関する指針」(厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課仮訳)</p>	90分
第5回	<p>「社会的養護にかかわる法令」 社会的養護に係る法律 / 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準 【資料】スライド / (印刷用)</p>	
	<p>【予習】社会的養護にかかわる法令について、テキスト第5章、参考文献等で確認する</p>	90分
	<p>【復習】社会的養護にかかわる法令について、授業内容を把握し、理解を深める / 第5章 参考：「障害福祉サービスの利用について」 厚生労働省ウェブサイト「社会的養護に関する法令・通知等一覧」</p>	90分
第6回	<p>「社会的養護の仕組みと実施体制」 社会的養護の体系 / 社会的養護の実施体制と専門機関 / 社会的養護の連携機関 【資料】スライド / 印刷用</p>	
	<p>【予習】社会的養護の仕組みと実施体制について、テキスト第6章、参考文献等で確認する (参考リンク) 厚生労働省ウェブサイト「社会的養護」</p>	90分
	<p>【復習】社会的養護の仕組みと実施体制について授業内容を把握し理解を深める / 第6章 (参考) 厚生労働省「社会的養育の推進に向けて(令和2年10月)」</p>	90分

第7回	<p>「家庭養護の基本原則と実際」 里親制度 / ファミリーホーム / 養子縁組 / 特別養子縁組 【資料】スライド / (印刷用)</p>	
	<p>【予習】家庭養護の基本原則と実際について、テキスト第7章、参考文献等で確認する (資料)里親制度資料集(厚生労働省) 里親及びファミリーホーム養育指針 里親委託ガイドライン</p>	90分
	<p>【復習】家庭養護の基本原則と実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第7章 (参考)「新しい社会的養育ビジョン」(本文) (概要) 厚生労働省ホームページ「里親制度等について」</p>	90分
第8回	<p>「施設養護の共通基盤と基本原則」 施設養護とは / 施設養護の展開過程 / 施設養護のインケアの実際 / 退所後の自立支援 【資料】スライド / (印刷用)</p>	
	<p>【予習】施設養護の共通基盤と基本原則について、テキスト第8章、参考文献等で確認する (参考)厚生労働省ホームページ「社会的養護」 「指針の概要」「乳児院運営指針」「児童養護施設運営指針」</p>	90分
	<p>【復習】施設養護の共通基盤と基本原則について、授業内容を把握し、理解を深める / 第8章 (参考)厚生労働省「社会的養育の推進に向けて」(令和2年4月)抜粋 「6.自立支援の充実」 「親子関係再構築支援実践ガイドブック」</p>	90分
第9回	<p>「施設養護の実際」(1): 児童養護施設 乳児院 / 母子生活支援施設 / 児童養護施設 【資料】レジュメ (参考)施設実習指導 スライド「乳児院・児童養護施設」</p>	
	<p>【予習】児童養護施設における施設養護の実際について、テキスト第9章、参考文献等で確認する (参考)児童養護施設入所児童等調査の概要</p>	90分
	<p>【復習】児童養護施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章</p>	90分
第10回	<p>「施設養護の実際」(2): 障害児系施設 障害児入所支援 / 障害児通所支援 【資料】レジュメ (参考)施設実習指導 スライド「障害児・者施設」</p>	
	<p>【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト第10章、参考文献等で確認する (参考)厚生労働白書・資料編「障害者保健福祉」 (参考リンク)厚生労働省ホームページ「障害児支援施策」</p>	90分
	<p>【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し理解を深める / 第10章 (参考)「今後の障害児支援の在り方について」(概要) (報告書全文) (参考)「児童発達支援ガイドライン(概要)」</p>	90分
第11回	<p>「知的障害者のための施設」 知的障害の理解 / 知的障害者のための施設と支援 【資料】レジュメ / (参考)厚生労働白書資料編「障害者保健福祉」</p>	
	<p>【予習】知的障害者のための施設における支援について、参考文献等で確認する</p>	90分
	<p>【復習】知的障害者のための施設における支援について、授業内容を把握し、理解を深める 参考資料: 津守真(2000)「保育者の地平」(発達83特集「保育者の成長と専門性」)</p>	90分
第12回	<p>「施設養護の実際」(3): 治療・行動系施設 児童心理治療施設 / 児童自立支援施設 【資料】レジュメ (参考)「児童養護施設入所児童等調査結果(平成30年2月)」</p>	
	<p>【予習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、テキスト第11章、参考文献等で確認する (参考)「情緒障害児短期治療施設(現・児童心理治療施設)運営指針」 「児童自立支援施設運営指針」</p>	90分
	<p>【復習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第11章 (資料)「情緒障害児短期治療施設(児童心理治療施設)運営ハンドブック」 「児童自立支援施設運営ハンドブック」</p>	90分

第13回	「社会的養護と在宅子ども家庭支援」 社会的養護と在宅支援 / 社会的養護と地域福祉 【資料】スライド / (印刷用)	
	【予習】社会的養護と在宅子ども家庭支援について、テキスト第12章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護と在宅子ども家庭支援について、授業内容を把握し、理解を深める / 第12章 (参考)「市町村子ども家庭支援指針」 「子育て世代包括支援センター業務ガイドライン」	90分
第14回	「社会的養護にかかわる専門職」 社会的養護にかかわる専門職 / 専門職・専門機関・関連機関との連携 【資料】スライド / (印刷用)	
	【予習】社会的養護にかかわる専門職について、テキスト第13章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護にかかわる専門職について、授業内容を把握し、理解を深める / 第13章	90分
第15回	「社会的養護の必要性と展望」 社会的養護の現状と課題 / 社会的養護の展望 【資料】スライド / 印刷用	
	【予習】社会的養護の必要性と展望について、テキスト第15章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の必要性と展望について、授業内容を把握し、理解を深める / 第15章	90分
第16回	前期末レポート課題 テーマ：あなたの考える理想の社会的養護とはどのようなものですか。その実現のためにはどうすることが必要だと考えますか。授業での学びを踏まえて述べなさい。 形式等：A4,1ページ。1200字～1600字(40字40行)。表紙は不要。1行目に学籍番号・氏名を明記。2行目をタイトルとし、3行目から本文をはじめること。 提出場所：Webシラバス第16回【課題1】のリンクからWordファイルで提出すること。ファイル名は「社会的養護 レポート.docx」とすること。(学籍番号+氏名はWebシラバスの方で自動的に付与されます) 提出期限：2021年8月6日(金)18:00まで フィードバック：課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を紹介する。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目1：期末筆記試験における客観式テストで評価する。(60%) 到達目標項目2：期末筆記試験における記述式テストで評価する。(20%) 到達目標項目3：受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性10% 社会性10% 専門性：80%		
使用資料 <テキスト>	・大竹智・山田利子編『保育と社会的養護』(みらい)	使用資料 <参考図書>	日頃より関連のある文献をよく読んでおくこと。
授業外学修等	日頃より関連のある文献をよく読んでおくこと。		
授業外質問方法	講義終了後、都合がつく限り、質問や相談に対応します。		
オフィス・アワー	水曜日2限, E507宮田研究室		

授業科目名	福祉教育論	科目コード	K1102L14
英文名	Socio-Education		

科目区分	子ども育成の理論
------	----------

職名	教授	担当教員名	村上 満
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>小学校・幼稚園・保育園(所)、福祉現場における福祉教育の理論と実際について学ぶ。小学校における総合的な学習の時間を中心に、園や学校の全教育活動を通しての実際について、学生自身の調査・体験・討議など、意欲的探究を重視して授業を進める。福祉教育・ボランティア学習により、子どもの豊かな福祉観を育み、人間的発達を支援できる教育者（保育者）として、ふさわしい資質を身につける。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	福祉教育	ボランティア学習	総合的な学習	福祉専門職	NPO・ボランティア
-------	------	----------	--------	-------	------------

到達目標	学校を基盤とする福祉教育の現状と課題について理解できる。(25%)
	地域を基盤とする福祉教育の現状と課題について理解できる。(25%)
	福祉専門職養成を基盤とする福祉教育の現状と課題について理解できる。(25%)
	- をふまえて、福祉教育実践に向けた企画、発表ができる。(25%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、 社会福祉・福祉教育の基礎的理解 - 社会福祉の歩み、福祉教育の3領域（学校・地域住民・福祉専門職） -	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	社会福祉の概念・理念と福祉教育の歩み (村上) 福祉・教育にかかわる法律、人権教育、福祉教育とボランティア学習 etc. 自立と共生、ノーマライゼーション・ICFの概念 etc.	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	小学校・幼稚園・保育園(所)における福祉教育(1) (野田) 社会福祉協議会とは	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	小学校・幼稚園・保育園(所)における福祉教育(2) (野田) 社会福祉協議会とは	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	小学校・幼稚園・保育園(所)における福祉教育(3) (野田) 地域における福祉教育と社会福祉協議会の活用	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	小学校・幼稚園・保育園(所)における福祉教育企画書作成(1) (村上) グループ学習	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	小学校・幼稚園・保育園(所)における福祉教育企画書作成(2) (村上) グループ学習	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第8回	小学校・幼稚園・保育園(所)における福祉教育企画書作成(3) (村上) グループ発表	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第9回	小学校・幼稚園・保育園(所)における福祉教育指導案作成(4) (村上) 発表と討議	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第10回	福祉教育推進上の留意点、まとめ(1) (村上)	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	福祉教育推進上の留意点、まとめ(2) (村上)	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	地域における福祉教育と子ども育成(1) NPO・ボランティア活動の展開と次世代育成支援 (村上)	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第13回	地域における福祉教育と子ども育成(2) 子どもの発達課題・家庭の生活課題とスクールソーシャルワーカーの活動 (村上)	
	【予習】	
	【復習】	30分
第14回	福祉専門職の福祉教育(1) 保育士・社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の養成教育の現状と課題 (村上)	
	【予習】	
	【復習】	30分
第15回	福祉専門職の福祉教育(2) 保育士・社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の養成教育の現状と課題 (村上)	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 1 ~ 3 は、受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(50%) 到達目標 4 は、企画内容、発表内容等で評価する。(50%)</p> <p>なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p>		
使用資料 <テキスト>	授業中に配布する資料などを使用する。	使用資料 <参考図書>	阪野貢ほか編著 『福祉教育のすすめ』（ミネルヴァ書房）
授業外学修等	<p>授業を展開していく中で、体験活動や訪問調査などを課すことも予定しています。 授業時間外に、各自で取り組むこと。</p> <p>児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておいて下さい。</p>		
授業外質問方法	授業終了後に個別対応する。		
オフィス・アワー	木曜・3限 E709村上研究室		

授業科目名	教育心理学	科目コード	K1102P07
英文名	Educational Psychology		

科目区分	子ども育成の理論
------	----------

職名	准教授	担当教員名	大平 泰子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	4限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>学校教育にかかわるテーマを中心に、教育実践の観点から子どもの心理発達を考察する。講義では、記憶、学習、動機づけ、学級社会、教授法、教育評価などについて解説する。 (担当教員：スクールカウンセラーの実務経験あり)</p>		
-------	--	--	--

キーワード	教育	記憶	学習		
-------	----	----	----	--	--

到達目標	<p>教育に関連する心理学の知識を身につけ、子どもの発達をふまえた学習を支える指導についての基礎的な考え方を理解することができる。(100%)</p>				

卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	教育心理学PPT(01) 記憶と忘却	
	【予習】記憶と忘却について、事前に調べる。	90分
	【復習】記憶と忘却について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第2回	教育心理学PPT(02) 知識	
	【予習】知識について、事前に調べる。	90分
	【復習】知識について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第3回	教育心理学PPT(03) 問題解決	
	【予習】問題解決について、事前に調べる。	90分
	【復習】問題解決について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第4回	教育心理学PPT(04) 学習の過程	
	【予習】学習の過程について、事前に調べる。	90分
	【復習】学習の過程について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第5回	教育心理学PPT(05) 観察学習と自己強化	
	【予習】観察学習と自己強化について、事前に調べる。	90分
	【復習】観察学習と自己強化について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第6回	教育心理学PPT(06) 動機づけ	
	【予習】動機づけについて、事前に調べる。	90分
	【復習】動機づけについて、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第7回	教育心理学PPT(07) 原因帰属	
	【予習】原因帰属について、事前に調べる。	90分
	【復習】原因帰属について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第8回	教育心理学PPT(08) 統制感	
	【予習】統制感について、事前に調べる。	90分
	【復習】統制感について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第9回	教育心理学PPT(09) 学級社会	
	【予習】学級社会について、事前に調べる。	90分
	【復習】学級社会について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分

第10回	教育心理学PPT(10) 教授法	
	【予習】教授法について、事前に調べる。	90分
	【復習】教授法について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第11回	教育心理学PPT(11) 教育評価	
	【予習】教育評価について、事前に調べる。	90分
	【復習】教育評価について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第12回	教育心理学PPT(12) 知的能力	
	【予習】知的能力について、事前に調べる。	90分
	【復習】知的能力について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第13回	教育心理学PPT(13) 発達障害の理解	
	【予習】発達障害について、事前に調べる。	90分
	【復習】発達障害について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第14回	教育心理学PPT(14) 動画視聴 カウンセリング	
	【予習】カウンセリングについて、事前に調べる。	90分
	【復習】カウンセリングについて、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第15回	授業の振り返りとまとめ	
	【予習】これまでの学習内容を振り返る。	90分
	【復習】理解が不十分な点について、知識の整理をする。	90分
第16回	期末レポート課題とレポート作成用フォーマットを配布します 期末レポート課題 レポートのフォーマット	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 について、期末レポートで評価する。(100%) なお、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。 専門性：100%		
使用資料 <テキスト>	鎌原雅彦ほか「やさしい教育心理学」(有斐閣)	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	授業の内容を復習しておくこと。		
授業外質問方法	授業終了後に教室で、および随時研究室で受け付ける。		
オフィス・アワー	水曜 2 限		

授業科目名	家庭教育論	科目コード	K1102P13
英文名	Theory of Education in the Family		

科目区分	子ども育成の理論
------	----------

職名	准教授	担当教員名	大平 泰子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教育全般の中において、歴史的に重視されてきた学校教育とともに、家庭教育に焦点が当てられている。家庭で行われる教育は教育の原点とも言え、また子どもにとって大きな影響をもつ。子育ての歴史を踏まえるとともに今日的な課題を見だし、家庭教育について考察を深める。</p>		
-------	---	--	--

キーワード	家庭教育	子育て	家族関係		
-------	------	-----	------	--	--

到達目標	<p>家族関係、子どもの発達における家庭教育の影響、家庭教育の意義、家庭教育に関わる支援などについて、子育ての歴史や今日的な課題をふまえて理解し考えを深めることができる。(100%)</p>				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「家庭教育」とは何か	
	【予習】「家庭教育」とはどういったものか調べる。	90分
	【復習】「家庭教育」とはどういったものかについて講義の内容を復習する。	90分
第2回	家族と子どもの関係	
	【予習】家族と子どもの関係について調べる。	90分
	【復習】家族と子どもの関係について講義の内容を復習する。	90分
第3回	「家庭教育」と親	
	【予習】「家庭教育」と親のあり方について調べる。	90分
	【復習】「家庭教育」と親のあり方について講義の内容を復習する。	90分
第4回	現代における「親」	
	【予習】現代における「親」のあり方について調べる。	90分
	【復習】現代における「親」のあり方について講義の内容を復習する。	90分
第5回	育児観と子ども観の変容	
	【予習】育児観と子ども観の変容について調べる。	90分
	【復習】育児観と子ども観の変容について講義の内容を復習する。	90分
第6回	現代における育児環境と育児支援	
	【予習】現代における育児環境と育児支援について調べる。	90分
	【復習】現代における育児環境と育児支援について講義の内容を復習する。	90分
第7回	児童福祉の理念	
	【予習】児童福祉の理念について調べる。	90分
	【復習】児童福祉の理念について講義の内容を復習する。	90分
第8回	子育て支援サービスの現状と課題	
	【予習】子育て支援サービスの現状と課題について調べる。	90分
	【復習】子育て支援サービスの現状と課題について講義の内容を復習する。	90分
第9回	家庭教育と学校教育の関係	
	【予習】家庭教育と学校教育の関係について調べる。	90分
	【復習】家庭教育と学校教育の関係について講義の内容を復習する。	90分

第10回	社会の変化と家庭教育のこれから	
	【予習】社会の変化と家庭教育のこれからについて考える。	90分
	【復習】社会の変化と家庭教育のこれからについて全講義の内容を手がかりに考える。	90分
第11回	家族システム 家族とは何か、家族の機能	
	【予習】家族の定義、家族の機能について、事前に調べる。	90分
	【復習】家族の定義、家族の機能について、学習した内容を振り返る。	90分
第12回	家族の発達 家族関係の発達過程	
	【予習】家族の発達過程について、事前に調べる。	90分
	【復習】家族の発達過程について、学習した内容を振り返る。	90分
第13回	家族のあり方 社会の変化とライフコース	
	【予習】社会の変化とライフコースについて、事前に調べる。	90分
	【復習】社会の変化とライフコースについて、学習した内容を振り返る。	90分
第14回	子どもの発達と家族の役割 子育てをめぐる問題と援助	
	【予習】子育てをめぐる問題と援助について、事前に調べる。	90分
	【復習】子育てをめぐる問題と援助について、学習した内容を振り返る	90分
第15回	授業の振り返りとまとめ 心理学的な視点から家庭教育について考える	
	【予習】これまでの学習内容を振り返る。	90分
	【復習】家庭教育について学習した内容を振り返る。	90分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 について、レポート(70%)・平常点(30%)の比率により判断する。 なお、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。 専門性：100%		
使用資料 <テキスト>	別途指示	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	授業の内容を復習し、それを踏まえて自分の身のまわりの事象をとらえること。		
授業外質問方法	授業終了後教室で、及び随時教員の研究室で受け付ける。		
オフィス・アワー	水曜 2 限		

授業科目名	保育内容（人間関係）(A)	科目コード	K1202L06
英文名	Childcare (Human Relationship)		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	准教授	担当教員名	本江 理子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	人と関わる力の基礎とは何かを考える。集団生活を体験することで、様々な力をつけていく子どもの姿などを保育事例に基づいて考察する。同時に、人間関係を築くときの基本となる“自分”について見つめ直し、模擬保育やグループ討議、演習を通して自分なりの保育観を探っていく。(担当教員：保育士・幼稚園教諭・保育施設巡回指導の実務経験あり)			
-------	---	--	--	--

キーワード	人と関わる力の基礎	発達段階	保育者の役割と援助	保育観
-------	-----------	------	-----------	-----

到達目標	幼稚園教育や保育で育みたい資質能力について理解することができる。(30%)			
	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、理解を深める。(40%)			
	乳幼児の言葉の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構築する方法を身に付けることができる。(30%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
				/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育の基本と領域「人間関係」 (ねらい及び内容・全体構造をふまえて)	
	【予習】テキストの目次を見て、授業内容の概観をつかむ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を準備する	90分
	【復習】保育の基本と領域「人間関係」に関してノートにまとめる 当日中に、WEBシラバス上で「鉛筆を持った人マーク」をクリックし、今日の授業についてのアンケートフォームに記入し、回答送信ボタンを押す(毎回)。	90分
第2回	グループ討議 「人とかかわる」ということについて (現代の社会状況もふまえて)	
	【予習】テキストの第2回の授業内容が書かれている箇所を読む 人間関係に関する現代の社会状況について書かれている参考文献や資料を探す	90分
	【復習】授業内で配布されたワークシートを利用して、自分なりの考えをまとめておく 予習の際に探した参考文献や資料も参考にする	90分
第3回	人とかかわりの発達 (乳児期)	
	【予習】テキストの第3回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】乳児期の人とかかわりの発達に関して、他の文献でも調べてみる	90分
第4回	人とかかわりの発達 (幼児期)	
	【予習】テキストの第4回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】幼児期の人とかかわりの発達に関して、他の文献でも調べてみる	90分
第5回	保育者の役割と援助 幼児期の終わりまで育てほしい姿から (「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」)	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の関連箇所を読む テキストで、関連する事例を探す	90分
	【復習】テキストの授業内容に関連する事例部分を読み込む 授業内容をノートにまとめる	90分
第6回	模擬保育 指導案作成・発表準備 (協同性を育む援助や遊びの展開について)	
	【予習】テキストで協同性を育む援助や遊びの展開について書かれている箇所を探し、読み込む	90分
	【復習】指導案の推敲 模擬保育の発表準備	90分
第7回	模擬保育 発表・討議 (情報機器及び教材の活用)	
	【予習】指導案の推敲 模擬保育の発表準備	90分
	【復習】発表の振り返り(自分のグループの発表を振り返る・他のグループの事例を考察し直す)	90分
第8回	保育の中での子どもの体験と学び (乳児期から学童期へのつながりも含めて理論を中心に)	
	【予習】テキストの第8回の授業内容が書かれている箇所を読む	
	【復習】乳児期から学童期へのつながりも含めた「保育の中での子どもの体験と学び」に関して、ノートにまとめる	

第9回	保育の中での子どもの体験と学び (自己抑制、自己発揮、葛藤、自信、自己肯定感など 事例を中心に)	
	【予習】テキストの第9回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】自己抑制、自己発揮、葛藤、自信、自己肯定感に対して理解を深める(テキストを読み直す)	90分
第10回	自分」を見つめてみよう 演習 好きなものなどを探り、“自分の傾向”を探る 演習 自分自身の過去を振り返ることで、今の自分を見つめ直す	
	【予習】これまでの授業のノートを振り返り、整理する	90分
	【復習】これまでの授業内容をふまえた上で、もう一度、自分を見つめ直す	90分
第11回	人とのかかわりの育ちを見る視点 (子どもの生活と遊びの中で育つ人とのかかわり)	
	【予習】テキストの第11回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】人とのかかわりの育ちを見る視点に関して、自分の考えをまとめる	90分
第12回	保育者の役割と援助 (省察とかかわりの変化を中心に)	
	【予習】テキストの第12回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】省察とは何かを考える	90分
第13回	保育者の役割と援助 (地域の多様な人々や保護者との関わりも含めて)	
	【予習】テキストの第13回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】地域の多様な人々や保護者との関わりも含めて、保育者の役割と援助についてまとめる	90分
第14回	グループ討議 人とのかかわりが難しい子どもについて	
	【予習】テキストの第14回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】授業の内容をもう一度深く考え、人とのかかわりが難しい子どもについての理解を深める	90分
第15回	グループ討議 個と集団を生かす保育とは？	
	【予習】テキストに読み残しや読み飛ばしをした箇所があれば、じっくり読む	90分
	【復習】個と集団を生かす保育の実際を想像し、より深い理解につなげる	90分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	課題レポート（70%）、演習内容（30%）で評価します。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	森上史朗・小林紀子・渡辺英則編 『最新保育講座 保育内容「人間関係」』	使用資料 <参考図書>	厚生労働省『保育所保育指針解説書』（フ レーベル館）
授業外学修等	様々な情報（報道、専門書、生活の中から）を敏感にキャッチして、専門職としての意識を高めるように努力してください。 テキスト1冊全てを課題レポート提出までに読むことができるように、計画を立てて予習・復習をしてください。		
授業外質問方法	授業の前後、オフィスアワーを中心に随時受け付けます。 オフィスアワーに授業が重なっている場合は、別の時間を予約してください。		
オフィス・アワー	水曜日 2限（E-402 本江研究室）		

授業科目名	保育内容（人間関係）(B)	科目コード	K1202L06
英文名	Childcare (Human Relationship)		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	准教授	担当教員名	本江 理子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	乳幼児の言葉の獲得・発達過程や保育者の言葉を細かく学ぶ中で、現代の問題も考察していく。「言葉」というものを捉え直し、言葉のもつ特性などを理解した上で教材研究をする。言葉が育つ環境を考えることで、小学校での学びにどのようにつながるのかを具体的に考える。(担当教員：保育士・幼稚園教諭・保育施設巡回指導の実務経験あり)			
-------	---	--	--	--

キーワード	言葉の獲得	言葉の発達段階	言語的環境	教材研究
-------	-------	---------	-------	------

到達目標	幼稚園教育や保育で育みたい資質能力について理解することができる。(30%)
	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、理解を深めることができる。(40%)
	乳幼児の言葉の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構築する方法を身に付けることができる。(30%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
				/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育内容のとらえ方と領域「言葉」（ねらい及び内容・全体構造をふまえて）	
	【予習】テキストの目次を見て、授業内容の概観をつかむ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を準備する	90分
	【復習】領域「言葉」に関してノートにまとめる 当日中に、WEBシラバス上で「鉛筆を持った人マーク」をクリックし、今日の授業についてのアンケートフォームに記入し、回答送信ボタンを押す（毎回）。	90分
第2回	発達のとらえ方と言葉（言葉の特徴と発達段階） 言葉の発達の基盤となる信頼関係の形成 非言語的コミュニケーションの重要性	
	【予習】テキストの第2回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】乳児期の言葉の特徴と発達段階に関してノートにまとめる	90分
第3回	発達のとらえ方と言葉（言葉の特徴と発達段階） 伝え合う喜びを味わうようになる過程	
	【予習】テキストの第3回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】幼児期の言葉の特徴と発達段階に関してノートにまとめる	90分
第4回	言葉が育つ環境（児童文化財も含めて）	
	【予習】テキストの第4回の授業内容が書かれている箇所を読む テキスト以外の参考文献を探す	90分
	【復習】言葉が育つ環境に関して、ノートにまとめる	90分
第5回	演習 「言葉の楽しさや美しさ」に気付く遊び（しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなど）	
	【予習】しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなどについて書かれている文献を探す	90分
	【復習】しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなどについて書かれている文献を読み、ノートに内容をまとめておく	90分
第6回	言葉遊びに関する指導案作成（絵本・紙芝居など 児童文化財にかかわるもの）	
	【予習】指導案が作成できるように、参考文献や資料を探す	90分
	【復習】作成した指導案を吟味、再考する	90分
第7回	言葉遊びに関する指導案作成（しりとり・なぞなぞなど ゲームにかかわるもの）	
	【予習】指導案が作成できるように、参考文献や資料を探す	90分
	【復習】作成した指導案を吟味、再考する	90分
第8回	言葉遊びに関する模擬保育（情報機器及び教材の活用）	
	【予習】第6、7回に作成した指導案を吟味、再考し、模擬保育ができるように準備する	90分
	【復習】模擬保育の反省点をふまえ、ノートにまとめておく もう一度、指導案を練り直す	90分

	保育の展開と子ども理解 保育者の役割と援助	
第9回	【予習】テキストのこれまでの授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】授業内容とこれまでの学びをつなげて、考えをまとめておく	90分
	グループ討議 乳児期にみられる問題点（事例を通して考える） 障害のある子や外国籍の子どもへの援助について	
第10回	【予習】テキストの第10回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】障害のある子や外国籍の子どもへの援助について、具体例が書かれている文献を探して理解を深める	90分
	グループ討議 乳児期にみられる問題点（事例を通して考える） 「言葉による伝え合い」について（小学校での学びにどのようにつながるのか）	
第11回	【予習】テキストのこれまでの授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】乳幼児期の「言葉による伝え合い」とはどのようなことなのかを考え、小学校での学びにどのようにつながるのかをノートにまとめておく	90分
	発達に合わせて援助する保育とは何かに関する教材研究 指導案作成	
第12回	【予習】指導案作成の準備をする（テキストの関連箇所を読む 参考文献、資料を探す）	90分
	【復習】教材研究発表（模擬保育）の準備をする	90分
	発達に合わせて援助する保育とは何かに関する教材研究 模擬保育	
第13回	【予習】テキストの第13回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】模擬保育の反省点から、今後の課題を見出す	90分
	保育者の指導に関する問題点及び評価	
第14回	【予習】テキストの第14回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】保育者の指導に関する問題点及び評価に関して、ノートにまとめる その際、事例をあげて、より具体的に考えられるようにしておく	90分
	「言葉の獲得に関する領域」の問題点	
第15回	【予習】テキストの第15回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】「言葉の獲得に関する領域」の問題点に関して、キーワードごとに整理する 事例をあげて、より具体的に論述できるようにしておく	90分
第16回	【予習】	90分
	【復習】	90分

評価方法	課題レポート（60％）、模擬保育の発表内容（40％）を総合的に評価します。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	柴崎正行・戸田雅美・秋田喜代美編 『最新保育講座	使用資料 <参考図書>	厚生労働省『保育所保育指針解説書』（フ レーベル館）
授業外学修等	レポートの課題は、テキストを全て読んでいることを前提として出題します。レポート作成時期まで、テキストに2～3回は目を通せるよう、計画して読み進めておいてください。また、関連の文献などにも着目して、自分の考えを深めておきましょう。		
授業外質問方法	授業の前後、オフィスアワーを中心に随時受け付けます。 オフィスアワーに授業が重なっている場合は、別の時間を予約してください。		
オフィス・アワー	木曜日2限（E-402本江研究室）		

授業科目名	社会的養護	科目コード	K1202L20
英文名	Social Care II		

科目区分	子ども育成の内容・方法		
------	-------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	竹島 弘子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	1単位

授業の概要	社会的養護を受けて生活する子どもたちの理解と支援について、演習を通して主体的、対話的、実践的に学ぶ。（児童福祉施設での実務経験あり。）		
-------	---	--	--

キーワード	施設養護と家庭養	子どもの行動理解	子どもの自立支援		
-------	----------	----------	----------	--	--

到達目標	子ども理解を踏まえた社会的養護実践の基礎的内容について具体的に理解できる。（25％）
	施設養護及び家庭養護の実際について理解できる。（25％）
	社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解できる。（25％）
	子どもの虐待防止と家庭支援について理解できる。（25％）

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業の進め方(演習科目の目的、特徴など) 社会的養護の基本的枠組みと実施体系、施設養護と家庭養護について (社会的養護相談の入り口-相談の流れ-施設入所・里親委託までのプロセス)	
	【予習】社会的養護 の復習	30分
	【復習】講義の復習	30分
第2回	施設養護の特性および実際(1) (演習) 児童養護施設の事例...愛着関係の形成	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第3回	施設養護の特性および実際(2) (演習) 乳児院の事例・・・家族再統合にむけた親子への支援	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第4回	施設養護の特性および実際(3) (演習) 乳児院における個別支援計画(自立支援計画)の作成	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第5回	施設養護の特性および実際(4) (演習) 被虐待児の事例・・・子どもの気持ちを理解する(ロールプレイ)	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第6回	施設養護の特性および実際(5) (演習) 問題行動のある子どもの事例・・・心的外傷の行動化(ロールプレイ)	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第7回	家庭養護の特性および実際(1) (演習) 里親家庭で育つ子どもの事例・・・喪失体験と生い立ちの振り返り	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第8回	家庭養護の特性および実際(2) (演習) 乳児院に入所していた子どもの養子縁組までの事例・・・里親家庭で育つ利点 社会的養護の課題と展望	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 から について、レポート（80%）、演習への取り組み姿勢・受講態度（20%）で総合的に評価する。 なお、評価する基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：20% 専門性：60%		
使用資料 <テキスト>	学ぶ・わかる・みえるシリーズ 保育と現代社会	使用資料 <参考図書>	よくわかる社会的養護内容 第3版 小木曾宏・宮本秀樹・鈴木崇之 編
授業外学修等	5回目の授業で課題を伝えますので、授業外でレポートを作成し、第8回目を課題レポート提出日とします。 毎回の授業ではミニレポートを作成し、授業終了時に提出してもらい、翌週の授業の始めに口頭でフィードバックします。		
授業外質問方法	授業終了後に気軽に声をかけてください。		
オフィス・アワー	授業終了後に気軽に声をかけてください。		

授業科目名	音楽科教育法	科目コード	K1202L26
英文名	Methods of Teaching Music		

科目区分	子ども育成の内容・方法		
------	-------------	--	--

職名	教授	担当教員名	堀江 英一
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	5限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の実態を子どもの発達段階に即して理解するとともに、小学校における音楽科の学習指導に必要な知識を「指導目標」「指導内容」「指導方法」の面から習得する。 ・小学校の子どもの実態に即した授業を計画し実践する技能を習得する。 (堀江英一：中学校、高等学校での実務経験あり) 			
-------	---	--	--	--

キーワード	音楽科指導目標	音楽科指導内容	音楽科指導方法	模擬授業
-------	---------	---------	---------	------

到達目標	小学生の音楽科の学習指導に必要な指導目標・指導内容・指導方法を理解習得させる。			
	模擬授業を通して、学習指導案の作成方法、子どもの実態に即した指導方法、授業実践に基づく形成的評価の方法など、小学校音楽科の授業に必要な実践力を身に付けさせる。			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	3.地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)		
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援		子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、音楽科教育の目的と役割 小学校における音楽科の役割、子どもの音楽的発達	
	【予習】音楽科教育法のテキスト、幼児の音楽教育のテキストを事前に読んでおきます。	30分
	【復習】配付資料をしっかりと読み直し、自分なりの考えをもつ。	30分
第2回	わが国の音楽教育の歩み 外国の音楽教育法（コダーイ・システム、オルフ・シュールベルクなど） 新学習指導要領の目標（「知識・技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性の涵養」に関わる目標）	
	【予習】音楽科教育法のテキスト、幼児の音楽教育のテキスト、新学習指導要領の目標、解説の該当部分を事前に読んでおきます。	30分
	【復習】配付資料をしっかりと読み直し、自分なりの考えをもつ。	30分
第3回	各学年の指導目標と内容の概要を新学習指導要領に基づいて学びます。	
	【予習】新学習指導要領解説の該当ページを読んでおきます。	30分
	【復習】配付資料をしっかりと読み直し、自分なりの考えをもつ。	30分
第4回	低学年の指導内容と共通教材の指導のポイントを新学習指導要領の趣旨に基づいて学びます。	
	【予習】新学習指導要領解説の該当ページを読んでおきます。	30分
	【復習】配付資料をしっかりと読み直し、自分なりの考えをもつ。	30分
第5回	中学年の指導内容と共通教材の指導のポイントを新学習指導要領の趣旨に基づいて学びます。	
	【予習】新学習指導要領解説の該当ページを読んでおきます。	30分
	【復習】配付資料をしっかりと読み直し、自分なりの考えをもつ。	30分
第6回	高学年の指導内容と共通教材の指導のポイントを新学習指導要領の趣旨に基づいて学びます。	
	【予習】新学習指導要領解説の該当ページを読んでおきます。	30分
	【復習】配付資料をしっかりと読み直し、自分なりの考えをもつ。	30分
第7回	リコーダーの指導法と指揮法の基礎を学びます。	
	【予習】ソプラノリコーダーを用意しておきます。	30分
	【復習】配付資料をしっかりと読み直し、練習を続けます。	30分
第8回	合唱やアンサンブルに必要な練習方法を共通教材を用いて学びます。	
	【予習】	30分
	【復習】学んだアンサンブル指導法のポイントを整理しておきます。	30分

第9回	年間指導計画及び学習指導案の作成の仕方	
	【予習】音楽科教育法の該当ページを読んでおきます。	30分
	【復習】配付資料をしっかりと読み直し、自分なりの考えをもつ。	30分
第10回	グループ分け（1グループ8人程度）模擬授業の計画立案（グループディスカッション） 共通教材の歌唱指導の導入の場面を役割を決めて計画します。	
	【予習】	
	【復習】授業計画を学習指導案にまとめる。	
第11回	模擬授業の実践と反省（A～Cグループ） 各グループ20分の持ち時間で模擬授業をします。 フィードバック 教員による改善点などの助言を行います。	
	【予習】	120分
	【復習】実践した模擬授業の反省に基づき、重要なポイントを理解します。	30分
第12回	模擬授業の実践と反省（D～Fグループ） 各グループ20分の持ち時間で模擬授業をします フィードバック 教員による改善点などの助言を行います。	
	【予習】役割分担を行い、作成した学習指導案に基づき授業の準備を行います。	120分
	【復習】実践した模擬授業の反省に基づき、重要なポイントを理解します。	30分
第13回	第2回模擬授業の計画立案（グループディスカッション） 共通教材の歌唱指導の導入の場面を役割を決めて計画します。	
	【予習】	
	【復習】授業計画を学習指導案にまとめる。	
第14回	第2回模擬授業の実践と反省（A～Cグループ） 前回の反省に基づき各グループ20分の持ち時間で模擬授業をします。 フィードバック 教員による改善点などの助言を行います。	
	【予習】役割分担を行い、作成した学習指導案に基づき授業の準備を行います。	120分
	【復習】実践した模擬授業の反省に基づき、重要なポイントを理解します。	30分
第15回	第2回模擬授業の実践と反省（D～Fグループ） 前回の反省に基づき各グループ20分の持ち時間で模擬授業をします。 フィードバック 教員による改善点などの助言を行います。	
	【予習】役割分担を行い、作成した学習指導案に基づき授業の準備を行います。	120分
	【復習】実践した模擬授業の反省に基づき、重要なポイントを理解します。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	学習指導案作成（30％）、模擬授業実践（30％）、授業に取り組む姿勢（20％）、レポート作成（20％） 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	『新版 教員養成課程 小学校音楽科教育法』（教育芸術社、『小学校学習指導要領	使用資料 <参考図書>	小学校音楽科教科書及び参考資料を適宜配布
授業外学修等	日頃の練習を通して授業実践に必要な技能（歌唱、ピアノ伴奏など）を習得するように努めること。模擬授業の方法を研究し、事前にその準備を行うこと。		
授業外質問方法	horie@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	火曜3限		

授業科目名	図画工作科教育法(A)	科目コード	K1202L27
英文名	Methods of Teaching Arts and Crafts		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>小学校図画工作科に関する基礎的な造形能力や指導力の育成を目指す。内容は主として図画工作科の特性を理解するとともに、具体的な実践事例に基づきながら、指導のポイントや学習支援のあり方等を考察する。また、教材研究や発表を通して、楽しい図画工作科の授業づくり、指導の構想をデザインする知識や技能を身につける。（担当教員：小学校、中学校での実務経験あり）</p>		
-------	---	--	--

キーワード	絵や立体・工作	創造力・表現力	模擬授業		
-------	---------	---------	------	--	--

到達目標	「小学校学習指導要領 図画工作科編」に基づいて、図画工作の目標と内容を理解することができる。（20％）				
	図画工作科の内容と指導を通して、児童の発達特性をふまえた、多様な授業をデザインすることができる。（30％）				
	造形表現を観察評価し、指導や支援ができる能力を身につけることができる。（30％）				
	学習指導案作成の手順を理解し作成することができる。（20％）				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	図画工作科のねらい、意義について コマ撮りムービーをつくろう（情報機器の活用）	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第2回	高学年の特徴、支援、評価について コマ撮りムービーをつくろう（情報機器の活用）	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第3回	身の回りにモノで動物を作ろう	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第4回	低学年の特徴、支援、評価について 身の回りにあるもので動物を作ろう	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第5回	木版画制作	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第6回	版の彫り	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第7回	中学年の特徴、支援、評価について 刷り 多色刷りと単色刷り	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第8回	造形遊び 造形遊びとは その活動の意義について	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第9回	造形遊び 新聞紙や紙コップを使って	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分

第10回	絵の具を使って 混色 絵の具の使い方について	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第11回	絵の具を使って ドローイング	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第12回	土粘土で制作 気持ちをかたちにする抽象表現 立体表現 抽象表現について	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第13回	教材研究 興味のある題材について教材研究を行う。各学年の年間計画について及び美術館の活用、鑑賞について	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第14回	模擬授業（つくりたいものをつくる） 鑑賞について	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第15回	模擬授業（造形遊び）	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第16回	定期試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ~ について、授業での取り組み・活動の様子（70%）、提出課題（30%）で評価します。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	文部科学省「小学校教科書図画工作1～6 上下」日本文教出版
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全や汚れのための身支度等の準備をしてください。 ・材料、道具の準備をしてください。 		
授業外質問方法	いつでも研究室にお越しください。		
オフィス・アワー	水曜2限（E-306佐部利研究室）		

授業科目名	図画工作科教育法(B)	科目コード	K1202L27
英文名	Methods of Teaching Arts and Crafts		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>小学校図画工作科に関する基礎的な造形能力や指導力の育成を目指す。内容は主として図画工作科の特性を理解するとともに、具体的な実践事例に基づきながら、指導のポイントや学習支援のあり方等を考察する。また、教材研究や発表を通して、楽しい図画工作科の授業づくり、指導の構想をデザインする知識や技能を身につける。（担当教員：小学校、中学校での実務経験あり）</p>		
-------	---	--	--

キーワード	絵や立体・工作	創造力・表現力	模擬授業		
-------	---------	---------	------	--	--

到達目標	「小学校学習指導要領 図画工作科編」に基づいて、図画工作の目標と内容を理解することができる。（20％）
	図画工作科の内容と指導を通して、児童の発達特性をふまえた、多様な授業をデザインすることができる。（30％）
	造形表現を観察評価し、指導や支援ができる能力を身につけることができる。（30％）
	学習指導案作成の手順を理解し作成することができる。（20％）

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	図画工作科のねらい、意義について コマ撮りムービーをつくろう（情報機器の活用）	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第2回	高学年の特徴、支援、評価について コマ撮りムービーをつくろう（情報機器の活用）	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第3回	身の回りにモノで動物を作ろう	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第4回	低学年の特徴、支援、評価について 身の回りにあるもので動物を作ろう	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第5回	木版画制作	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第6回	版の彫り	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第7回	中学年の特徴、支援、評価について 刷り 多色刷りと単色刷り	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第8回	造形遊び 造形遊びとは その活動の意義について	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第9回	造形遊び 新聞紙や紙コップを使って	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分

第10回	絵の具を使って 混色 絵の具の使い方について	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第11回	絵の具を使って ドローイング	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第12回	土粘土で制作 気持ちをかたちにする抽象表現 立体表現 抽象表現について	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第13回	教材研究 興味のある題材について教材研究を行う。各学年の年間計画について及び美術館の活用、鑑賞について	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第14回	模擬授業（つくりたいものをつくる） 鑑賞について	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第15回	模擬授業（造形遊び）	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力をもって観察しながら、アートの思考をいかせるところを探求する。	30分
第16回	定期試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ~ について、授業での取り組み・活動の様子（70%）、提出課題（30%）で評価します。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	文部科学省「小学校教科書図画工作1～6 上下」日本文教出版
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全や汚れのための身支度等の準備をしてください。 ・材料、道具の準備をしてください。 		
授業外質問方法	いつでも研究室にお越しください。		
オフィス・アワー	水曜2限（E-306佐部利研究室）		

授業科目名	国語	科目コード	K1202L34
英文名	Japanese Language Arts		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	講師	担当教員名	岩崎 直哉
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>1. 日本語の基礎的知識を理解し、小学校学習指導要領国語科の領域や指導内容、系統性について学ぶ。また、書写の実技を通して基礎について学ぶ。</p> <p>2. 15回全てが実務経験者による授業である。</p>		
-------	---	--	--

キーワード	日本語の特徴	国語科の領域と目標	指導案の作成		
-------	--------	-----------	--------	--	--

到達目標	漢字の伝来、片仮名・平仮名の成り立ちなど、日本語の基礎的知識を理解できる。(35%)
	小学校学習指導要領国語科の領域や指導内容、系統性などについて理解することができる。(25%)
	国語科学習指導案の基礎基本を理解することができる。(20%)
	書写の基礎知識を理解し、実技に生かすことができる。(20%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	国語講義の概要、日本語の特徴 ・国語と国語科教育 ・日本語の特徴 ・和語、漢語、外来語	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返り小レポートを提出する。小レポートについてコメントを付けて返す。	60分
第2回	日本語音声の謎 ・甲骨卜字 ・日本語の母音 ・濁音 ・特殊音節（拗音、長音、促音、撥音） ・氷を「こほり」と表記する理由	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返り小レポートを提出する。小レポートについてコメントを付けて返す。	60分
第3回	日本語表記の歴史（1） ・漢字の伝来 ・万葉集とは ・万葉仮名を読む	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返り小レポートを提出する。小レポートについてコメントを付けて返す。	60分
第4回	日本語表記の歴史（2） ・真名と仮名 ・平仮名と片仮名 ・紀貫之 ・清少納言	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返り小レポートを提出する。小レポートについてコメントを付けて返す。	60分
第5回	歴史的仮名遣いと現代仮名遣い ・歴史的仮名遣いの表記と発音 ・いろは歌 ・現代仮名遣いの経緯と例外的措置	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返る。	60分
第6回	方言と共通語、言文一致運動 ・方言が生まれた理由 ・共通語が生まれた理由 ・言文一致運動	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返り小レポートを提出する。小レポートについてコメントを付けて返す。	60分
第7回	敬語 ・敬語の定義と意義 ・新しい分類 ・敬語の仕組み	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返り小レポートを提出する。小レポートについてコメントを付けて返す。	60分
第8回	短歌に親しむ ・短歌の基礎基本 ・詠まれた状況を心情を推測し短歌を味わう ・個性ある短歌のおもしろさ	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返り小レポートを提出する。小レポートについてコメントを付けて返す。	60分

第9回	詩を音読で楽しむ ・詩についての基礎基本 ・音読の技法 ・詩を味わう	
	【予習】・学習指導案とは何か、これまでに参観した授業の学習指導案の様式等を見ておく。	30分
	【復習】・学習指導案の項目、書き方などを改めて確認する。	60分
第10回	物語文では「何を」「どのように」学ぶのか ・物語文の特徴 ・物語の「起」で学ぶこと ・基本的な学習過程 ・学習指導案の書き方	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返り小レポートを提出する。小レポートについてコメントを付けて返す。	60分
第11回	説明文では「何を」「どのように」学ぶのか ・説明文と物語文の違い ・「はじめ」と「おわり」の述べ方 ・「中」での事柄の並べ方	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返り小レポートを提出する。小レポートについてコメントを付けて返す。	60分
第12回	書写の指導（硬筆） ・姿勢、鉛筆の持ち方 ・実技 ・相互評価	
	【予習】○テキスト等で関係する箇所を読んだり、インターネットで用語を調べたりする。	30分
	【復習】○ワークシートで学んだことを振り返り小レポートを提出する。小レポートについてコメントを付けて返す。	60分
第13回	毛筆による書写の指導 ・基礎基本 ・用具と用材 ・姿勢・執筆 ・指導過程 ・後始末 毛筆の指導 ワークシート	
	【予習】鉛筆（2B以上）を忘れないこと。 ・用具の確認をする。	30分
	【復習】○学んだことを振り返る。	60分
第14回	小筆による書写実技 ・入筆、送筆、終筆の基礎 ・楷書の基本点画 ・写経に取り組む	
	【予習】小筆、半紙3枚、墨、下敷きを準備すること。	30分
	【復習】○学んだことを振り返る。	60分
第15回	大筆による書写実技・臨書 ・入筆、送筆、終筆 ・各学年の課題に取り組む	
	【予習】大筆、半紙10枚、墨液、下敷き、文鎮、新聞紙大1枚を準備すること。	30分
	【復習】○学んだことを振り返る。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>・平常点（50％）、試験（50％）で総合判断する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	田近洵一『小学校国語科授業研究』（教育出版）	使用資料 <参考図書>	必要に応じて紹介する。
授業外学修等	特になし		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（ iwasaki@tuins.ac.jp ）。		
オフィス・アワー			

授業科目名	社会	科目コード	K1202L35
英文名	Social Studies		

科目区分	子ども育成の内容・方法		
------	-------------	--	--

職名	教授	担当教員名	大藪 敏宏
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	5限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>社会科は、日本国憲法の民主主義の理念とともに、戦後の新教育の中核教科として生まれました。手作りによる開かれた個性ある社会科の授業をめざして、理念を実現できるような授業事例や知識を学んでいきます。実務経験のある教員が授業事例から指導案の書き方を指導しながら、なるべくグループ活動や模擬授業を取り入れて実践的に学ぶことによって、少しでも自信をもって教育実習に臨めるようにしたいと思います。 社会科の授業現場の経験者が指導します。</p>		
-------	---	--	--

キーワード	学習指導要領	指導案	郷土教育		
-------	--------	-----	------	--	--

到達目標	社会科教育の目標を学んで、授業実践例とともに指導案の書き方を学びながら、手作りの授業の計画づくりに参加する。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	講義概要と受講上の注意	
	【予習】小学校学習指導要領を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領や授業に出てきた用語等を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第2回	学習指導要領の学習	
	【予習】小学校学習指導要領社会を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領社会や授業に出てきた用語等を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第3回	小学校学習指導要領「社会」3年生の学習	
	【予習】小学校学習指導要領解説社会編3年を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領解説社会編3年や授業に出てきた用語等を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第4回	小学校学習指導要領「社会」4学年の学習	
	【予習】小学校学習指導要領解説社会編4年を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領解説社会編4年や授業に出てきた用語を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第5回	小学校学習指導要領「社会」5年生の学習	
	【予習】小学校学習指導要領解説社会編5年を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領解説社会編5年や授業に出てきた用語を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第6回	小学校学習指導要領「社会」6年生の学習	
	【予習】小学校学習指導要領解説社会編6を調べる。	30分
	【復習】小学校学習指導要領解説社会編6年や授業に出てきた用語を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第7回	指導案の書き方(1)まち探検	
	【予習】資料によって小学校社会3年の指導案を調べる。	30分
	【復習】資料の小学校社会3年の指導案や授業に出てきた用語等を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第8回	指導案の書き方(2)文化財学習	
	【予習】資料によって小学校社会4年の指導案を調べる。	30分
	【復習】資料の小学校社会4年の指導案や授業に出てきた用語等を、辞事典等で調べて復習する。	30分
第9回	指導案の書き方(3)郷土教育	
	【予習】資料によって小学校社会5/6年の指導案を調べる。	30分
	【復習】資料の小学校社会5/6年の指導案や授業に出てきた用語等を、辞事典等で調べて復習する。	30分

第10回	中学年の地域学習のポイントと子どもの発達心理	
	【予習】小学校学習指導要領解説社会編を調べる。	30分
	【復習】小学校社会3年の指導案と授業を構想する。	30分
第11回	地域調査とインタビュー等による調べ学習の指導のあり方 模擬授業または参加型授業	
	【予習】小学校学習指導要領解説社会編4年を調べる。	30分
	【復習】小学校社会4年の指導案と授業を構想する。	30分
第12回	社会科における地域学習と郷土学習 模擬授業または参加型授業	
	【予習】小学校学習指導要領解説社会編5年を調べる。	30分
	【復習】小学校社会5年の指導案と授業を構想する。	30分
第13回	社会科における地域に根ざした文化財学習 模擬授業または参加型授業	
	【予習】小学校学習指導要領解説社会編6年を調べる。	30分
	【復習】小学校社会6年の指導案と授業を構想する。	30分
第14回	国土の学習・都道府県の学習と子どもの興味関心 模擬授業または参加型授業	
	【予習】教材研究をし、模擬授業の準備をする。	30分
	【復習】模擬授業等から学んだこと等をまとめ、授業の改善案を構想する。	240分
第15回	歴史と人物史の学習指導 模擬授業または参加型授業	
	【予習】人物学習の人物について調べる。	30分
	【復習】人物学習の授業構想を練る。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験又はレポート（70%）、受講状況・指導案・模擬授業などの平常点（30%）で総合的に判断 人間性：40%、社会性：30%、専門性：30% 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	文部科学省編『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて指示する。
授業外学修等	テキストの予習・復習をするとともに、授業の計画とともに指導案を考え、模擬授業等の準備をする。		
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に随時、研究室等で受けつけます。		
オフィス・アワー	木曜4限(大藪) 研究室		

授業科目名	算数	科目コード	K1202L36
英文名	Arithmetic		

科目区分	子ども育成の内容・方法		
------	-------------	--	--

職名	教授	担当教員名	辻井 満雄
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	小学校、中学校で学ぶ基本的な算数・数学を取り扱いながら、多くの問題を解いていく。			
-------	--	--	--	--

キーワード	算数の魅力	算数の楽しさ	思考大会	和算	面白問題
-------	-------	--------	------	----	------

到達目標	日常生活に結び付いた基本的な数の感覚を身に付ける。				
	幅広く数学の世界を知り、教育効果を上げる授業を展開できる能力を養う。				
	多くの問題を解く中で、算数・数学のよさを知り、算数的思考を獲得する。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
------	-------	-----	-------	-------	-------------------

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
------------	-----	-------	-------	-------

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
-------	-------	----------	--------	-------------	--------------

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、数と計算(1) グループによる話し合いを取り入れ、協力して課題を解決する。 (1~15回は、実務経験のある教員による授業)	
	【予習】小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編 p.42~49	30分
	【復習】数と計算の誤答の対応を考え、小レポートのまとめる。	60分
第2回	円周率 円周率の歴史 体験的・作業的活動において、グループで協議しながら協力して行う。	
	【予習】小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編 3年p.161~162、5年p.252、6年p.296~300	30分
	【復習】課題について作業的・体験的活動の作図をする。	60分
第3回	円周率 円周率を求めよう 課題についてグループで討議する。	
	【予習】小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編 p.161~162(3年の内容)、p.252(5年生の内容)、p.296~300(6年の内容)	30分
	【復習】課題「円の問題」を考え、仕上げる。	60分
第4回	思考大会・とやま科学オリンピックに挑戦 前半は独自で解き、後半はグループになって解き方を話し合う。	
	【予習】小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編 p.1~20 富山県の特徴ある取組について調べる。	30分
	【復習】課題「思考大会問題の問題」を考え、仕上げる。	120分
第5回	数表でゲームをしよう! クリッカーを使用し、数学の必要性について、グループ討議する。体験的な活動を行う。	
	【予習】小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編 p.71~75	30分
	【復習】課題「円の問題」に取り組み、仕上げる。	60分
第6回	算額に挑戦 グループになり、算額に挑戦する。	
	【予習】江戸時代の数学について調べる。	30分
	【復習】富山県内に現存する「算額の問題」に取り組み、友達と協力して解いてくる。	60分
第7回	和算に挑戦(1) ペアになって、江戸時代の和算を解く。	
	【予習】江戸時代の数学について調べる。	30分
	【復習】課題「和算」(橋の問題、俵杉算、油分け算)を解き、仕上げる。	60分
第8回	和算に挑戦(2) グループになり問題に扱い方を話し合う。	
	【予習】小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編の付録7 p.388~400	30分
	【復習】課題「和算と小町算」に取り組み、仕上げる。	60分
第9回	図形の面積を半分にしよう! 折り紙を使って、体験的に活動する。	
	【予習】小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 算数編 p.50~56、p.88~90、p.118~121、p.158~162、p.201~213、p.248~261、p.294~300	30分
	【復習】図形の問題を10題考え、解く。	90分

第10回	図形の面白問題に挑戦 グループになり、協議しながら課題を解く。	
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 p.331	30分
	【復習】出来なかった課題について、友達と協力してやり切る。	60分
第11回	図形を切り抜く グループで協力し、折り紙で図形を折る。	
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 p.334～338	30分
	【復習】「やり残した課題」に取り組む。	60分
第12回	折り紙と三平方の定理 グループで体験的な活動を行い、協力して、課題を追求する。	
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編の付録4 p.372～380	30分
	【復習】「算数・数学の魅力」をまとめ、レポートにする。	120分
第13回	色々な見方・考え方 グループで課題を誂求する。	
	【予習】小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 算数編 p.329～334	30分
	【復習】「算数・数学の魅力」のプレゼンテーションを作成する。	120分
第14回	算数・数学の魅力を語ろう！（8分間の模擬授業） グループ内で、プレゼンテーションを活用して8分間の模擬授業を行う。	
	【予習】算数・数学の魅力をまとめ、プレゼンテーションできるようにする。	90分
	【復習】「算数・数学の魅力」について、他の意見を参考に再度まとめる。	30分
第15回	メビウスの輪、立体図形 グループで体験的な活動を行う。「算数・数学の魅力」について代表者のプレゼンテーションを聞く。	
	【予習】世の中の不思議な算数・数学を調べる。	30分
	【復習】まとめとやり残した課題に取り組む。	90分
第16回	期末考査	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	15回の取組状況（40％）、課題等の取組状況（20％）、学期末試験及びレポート（40％）により総合的に評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	テキストは使わず、プリント資料配布	使用資料 <参考図書>	小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 算数編、教科書 藤井斉亮等編『新しい算
授業外学修等	復習の徹底と授業中の小レポートを仕上げる。		
授業外質問方法	ゼミ室を訪問するか、メール（tsujii@tuins.ac.jp）をする。		
オフィス・アワー	月曜3限（13：10～14：40）		

授業科目名	理科(A)	科目コード	K1202L37
英文名	Science		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	教授	担当教員名	松山 友之
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>小学校理科で扱う各分野の観察・実験の内容について概説する。次に、小学校理科で最小限必要な観察・実験のいくつかを実施する。受講生はこの観察・実験を教育実習における予備実験と捉えて行い、指導者としての視点で指導上留意すべき事柄を出来るだけ多く見出して考察を加える。 実務経験のある教員による授業。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	小学校理科	実験・観察	指導者の視点	予備実験
-------	-------	-------	--------	------

到達目標	自然科学の基本的事項を自分の言葉で説明することができる。(50%)
	児童の考えや学習の展開を考えながら観察・実験に取り組み、進んで理科を楽しむことができる。(50%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、観察・実験の説明 風やゴムで動くおもちゃ作り	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点からポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第2回	観察・実験（生物分野 植物、光合成）、虫めがね・顕微鏡観察	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第3回	観察・実験（生物分野 植物の発芽と成長、昆虫、動物の誕生、人体）、顕微鏡観察	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第4回	観察・実験（化学分野 燃焼）、実験の進め方・安全管理	
	【予習】	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第5回	観察・実験（化学分野 物の溶け方）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点から学んだことをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第6回	観察・実験（化学分野 水溶液）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第7回	観察・実験（化学分野 水溶液の性質 酸性・中性・アルカリ性）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第8回	観察・実験（空気・水・金属の温度と体積）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点から学んだことをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第9回	観察・実験（空気・水・金属の温度と体積）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点からポイントをまとめる。	60分

第10回	観察・実験（空気・水・金属の温度と体積）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第11回	観察・実験（地学分野 天体、大地の変化）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第12回	観察・実験（振り子、てこ）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第13回	観察・実験（物理分野 光、磁石）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点からポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第14回	観察・実験（物理分野 電流回路、電熱線、発電・蓄電）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第15回	観察・実験（物理分野 電磁石、モーターづくり）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点からポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	観察・実験のレポート(80%)、15回の取組の状況及び小テストと小レポート等(20%)により評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	『小学校学習指導要領解説 理科編』(平成29年6月文部科学省)	使用資料 <参考図書>	必要に応じて紹介する。
授業外学修等	実験日までに、プリントをよく見ておく。レポートは期限までに提出する。		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用するか、メールで質問する(matsuyama@tuins.ac.jp)。		
オフィス・アワー	金曜 1限		

授業科目名	理科(B)	科目コード	K1202L37
英文名	Science		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	教授	担当教員名	松山 友之
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>小学校理科で扱う各分野の観察・実験の内容について概説する。次に、小学校理科で最小限必要な観察・実験のいくつかを実施する。受講生はこの観察・実験を教育実習における予備実験と捉えて行い、指導者としての視点で指導上留意すべき事柄を出来るだけ多く見出して考察を加える。 実務経験のある教員による授業。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	小学校理科	実験・観察	指導者の視点	予備実験
-------	-------	-------	--------	------

到達目標	自然科学の基本的事項を自分の言葉で説明することができる。(50%)
	児童の考えや学習の展開を考えながら観察・実験に取り組み、進んで理科を楽しむことができる。(50%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、観察・実験の説明 風やゴムで動くおもちゃ作り	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点からポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第2回	観察・実験（生物分野 植物、光合成）、虫めがね・顕微鏡観察	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第3回	観察・実験（生物分野 植物の発芽と成長、昆虫、動物の誕生、人体）、顕微鏡観察	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第4回	観察・実験（化学分野 燃焼）、実験の進め方・安全管理	
	【予習】	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第5回	観察・実験（化学分野 物の溶け方）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点から学んだことをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第6回	観察・実験（化学分野 水溶液）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第7回	観察・実験（化学分野 水溶液の性質 酸性・中性・アルカリ性）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第8回	観察・実験（空気・水・金属の温度と体積）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点から学んだことをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第9回	観察・実験（空気・水・金属の温度と体積）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点からポイントをまとめる。	60分

第10回	観察・実験（空気・水・金属の温度と体積）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第11回	観察・実験（地学分野 天体、大地の変化）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第12回	観察・実験（振り子、てこ）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第13回	観察・実験（物理分野 光、磁石）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点からポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第14回	観察・実験（物理分野 電流回路、電熱線、発電・蓄電）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】課題レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点と実際の観察・実験のポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	120分
第15回	観察・実験（物理分野 電磁石、モーターづくり）	
	【予習】学習指導要領解説理科編の関連する内容を読み、学習内容を把握する。	60分
	【復習】小レポートに子どもを主体的に観察・実験に取り組ませる視点からポイントをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	観察・実験のレポート(80%)、15回の取組の状況及び小テストと小レポート等(20%)により評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	『小学校学習指導要領解説 理科編』(平成29年6月文部科学省)	使用資料 <参考図書>	必要に応じて紹介する。
授業外学修等	実験日までに、プリントをよく見ておく。レポートは期限までに提出する。		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用するか、メールで質問する(matsuyama@tuins.ac.jp)。		
オフィス・アワー	金曜 1限		

授業科目名	家庭	科目コード	K1202L42
英文名	Home Economics		

科目区分	子ども育成の内容・方法		
------	-------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	吉田 友子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	小学校家庭科の学習内容と関連付けた衣食住などに関する実践的・体験的な活動や問題解決的な学習を通して、家庭生活に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、子供を取り巻く生活の課題を見だし、解決を図る力を養う。		
-------	---	--	--

キーワード	家庭生活を大切にす	問題解決能力や生活	生活における自立の		
-------	-----------	-----------	-----------	--	--

到達目標	小学校家庭科の学習内容に關した家庭生活に關する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するとともに、生活における自立の基礎を培う。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）		
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践		

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業についてのガイダンス（「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」等の学習内容と学び方など）	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	「家族・家庭生活」 課題をもって、家族や地域の人々と協力し、よりよい家庭生活に向けて考え、工夫する活動に取り組む。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	「家族・家庭生活」 家族や家庭の状況がわかる統計調査から問題を見だし、よりよい生活に向けて実践する計画を立てる。	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	「衣食住の生活」（衣生活を中心に） 課題をもって、健康・快適・安全で豊かな衣生活に向けて季節や状況に応じた日常着の着方や手入れの仕方について考え、工夫する。	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	「衣食住の生活」（衣生活を中心に） 生活を豊かにする物の製作 生活を豊かにするための布を用いた製作について考え、目的に応じた材料や手順を考えて製作計画を立てる。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	「衣食住の生活」（衣生活を中心に） 生活を豊かにする物の製作 生活を豊かにするための布を用いた製作について、目的に応じた材料や手順を考えて製作計画を立て、デザインの決定や裁断などを工夫する。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	「衣食住の生活」（衣生活を中心に） 生活を豊かにする物の製作 生活を豊かにするための布を用いた物の製作に工夫しながら取り組み、目的に応じた縫い方や用具の安全な取扱いなどについて考え、縫製、仕上げをする。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	「衣食住の生活」（住生活を中心に） 課題をもって、健康・快適・安全で豊かな住生活に向けて、季節の変化に合わせた住まい方について考え、工夫する。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	「衣食住の生活」(住生活を中心に) 課題をもって、健康・快適・安全で豊かな住生活に向けて、整理・整頓の仕方について考え、工夫する。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	「消費生活・環境」 課題をもって身近な消費生活と環境を考え、身近な物の選び方、買い方を基に購入するために必要な情報の収集・整理について工夫する。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	「消費生活・環境」 課題をもって身近な消費生活と環境を考え、環境に配慮した生活について物の使い方などを工夫する。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	「衣食住の生活」(食生活を中心に) 課題をもって、健康・快適・安全で豊かな食生活に向けて、食事の役割や食事の仕方などについて考え、工夫する。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	「衣食住の生活」(食生活を中心に) 課題をもって、健康・快適・安全で豊かな食生活に向けて、栄養を考えた食事などについて考え、工夫する。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	「衣食住の生活」(食生活を中心に) 調理の基礎 伝統的な日常食である米飯、みそ汁などの調理を通して、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付けなどについての知識及び技能を身に付ける。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	「衣食住の生活」(食生活を中心に) 調理の基礎 卵料理、サラダなどの調理を通して、材料に適したゆで方、いため方などについての知識及び技能を身に付ける。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	学期末試験（50％）、レポート・演習・作品（50％）		
使用資料 <テキスト>	・ <平成29年度告示> 小学校学習指導要領 解説 家庭編（文部科学省）	使用資料 <参考図書>	必要に応じて紹介する。
授業外学修等	課題レポート・製作実習作品は必ず提出すること。		
授業外質問方法	事務を通す。		
オフィス・アワー			

授業科目名	体育(A)	科目コード	K1202L43
英文名	Physical Education		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	講師	担当教員名	金子 泰子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>幼児教育・小学校教育現場において指導されている各種運動を実践することにより、各運動の特性、子どもへの指導法を理解する。 各種運動について、自身の技能の向上を図るなかで、運動の発達の様相や、効果的な指導法について実践の中で理解する。 各種運動についての指導法の工夫や補助の方法を考える。 実務経験を有した教員による授業</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	運動指導	子どもの運動発達	運動の実践	運動遊び
-------	------	----------	-------	------

到達目標	子どもの体育・運動指導の目標・内容・方法・評価について理解する。
	子どもの運動への興味関心・発達段階に適した指導法を身につける。
	子どもへの運動指導について、運動実践、運動指導演習の中で工夫・発展することができる能力を養う。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【学外施設特別授業】陸上運動（富山県総合運動公園陸上競技場） 陸上競技の 技能、安全管理と指導方法、短距離走、ハードル走	
	【予習】	
	【復習】授業での学修内容についてレポートにまとめて提出する。 レポート内容を次回以降の授業時に学生にフィードバックし、特別授業で得た学びを共有する。	60分
第2回	【学外施設特別授業】陸上運動（富山県総合運動公園陸上競技場） 走高跳、走幅跳、リレー	
	【予習】	
	【復習】授業での学修内容についてレポートにまとめて提出する。 レポート内容を次回以降の授業時に学生にフィードバックし、特別授業で得た学びを共有する。	60分
第3回	【学外施設特別授業】水泳（富山市民プール） 子どもの水遊び、水泳指導：水遊び	
	【予習】	
	【復習】授業での学修内容についてレポートにまとめて提出する。 レポート内容を次回以降の授業時に学生にフィードバックし、特別授業で得た学びを共有する。	60分
第4回	体操：（特別講師招聘） マット運動、跳び箱運動 の技能、安全管理と指導方法	
	【予習】	
	【復習】授業での学修内容についてレポートにまとめて提出する。 レポート内容を次回以降の授業時に学生にフィードバックし、特別授業で得た学びを共有する。	60分
第5回	器械運動 1 鉄棒運動：逆上がりの指導法と補助方法について	
	【予習】鉄棒運動の補助器具の使用方法、利用の意義、効果について理解する。	20分
	【復習】鉄棒運動における子どもへの指導法や留意点についてGoogleFormを通して小レポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	15分
第6回	器械運動 2 マット運動： 投転系（前転・後転系）、ほん転系（首はね起き等）、倒立回転系、バランス系 跳び箱運動：開脚とび、かかえ込み跳び、台上前転	
	【予習】	
	【復習】マット運動における子どもへの指導法や留意点についてGoogleFormを通して小レポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	15分
第7回	【特別講師招聘授業】表現運動 表現リズム遊び、各種ダンス、鬼ごっこ	
	【予習】	
	【復習】表現運動における子どもへの指導法や留意点についてGoogleFormを通して小レポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	15分

第8回	【特別講師招聘授業】ボール運動 ベースボール型スポーツ ベースボール型スポーツ(ティーボール)のルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ベースボール型スポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ベースボール型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第9回	【特別講師招聘授業】ボール運動 ベースボール型スポーツ ベースボール型スポーツ(ティーボール)のルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ベースボール型スポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ベースボール型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第10回	【特別講師招聘講座】現代の子どもを元気にする！ 子どもの運動発達と望ましい運動支援について	
	【予習】中村和彦先生の著作に触れ、その考えについて理解する。	60分
	【復習】講座内容を振り返ってレポートを作成する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	60分
第11回	ボール運動 ゴール型スポーツ 各種ゴール型スポーツのルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ゴール型スポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ゴール型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第12回	ボール運動 ゴール型スポーツ 各種ゴール型スポーツのルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ゴール型スポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ゴール型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第13回	ボール運動1 ネット型スポーツ 各種ネット型スポーツのルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ネット型スポーツのルール理解、指導計画の立案、使用器具の準備	60分
	【復習】ネット型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第14回	ボール運動2 ネット型スポーツ 各種ネット型スポーツのルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ネット型スポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ネット型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分

第15回	ボール運動5 ニュースポーツの導入について キンボール、タグラグビーなど近年、体育指導で効果が期待されるニュースポーツのルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ニュースポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ニュースポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業時間中に評価を行い、期末試験は実施しない。 受講態度(30%)、技能(20%)、思考・判断(20%)、レポート(30%)を総合的に判断して評価する。 到達目標に関する評価割合： 60%、 40%
------	---

使用資料 <テキスト>	適宜、資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	随時、授業時に紹介する。
----------------	-------------	----------------	--------------

授業外学修等	水泳、陸上運動、鉄棒、体操など、体力が必要な種目の実践が連続するので、日常的に運動を実践し、運動習慣を身に付けること。
--------	---

授業外質問方法	メールにて受け付ける。kaneko@tuins.ac.jp
---------	-------------------------------

オフィス・アワー	水曜日2限(10:50~12:20) 研究室(E313)
----------	------------------------------

授業科目名	体育(B)	科目コード	K1202L43
英文名	Physical Education		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	講師	担当教員名	金子 泰子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>幼児教育・小学校教育現場において指導されている各種運動を実践することにより、各運動の特性、子どもへの指導法を理解する。 各種運動について、自身の技能の向上を図るなかで、運動の発達の様相や、効果的な指導法について実践の中で理解する。 各種運動についての指導法の工夫や補助の方法を考える。 実務経験を有した教員による授業</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	運動指導	子どもの運動発達	運動の実践	運動遊び
-------	------	----------	-------	------

到達目標	子どもの体育・運動指導の目標・内容・方法・評価について理解する。
	子どもの運動への興味関心・発達段階に適した指導法を身につける。
	子どもへの運動指導について、運動実践、運動指導演習の中で工夫・発展することができる能力を養う。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【学外施設特別授業】陸上運動（富山県総合運動公園陸上競技場） 陸上競技の 技能、安全管理と指導方法、短距離走、ハードル走	
	【予習】	
	【復習】授業での学修内容についてレポートにまとめて提出する。 レポート内容を次回以降の授業時に学生にフィードバックし、特別授業で得た学びを共有する。	60分
第2回	【学外施設特別授業】陸上運動（富山県総合運動公園陸上競技場） 走高跳、走幅跳、リレー	
	【予習】	
	【復習】授業での学修内容についてレポートにまとめて提出する。 レポート内容を次回以降の授業時に学生にフィードバックし、特別授業で得た学びを共有する。	60分
第3回	【学外施設特別授業】水泳（富山市民プール） 子どもの水遊び、水泳指導：水遊び	
	【予習】	
	【復習】授業での学修内容についてレポートにまとめて提出する。 レポート内容を次回以降の授業時に学生にフィードバックし、特別授業で得た学びを共有する。	60分
第4回	体操：（特別講師招聘） マット運動、跳び箱運動 の技能、安全管理と指導方法	
	【予習】	
	【復習】授業での学修内容についてレポートにまとめて提出する。 レポート内容を次回以降の授業時に学生にフィードバックし、特別授業で得た学びを共有する。	60分
第5回	器械運動 1 鉄棒運動：逆上がりの指導法と補助方法について	
	【予習】鉄棒運動の補助器具の使用方法、利用の意義、効果について理解する。	20分
	【復習】鉄棒運動における子どもへの指導法や留意点についてGoogleFormを通して小レポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	15分
第6回	器械運動 2 マット運動： 投転系（前転・後転系）、ほん転系（首はね起き等）、倒立回転系、バランス系 跳び箱運動：開脚とび、かかえ込み跳び、台上前転	
	【予習】	
	【復習】マット運動における子どもへの指導法や留意点についてGoogleFormを通して小レポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	15分
第7回	【特別講師招聘授業】表現運動 表現リズム遊び、各種ダンス、鬼ごっこ	
	【予習】	
	【復習】表現運動における子どもへの指導法や留意点についてGoogleFormを通して小レポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	15分

第8回	【特別講師招聘授業】ボール運動 ベースボール型スポーツ ベースボール型スポーツ(ティーボール)のルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ベースボール型スポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ベースボール型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第9回	【特別講師招聘授業】ボール運動 ベースボール型スポーツ ベースボール型スポーツ(ティーボール)のルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ベースボール型スポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ベースボール型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第10回	【特別講師招聘講座】現代の子どもを元気にする！ 子どもの運動発達と望ましい運動支援について	
	【予習】中村和彦先生の著作に触れ、その考えについて理解する。	60分
	【復習】講座内容を振り返ってレポートを作成する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	60分
第11回	ボール運動 ゴール型スポーツ 各種ゴール型スポーツのルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ゴール型スポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ゴール型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第12回	ボール運動 ゴール型スポーツ 各種ゴール型スポーツのルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ゴール型スポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ゴール型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第13回	ボール運動1 ネット型スポーツ 各種ネット型スポーツのルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ネット型スポーツのルール理解、指導計画の立案、使用器具の準備	60分
	【復習】ネット型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第14回	ボール運動2 ネット型スポーツ 各種ネット型スポーツのルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ネット型スポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ネット型スポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分

第15回	ボール運動5 ニュースポーツの導入について キンボール、タグラグビーなど近年、体育指導で効果が期待されるニュースポーツのルール理解、子どもに教える際のルール・使用器具等の工夫、指導実践	
	【予習】ニュースポーツのルール理解、活動内容の検討、使用器具の準備	60分
	【復習】ニュースポーツの活動に対する評価についてレポートを提出する。 担当教員はレポートの内容や質問事項を集約して、次回の授業時に回答する。	20分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業時間中に評価を行い、期末試験は実施しない。 受講態度(30%)、技能(20%)、思考・判断(20%)、レポート(30%)を総合的に判断して評価する。 到達目標に関する評価割合： 60%、 40%
------	---

使用資料 <テキスト>	適宜、資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	随時、授業時に紹介する。
----------------	-------------	----------------	--------------

授業外学修等	水泳、陸上運動、鉄棒、体操など、体力が必要な種目の実践が連続するので、日常的に運動を実践し、運動習慣を身に付けること。
--------	---

授業外質問方法	メールにて受け付ける。kaneko@tuins.ac.jp
---------	-------------------------------

オフィス・アワー	水曜日2限(10:50~12:20) 研究室(E313)
----------	------------------------------

授業科目名	英語	科目コード	K1202L44
英文名	English		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	教授	担当教員名	福島 美枝子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	5限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>小学校における外国語活動（中学年）と外国語（高学年）の授業実践を行なうための英語運用能力とそれを支える言語学的知識の習得を目指す。前半で英語の言語学的特質と子どもの外国語習得に関する基本的な知識を学び、後半で小学校の教室での授業実践と言語運用に備えて4技能向上のための練習活動を行なう。個々の参加学生が持つ英語の知識と運用能力が互いに支え合って伸びていくような発展の過程を目指す。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	外国語活動	英語教育	英語運用能力	言語学的知識	子どもの外国語習得
-------	-------	------	--------	--------	-----------

到達目標	小学校の外国語活動と外国語の授業実践に必要な英語運用能力を身につける。				
	小学校の外国語活動と外国語の授業実践の基礎となる言語学的知識を身につける。				
	子どもの外国語習得に関する知見に学ぶ。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
				/	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	外国語の良い学び方とは？ - Good language learnersのアクティブな学びの方法（ストラテジー）に学ぼう	
	【予習】	
	【復習】 Good language learners の特質と自身の学び方を比較して改善策を考える	40分
第2回	英語の音声：音素、母音・子音、アクセント、リズム、イントネーション、音変化	
	【予習】教科書 第3章(読解と疑問点の明確化)	40分
	【復習】・教科書及び授業で扱われた語句や文を滑らかに言えるまで発音する ・学習内容のポイントをワークシートで復習 ・国際音標文字を見て発音ができるようにする	40分
第3回	英語の文字と書記法：綴りと発音の関係、諸記号、段落、書体	
	【予習】教科書 第4章・第5章・第6章（読解と疑問点の明確化）	60分
	【復習】学習内容のポイントをワークシートで復習 + 感想文	30分
第4回	英語の語彙：英語史素描、語形成と接尾辞、日本語の中の英語起源のカタカナ語	
	【予習】教科書 第8章（読解と疑問点の明確化）	40分
	【復習】学習内容のポイントをワークシートで復習 + 感想文	30分
第5回	英語の文法：名詞句（複数形・冠詞）、動詞句（語法・動名詞と不定詞の意味）、疑問文など	
	【予習】教科書 第9章（読解と疑問点の明確化）	40分
	【復習】学習内容のポイントをワークシートで復習 + 感想文	30分
第6回	語用論的考察：発話行為と動的相互作用、コミュニケーションの機能を担う言語形式	
	【予習】教科書 第10章（読解と疑問点の明確化）	40分
	【復習】学習内容のポイントをワークシートで復習 + 感想文	30分
第7回	国際語およびリンガフランカとしての英語、英語使用のニーズ、世界の小学校外国語教育	
	【予習】教科書 第11章（読解と疑問点の明確化）	40分
	【復習】学習内容に基づいて小学校の英語教育についての意見を書く	30分
第8回	言語習得論（母語習得・第二言語習得・外国語学習）、子どもの学び方の特徴	
	【予習】教科書 第2章（読解と疑問点の明確化）	40分
	【復習】学習内容のポイントをワークシートで復習 + 感想文	30分
第9回	子ども向けの歌や詩：英語と内容を味わい、歌ってみよう、朗読してみよう	
	【予習】子ども向けの歌をYouTubeで探し、グループで共有できるようにする	30分
	【復習】自身が確実に歌える歌を増やす	30分

	子ども向けの絵本や物語：英語と内容を味わい、読み聞かせや暗唱をしてみよう	
第10回	【予習】教科書 第13章（読解と疑問点の明確化）	30分
	【復習】授業に出てきた絵本のひとつを選んで、はっきりと、子どもに分かりやすく、読み聞かせができるようにする	30分
	教師の基本的な指示用英語と小学生への問いかけ方を学ぼう（発音クリニックを含む）	
第11回	【予習】MEXTChannelで教師の英語になじむ	30分
	【復習】授業に出てきた様々な教師用表現を何度も言って身に付ける	30分
	教師として子ども達に日常的な語り聞かせ（スモールトーク）ができるようにしよう	
第12回	【予習】最近の個人的な（あるいは社会的な）出来事話すために英語を用意する	30分
	【復習】語り聞かせの技能を高めるためにモデル文を暗唱する	30分
	生活の中にあふれている英語の書き言葉に親しもう（Eメール、広告、ニュース記事など）	
第13回	【予習】生活の中で目にする英語を写真またはコピーで記録し授業に持参する	30分
	【復習】TOEICのリーディングの問題例を解いてみる	30分
	平易な英語で文章を書く練習をしよう（友達への近況報告、楽しかった旅行の思い出など）	
第14回	【予習】楽しかった旅行やゼミ活動やサークル活動について書くために英語を用意する	30分
	【復習】グループメンバー間で英語によるメールのやりとりをする	30分
	異文化理解とは何か、子どもの異文化との出会いを促す活動の諸形態と教科書での扱い	
第15回	【予習】教科書 第15章（読解と疑問点の明確化）	40分
	【復習】学習内容に基づいて子どもへの国際教育（異文化理解など）について意見を書く	30分
	期末試験	
第16回	【予習】総復習	
	【復習】	

評価方法	(1) 平常点 (50%) ~ 授業への積極的参加、課題、宿題 (2) 期末試験 (50%)		
使用資料 <テキスト>	テキスト： 酒井英樹・滝沢雄一・亘理陽一（編著）	使用資料 <参考図書>	適宜、プリント教材を配付するとともに、参考書を紹介する。
授業外学修等	毎週、復習と予習を欠かさず、教室での教育実践者の立場で必要な知識や技能の習得に努めてください。		
授業外質問方法	研究室（E館 311）訪問またはメールで連絡してください。mifuku@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	火曜日 2限		

授業科目名	保育内容（健康）	科目コード	K1202P05
英文名	Childcare (Health)		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	講師 非常勤講師	担当教員名	金子 泰子 大森 宏一
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>領域（健康）のねらいと内容について理解するとともに、子どもの健康な心身の発達と自ら健康で安全な生活を送る力をつけていくための保育者の役割の基礎を学ぶ。運動遊びの方法と進め方について実践する。健康の定義について考察を深める。</p> <p>。 実務経験を有する教員による授業</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	運動支援	運動発達	運動遊び	発育発達
-------	------	------	------	------

到達目標	子どものこころとからだの育ちに関する知識と現状の子どもたちの実態を理解する。
	子どもの運動遊びの意義を理解するとともにその援助方法を学ぶ。
	集団運動遊びの援助方法としてグループでの活動を行いコミュニケーション力・協調性について学ぶ。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	「人」としての資質・能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業のねらい 計画 評価について	
	【予習】シラバスを読み日程評価について確認する	30分
	【復習】授業のねらい、内容、場所など確認し準備すること	30分
第2回	幼児期における運動発達の様相と運動遊びの意義 道具・器具を使った運動遊び（リボンを使ったダンス創作と指導）	
	【予習】	
	【復習】ノートに学修内容と創作したリボンダンスの振り付け・要点をまとめておくこと。	30分
第3回	道具・器具を使った運動遊び（リボンを使ったダンス創作と指導） 創作したダンスの発表と評価	
	【予習】リボンを使ったダンスの創作	60分
	【復習】ノートに創作したリボンダンスについて書き留める。他者の発表から学んだことをまとめる。	20分
第4回	幼児期における投動作の習得の重要性とその指導法 ボール以外の道具のできる投げ運動遊びの実践、ボール投げ遊びの実践と動作評価	
	【予習】	
	【復習】投動作の観察評価についてノートにまとめる。	30分
第5回	手指の発達を促す遊びの重要性とその指導 あやとり遊びの実践と指導	
	【予習】あやとりの遊びを2つ覚えて、指導できる状態にしておく。	30分
	【復習】自分で指導したあやとり遊び、教わったあやとり遊びの方法をノートにまとめる。 あやとり遊びの指導方法や配慮すべき点についてノートにまとめる。	30分
第6回	リズム運動遊びの重要性とその指導 カプスの方法の理解、実践	
	【予習】	
	【復習】幼児期におけるリズム遊びの効果とその指導法についてノートにまとめる。	
第7回	運動遊びの活動のねらいを達成するための活動指導案の作成方法について 1 活動指導案作成の意義と各項目に説明する内容について	
	【予習】	
	【復習】活動指導案の作成・運動遊びの選定	60分
第8回	運動遊びの活動のねらいを達成するための活動指導案の作成方法について 2 活動指導案作成の意義と各項目に説明する内容について	
	【予習】	
	【復習】戸外遊び、リズム遊び、手指の遊び、道具等を使用した遊び、水遊びの中から活動の一つを選び、活動指導案を作成して提出する。	120分

第9回	投運動の発達と年齢に応じた援助方法について	
	【予習】子どもの発達についてスキヤムの発達曲線を見直しておくこと	20分
	【復習】ノートに内容を記述すること	30分
第10回	上肢の運動と子どものあそびについて 身近なものを使ったジャンプする遊びについて	
	【予習】身近なものを使った運動遊び教材を作成するため、ノリ・ハサミ・セロテープ・など用意すること。	20分
	【復習】ノートへ教材の作り方、遊び方を記入すること	30分
第11回	投げる遊び教材を作成し、投げる遊びの楽しさを味わう 縄跳び遊びの導入方法について	
	【予習】身近なものを使った運動遊び教材を作成するため、ノリ・ハサミ・セロテープ・など用意すること。	20分
	【復習】ノートへ教材の作り方、遊び方を記入すること	30分
第12回	上半身をひねる、体重移動する運動遊びを行う 長縄遊びの遊び方について	
	【予習】身近なものを使った運動遊び教材を作成するため、ノリ・ハサミ・セロテープ・など用意すること。	20分
	【復習】ノートへ教材の作り方、遊び方を記入すること	30分
第13回	発達段階に応じた鬼ごっこ遊びの援助法歩と実践	
	【予習】	
	【復習】ノートに遊び方援助方法について記入すること	30分
第14回	発達段階に応じたドッジボール遊びの援助方法と実践	
	【予習】	
	【復習】ノートに遊び方援助方法について記入すること	30分
第15回	技能テストとして：投げる遊び教材の実演をテストとする	
	【予習】教材を何度も作り直し規定の距離を投げられるように練習すること	20分
	【復習】工夫したところ、投げるコツについてノートに記述すること	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	遊びの実践ノート（４０％） グループワーク演習における主体性と参加度（２０％） 小テスト（４０％）		
使用資料 <テキスト>	子どもが育つ運動遊び みらい 倉・大森編	使用資料 <参考図書>	幼稚園教育要領 保育所保育指針
授業外学修等	なし 教室と体育館での演習があるため、準備物、場所は事前に確認するようにしてください。		
授業外質問方法	毎回のミニツッパーパー記述 研究室での対応		
オフィス・アワー	金子（水曜２限）		

授業科目名	保育内容（環境）(A)	科目コード	K1202P07
英文名	Childcare (Environment)		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	「環境を通して行う教育・保育」「遊びを中心とした総合的な教育・保育」を踏まえ、乳幼児が周囲の様々な環境に主体的に関わり、それらを生活に取り入れようとする力を養うための指導法を身に付ける。			
-------	---	--	--	--

キーワード	保育内容	保育の環境	領域「環境」	環境の構成
-------	------	-------	--------	-------

到達目標	乳児保育の3つの視点、領域「環境」の専門的な事項や小学校の教科とのつながりを理解することができる。(20%)
	様々な素材に触れたり、植物に触れたり、見立て遊びや自然に関わる遊びを行ったりして、その指導法を具体的に考えることができる。(50%)
	環境を構成することの大切さを理解し、教育・保育のねらいに沿った環境構成図を作成・発表することができる。(30%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	総論から各論へ 領域「環境」のねらいと内容 (1～15回は、幼稚園・特別支援教育の実務経験のある教員による授業)	
	【予習】テキストP24～、P36～に目を通してくる。 保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のいずれかの、領域「環境」の部分に目を通してくる。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため、乳児保育の3つの視点、1～3歳児及び3歳以上児の領域「環境」に関する一覧表を復習しておく。 次回までに、幼児と一緒に育ててみたい草花・野菜(8月までに開花、収穫できるもの)を調べて考えておく。	90分
第2回	H30年度改訂(改定)の指針・要領の振り返り グループ別:幼児と一緒に育ててみたい草花&野菜(8月までに開花、収穫できるもの)について話し合います。 Formsにグループメンバー、育ててみたい草花・野菜名とその理由を記入する。	
	【予習】テキストP10～23に目を通してくる。自分自身が幼児期に育てた草花や野菜を思い出しておく。また、幼児期に育てやすい植物について調べておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第3回	「保育内容:環境～子どもの「やりたい」に応える環境～」DVD視聴を通して(約50分) DVD視聴の感想や大切なポイントを共有します。	
	【予習】乳幼児が保育現場でどのような環境に関わっているかを考えておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第4回	身近な自然環境や道具についての教材研究とその指導法(水・砂・草花・石・風・太陽光・雪)とリスクマネジメント) 「授業時間外の課題の実施について」参照 「子どもの遊びと安心・安全が両立するコミュニティづくり」参照	
	【予習】テキストP68～、P80～に目を通してくる。 水・砂・草花・石・風・太陽光・雪で遊ぶ時の道具やリスクを考えておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第5回	幼児期にふさわしい自然遊びの指導案作成 6月初旬～7月初旬に、授業時間外で自然遊びをする日時と場所(公園等)、遊び内容、遊びに必要な物等を考える。 野菜を育てるグループで活動を行います。 指導案枠・指導案記入上の留意点 ・指導案記入上の留意点 参照	
	【予習】テキストP68～、P80～に目を通し、自然遊びに必要な教材や内容を考えておく。 『自然と遊ぼう!感じる力を育む保育環境』(明治図書)は立ち読みできます。 保育指導案大百科P.160-178・テキストP.50-66に目を通してくる。 1年次保育内容総論「保育をするときの発達段階ヒント集」参照	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。 指導案をもとに自然遊びをしますが、その発表を第12回授業で行います。発表は動画使用もOKです。自然遊びは、5月27日(木)～6月24日(木)に行ってください。 「自然遊びの指導案」は、5/27(木)までに、全員がこの欄の課題提出欄 に提出する。 指導案をおおまかにグループで考え、自分なりのこだわりや工夫点をアレンジして提出してください。 「自然遊びの報告PP(静止画像入り)」は第12回目の授業までに完成させておく(1グループ6分)。	90分
第6回	ブランターでの野菜の苗植え～野菜を育てる基礎知識と子どもへの指導法～ 天候により、授業回が変わる場合があります。	
	【予習】テキストP68～、P80～に目を通してくる。 汚れてもよい服装、日よけ防止、汗拭きタオル等の準備、適切な髪・爪で参加できるよう準備しておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。 野菜の世話・メンテナンスはグループで役割分担し、随時行う。購入したいものがあれば教員に相談すること。	90分

第7回	子どもが生き物と関わる意義の理解と関わり方についての指導法	
	【予習】アリ、ハチ、ダンゴムシ、カエルやカタツムリなど、乳幼児の生活場面で出合いそうな生き物の様子を画像で記録し、授業前までに、websyllabus予定欄 に提出しておく（次回、画像共有で全員に公開）。画像はなるべく、60-150kb程度にして提出する（複数ある場合はWordに貼り付けて提出）。 テキストP.101～、教育・保育要領 P.264に目を通す。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第8回	見立て遊びから物的環境の特性や乳幼児の表現を考える。 全員が、身近な物で見立て遊びを披露する（1人5-10秒程度） 野菜と草花の観察・メンテナンス	
	【予習】テキストP108～に目を通し、乳幼児にとって身近な物や道具でどのような見立て遊びが可能かを考えておく。 身近な物を1つ以上準備し、それを使って何に見えるかを考え、演じる練習をしておく（例：空き容器、ハンカチ、新聞紙、割りばし、輪ゴムほか多数）。造形のように、切る貼るなどは行わず、そのまま使用する。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第9回	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚にかかわる指導法 野菜のメンテナンス	
	【予習】テキストP132～に目を通し、乳幼児の生活で数量・図形・標識・文字に関わると思う環境や生活場面について考えておく。 野菜のメンテナンスに必要な物があれば準備しておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第10回	保育現場の画像から遊びや生活に関する環境の構成を学ぶ 乳幼児の生活に関係の深い施設や情報環境の理解と活用法	
	【予習】テキストP.24～に目を通す。保育現場の遊びや生活に関する環境サイトや書籍（電子書籍）、保育雑誌をみておく。 テキストP.162～に目を通す。自分の住む地域にある子育て支援センターや遊び場についてHPなどで調べておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第11回	保育のねらいと環境の構成 - 室内の遊びに関する環境構成図作成・発表（グループ毎）	
	【予習】保育現場の室内遊びと環境に関するサイトや書籍（電子書籍）、保育雑誌をみておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第12回	身近な自然環境に直接触れて親しむ遊びの共有（1グループ6分） 全グループがPP画像で紹介し、今後のドキュメンテーション作成に活かす。	
	【予習】自然遊びのPP画像をPCで共有できるよう準備しておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。 テキストP68～、P80～に目を通し、復習しておく。 本日に、「自然と遊ぶ体験PP（画像入り）」を、USBスティックに名前を付けて保存する。授業当日に教員よりコメントを伝える。	90分
第13回	身近な自然環境に直接触れて親しむ遊びの掲示用ドキュメンテーション作成（グループ毎） ドキュメンテーション：日頃の保育の中で、子どもたちが遊びや生活を通じて、「どのように育っているのか」、「何を学んでいるのか」、を保護者に伝えることを意図として作成するもの ドキュメンテーションを利用した京都府舞鶴市の取り組み参照	
	【予習】テキストP206～に目を通し、現代の社会状況を考えておく。 ドキュメンテーション作成に必要な画像やPC、材料を準備する。画像共有して話し合いながら作成する。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。 ドキュメンテーションの発表者を2名決めておく。	90分

第14回	身近な自然環境に直接触れて楽しむ遊びの掲示用ドキュメンテーション完成（グループ毎） 野菜の収穫、メンテナンス	
	【予習】作成したドキュメンテーションについて、「どのように育てているのか」、「何を学んでいるのか」を保護者に伝える工夫や、遊びの環境構成や配慮点について発表できるようにしておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。 Formsに発表の感想を本日中に入力・送信する。全体の感想は教員から無記名で公開する。	90分
第15回	ドキュメンテーションの発表　ドキュメンテーションの発表を聞いた感想を授業中にFormsへ入力する。 聞きたいグループの掲示スペースに集合（5人程度：2回各10分、グループの説明担当者2名を決めておく） 授業の学びの振り返りをし、Formsに8/5（木）までに入力する。	
	【予習】ドキュメンテーション説明担当者を、グループで2名決めておく。	90分
	【復習】15回分の授業内容を振り返り、学びを整理する。 掲示用ドキュメンテーションは、しばらく公開し、再試発表日の8/24（火）にグループで片付ける。	90分
第16回	定期試験は行わない	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標～について、ドキュメンテーション発表への感想30%、受講態度（発言・発表内容など）20%、提出物（生き物の画像10%、最終回の学びの振り返り40%）50%で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：15%、社会性：15%、専門性70%）
------	--

使用資料 <テキスト>	無藤隆監修『事例で学ぶ保育内容領域環境』萌文書林	使用資料 <参考図書>	文部科学省 平成29年告示『小学校学習指導要領』
----------------	--------------------------	----------------	-----------------------------

授業外学修等	・3密・「新しい生活様式」に留意し、公園などの自然環境を利用した遊びを体験してください。 ・自宅のできる人は、植物を育てる経験をしてください。絵日記を付けると記録が残って後に役立ちます。
授業外質問方法	授業後やメール（ishikura@tuins.ac.jp）、オフィスパワーを利用して下さい。
オフィス・パワー	水曜日5限（E-403石倉研究室）

授業科目名	保育内容（環境）(B)	科目コード	K1202P07
英文名	Childcare (Environment)		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	5限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	「環境を通して行う教育・保育」「遊びを中心とした総合的な教育・保育」を踏まえ、乳幼児が周囲の様々な環境に主体的に関わり、それらを生活に取り入れようとする力を養うための指導法を身に付ける。			
-------	---	--	--	--

キーワード	保育内容	保育の環境	領域「環境」	環境の構成
-------	------	-------	--------	-------

到達目標	乳児保育の3つの視点、領域「環境」の専門的な事項や小学校の教科とのつながりを理解することができる。(20%)
	様々な素材に触れたり、植物に触れたり、見立て遊びや自然に関わる遊びを行ったりして、その指導法を具体的に考えることができる。(50%)
	環境を構成することの大切さを理解し、教育・保育のねらいに沿った環境構成図を作成・発表することができる。(30%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	総論から各論へ 領域「環境」のねらいと内容 (1～15回は、幼稚園・特別支援教育の実務経験のある教員による授業)	
	【予習】テキストP24～、P36～に目を通してくる。 保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のいずれかの、領域「環境」の部分に目を通してくる。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため、乳児保育の3つの視点、1～3歳児及び3歳以上児の領域「環境」に関する一覧表を復習しておく。 次回までに、幼児と一緒に育ててみたい草花・野菜(8月までに開花、収穫できるもの)を調べて考えておく。	90分
第2回	H30年度改訂(改定)の指針・要領の振り返り グループ別: 幼児と一緒に育ててみたい草花&野菜(8月までに開花、収穫できるもの)について話し合います。 Formsにグループメンバー、育ててみたい草花・野菜名とその理由を記入する。	
	【予習】テキストP10～23に目を通してくる。自分自身が幼児期に育てた草花や野菜を思い出しておく。また、幼児期に育てやすい植物について調べておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第3回	「保育内容: 環境～子どもの「やりたい」に応える環境～」DVD視聴を通して(約50分) DVD視聴の感想や大切なポイントを共有します。	
	【予習】乳幼児が保育現場でどのような環境に関わっているかを考えておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第4回	身近な自然環境や道具についての教材研究とその指導法(水・砂・草花・石・風・太陽光・雪)とリスクマネジメント) 「授業時間外の課題の実施について」参照 「子どもの遊びと安心・安全が両立するコミュニティづくり」参照	
	【予習】テキストP68～、P80～に目を通してくる。 水・砂・草花・石・風・太陽光・雪で遊ぶ時の道具やリスクを考えておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第5回	幼児期にふさわしい自然遊びの指導案作成 6月初旬～7月初旬に、授業時間外で自然遊びをする日時と場所(公園等)、遊び内容、遊びに必要な物等を考える。 野菜を育てるグループで活動を行います。 指導案枠・指導案記入上の留意点 ・指導案記入上の留意点 参照	
	【予習】テキストP68～、P80～に目を通し、自然遊びに必要な教材や内容を考えておく。 『自然と遊ぼう! 感じる力を育む保育環境』(明治図書)は立ち読みできます。 保育指導案大百科P.160-178・テキストP.50-66に目を通してくる。 1年次保育内容総論「保育をするときの発達段階ヒント集」参照	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。 指導案をもとに自然遊びをしますが、その発表を第12回授業で行います。発表は動画使用もOKです。自然遊びは、5月27日(木)～6月24日(木)に行ってください。 「自然遊びの指導案」は、5/27(木)までに、全員がこの欄の課題提出欄 に提出する。 指導案をおおまかにグループで考え、自分なりのこだわりや工夫点をアレンジして提出してください。 「自然遊びの報告PP(静止画像入り)」は第12回目の授業までに完成させておく(1グループ6分)。	90分
第6回	ブランターでの野菜の苗植え～野菜を育てる基礎知識と子どもへの指導法～ 天候により、授業回が変わる場合があります。	
	【予習】テキストP68～、P80～に目を通してくる。 汚れてもよい服装、日よけ防止、汗拭きタオル等の準備、適切な髪・爪で参加できるよう準備しておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。 野菜の世話・メンテナンスはグループで役割分担し、随時行う。購入したいものがあれば教員に相談すること。	90分

第7回	子どもが生き物と関わる意義の理解と関わり方についての指導法	
	【予習】アリ、ハチ、ダンゴムシ、カエルやカタツムリなど、乳幼児の生活場面で出会うような生き物の様子を画像で記録し、授業前までに、websyllabusの予習欄 に画像を提出しておく（次回、画像共有で全員に公開）。画像はなるべく、60-150kb程度にして提出する（複数ある場合はWordに貼り付けて提出）。 テキストP.101～、教育・保育要領P.264に目を通す。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第8回	見立て遊びから物的環境の特性や乳幼児の表現を考える。 全員が、身近な物で見立て遊びを披露する（1人10秒程度）	
	【予習】テキストP108～に目を通し、乳幼児にとって身近な物や道具でどのような見立て遊びが可能かを考えておく。 身近な物を1つ以上準備し、それを使って何に見えるかを考え、演じる練習をしておく（例：空き容器、ハンカチ、新聞紙、割りばし、輪ゴムほか多数）。造形のように、切る貼るなどは行わず、そのまま使用する。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第9回	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚にかかわる指導法 野菜のメンテナンス	
	【予習】テキストP132～に目を通し、乳幼児の生活で数量・図形・標識・文字に関わると思う環境や生活場面にについて考えておく。 野菜のメンテナンスに必要な物があれば準備しておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第10回	保育現場の画像から遊びや生活に関する環境の構成を学ぶ 乳幼児の生活に関係の深い施設や情報環境の理解と活用法	
	【予習】テキストP.24～に目を通す。保育現場の遊びや生活に関する環境サイトや書籍（電子書籍）、保育雑誌をみておく。 テキストP.162～に目を通す。自分の住む地域にある子育て支援センターや遊び場についてHPなどで調べておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第11回	保育のねらいと環境の構成 - 室内の遊びに関する環境構成図作成・発表（グループ毎）	
	【予習】保育現場の室内遊びと環境に関するサイトや書籍（電子書籍）、保育雑誌をみておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。	90分
第12回	身近な自然環境に直接触れて親しむ遊びの共有（グループ毎） 全グループがPP画像で紹介し、今後のドキュメンテーション作成に活かす。	
	【予習】自然遊びのPP画像をPCで共有できるよう準備しておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。 テキストP68～、P80～に目を通し、復習しておく。 本日に、「自然と遊ぶ体験PP（画像入り）」を、USBスティックに名前を付けて保存する。授業当日に教員よりコメントを伝える。	90分
第13回	身近な自然環境に直接触れて親しむ遊びの掲示用ドキュメンテーション作成（グループ毎） ドキュメンテーション：日頃の保育の中で、子どもたちが遊びや生活を通じて、「どのように育っているのか」、「何を学んでいるのか」、を保護者に伝えることを意図として作成するもの ドキュメンテーションを利用した京都府舞鶴市の取り組み参照	
	【予習】テキストP206～に目を通し、現代の社会状況を考えておく。 ドキュメンテーション作成に必要な画像やPC、材料を準備する。画像共有して話し合いながら作成する。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。 ドキュメンテーションの発表者を班で2名決めておく。	90分

第14回	身近な自然環境に直接触れて親しむ遊びの掲示用ドキュメンテーション完成（グループ毎） 野菜の収穫、メンテナンス	
	【予習】作成したドキュメンテーションについて、「どのように育てているのか」、「何を学んでいるのか」を保護者に伝える工夫や、遊びの環境構成や配慮点について発表できるようにしておく。	90分
	【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。 Formsに発表の感想を本日中に入力・送信する。	90分
第15回	ドキュメンテーションの発表　ドキュメンテーションの発表を聞いた感想を授業中にFormsへ入力する。 聞きたいグループの掲示スペースに集合（5人程度：2回各10分、グループの説明担当者も2名決めておく） 15回の授業の学びを振り返り、Formsへ入力して8/5（木）までに送信する。	
	【予習】ドキュメンテーション説明担当者を、グループで2名決めておく。	90分
	【復習】15回分の授業内容を振り返り、学びを整理する。 掲示用ドキュメンテーションは、しばらく公開し、再試発表日の8/24（火）にグループで片付ける。	90分
第16回	定期試験は行わない	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標～について、ドキュメンテーション発表への感想30%、受講態度（発言・発表内容など）20%、提出物（生き物の画像10%、最終回の学びの振り返り40%）50%で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：15%、社会性：15%、専門性70%）
------	--

使用資料 <テキスト>	無藤隆監修『事例で学ぶ保育内容領域環境』萌文書林	使用資料 <参考図書>	文部科学省 平成29年告示『小学校学習指導要領』
----------------	--------------------------	----------------	-----------------------------

授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・3密・「新しい生活様式」に留意し、公園などの自然環境を利用した遊びを体験してください。 ・自宅のできる人は、植物を育てる経験をしてください。絵日記を付けると記録が残って後に役立ちます。
授業外質問方法	授業後やメール（ishikura@tuins.ac.jp）、オフィスパワーを利用して下さい。
オフィス・パワー	水曜日5限（E-403石倉研究室）

授業科目名	保育内容（言葉）(A)	科目コード	K1202P08
英文名	Childcare (Language)		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	准教授	担当教員名	本江 理子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	乳幼児の言葉の獲得・発達過程や保育者の言葉を細かく学ぶ中で、現代の問題も考察していく。「言葉」というものを捉え直し、言葉のもつ特性などを理解した上で教材研究をする。言葉が育つ環境を考えることで、小学校での学びにどのようにつながるのかを具体的に考える。(担当教員：保育士・幼稚園教諭・保育施設巡回指導の実務経験あり)			
-------	---	--	--	--

キーワード	言葉の獲得	言葉の発達段階	言語的環境	教材研究
-------	-------	---------	-------	------

到達目標	幼稚園教育や保育で育みたい資質能力について理解することができる。(30%)			
	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、理解を深めることができる。(40%)			
	乳幼児の言葉の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構築する方法を身に付けることができる。(30%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
				/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育内容のとらえ方と領域「言葉」（ねらい及び内容・全体構造をふまえて）	
	【予習】テキストの目次を見て、授業内容の概観をつかむ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を準備する	90分
	【復習】領域「言葉」に関してノートにまとめる 当日中に、WEBシラバス上で「鉛筆を持った人マーク」をクリックし、今日の授業についてのアンケートフォームに記入し、回答送信ボタンを押す（毎回）。 第1回授業内容 五・七・五	90分
第2回	発達のとらえ方と言葉（言葉の特徴と発達段階） 言葉の発達の基盤となる信頼関係の形成 非言語的コミュニケーションの重要性	
	【予習】テキストの第2回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】乳児期の言葉の特徴と発達段階に関してノートにまとめる	90分
第3回	発達のとらえ方と言葉（言葉の特徴と発達段階） 伝え合う喜びを味わうようになる過程	
	【予習】テキストの第3回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】幼児期の言葉の特徴と発達段階に関してノートにまとめる	90分
第4回	言葉が育つ環境（児童文化財も含めて） ZOOM ホワイトボードで「へんしんトンネル」を考えてみよう	
	【予習】テキストの第4回の授業内容が書かれている箇所を読む テキスト以外の参考文献を探す	90分
	【復習】言葉が育つ環境に関して、ノートにまとめる	90分
第5回	演習 「言葉の楽しさや美しさ」に気付く遊び（しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなど）	
	【予習】しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなどについて書かれている文献を探す	90分
	【復習】しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなどについて書かれている文献を読み、ノートに内容をまとめておく 第5回 授業内容	90分
第6回	言葉遊びに関する指導案作成（絵本・紙芝居など 児童文化財にかかわるもの） 様式：指導案	
	【予習】指導案が作成できるように、参考文献や資料を探す	90分
	【復習】作成した指導案を吟味、再考する	90分
第7回	言葉遊びに関する指導案作成（しりとり・なぞなぞなど ゲームにかかわるもの）	
	【予習】指導案が作成できるように、参考文献や資料を探す 指導案作成のための絵本か紙芝居、参考になる資料を持参してください。 充電したパソコンも持ってきてください。	90分
	【復習】作成した指導案を吟味、再考する	90分

第8回	言葉遊びに関する模擬保育（情報機器及び教材の活用）	
	【予習】第6、7回に作成した指導案を吟味、再考し、模擬保育ができるように準備する	90分
	【復習】模擬保育の反省点をふまえ、ノートにまとめておく もう一度、指導案を練り直す	90分
第9回	保育の展開と子ども理解 保育者の役割と援助	
	【予習】テキストのこれまでの授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】授業内容とこれまでの学びをつなげて、考えをまとめておく	90分
第10回	グループ討議 乳児期にみられる問題点（事例を通して考える） 障害のある子や外国籍の子どもへの援助について 指導案について グループ内の話し合い内容の発表 課題1に、発表パワーポイント等を提出（データ添付をお願いします）	
	【予習】テキストの第10回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】障害のある子や外国籍の子どもへの援助について、具体例が書かれている文献を探して理解を深める	90分
第11回	グループ討議 乳児期にみられる問題点（事例を通して考える） 「言葉による伝え合い」について（小学校での学びにどのようにつながるのか）	
	【予習】テキストのこれまでの授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】乳幼児期の「言葉による伝え合い」とはどのようなことなのかを考え、小学校での学びにどのようにつながるのかをノートにまとめておく	90分
第12回	発達に合わせて援助する保育とは何かに関する教材研究 指導案作成	
	【予習】指導案作成の準備をする（テキストの関連箇所を読む 参考文献、資料を探す）	90分
	【復習】教材研究発表（模擬保育）の準備をする	90分
第13回	発達に合わせて援助する保育とは何かに関する教材研究 模擬保育 七夕の短冊から 子どもの発達を想像してみよう（仮）	
	【予習】テキストの第13回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】模擬保育の反省点から、今後の課題を見出す	90分
第14回	保育者の指導に関する問題点及び評価 参考資料（研修会パワーポイントより）	
	【予習】テキストの第14回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】保育者の指導に関する問題点及び評価に関して、ノートにまとめる その際、事例をあげて、より具体的に考えられるようにしておく 第6回～14回の授業内容	90分
第15回	「言葉の獲得に関する領域」の問題点 2021レポート課題	
	【予習】テキストの第15回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】「言葉の獲得に関する領域」の問題点に関して、キーワードごとに整理する 事例をあげて、より具体的に論述できるようにしておく	90分

第16回	【予習】	90分
	【復習】	90分

評価方法	<p>課題レポート（60%）、模擬保育の発表内容（40%）を総合的に評価します。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p>
------	---

使用資料 <テキスト>	柴崎正行・戸田雅美・秋田喜代美編 『最新保育講座』	使用資料 <参考図書>	厚生労働省『保育所保育指針解説書』（フ レーベル館）
----------------	------------------------------	----------------	-------------------------------

授業外学修等	<p>レポートの課題は、テキストを全て読んでいることを前提として出題します。レポート作成時期まで、テキストに2~3回は目を通せるよう、計画して読み進めておいてください。また、関連の文献などにも着目して、自分の考えを深めておきましょう。</p>
--------	---

授業外質問方法	<p>授業の前後、オフィスアワーを中心に随時受け付けます。 オフィスアワーに授業が重なっている場合は、別の時間を予約してください。</p>
---------	--

オフィス・アワー	木曜日 2限（E-402 本江研究室）
----------	---------------------

授業科目名	保育内容（言葉）(B)	科目コード	K1202P08
英文名	Childcare (Language)		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	准教授	担当教員名	本江 理子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	乳幼児の言葉の獲得・発達過程や保育者の言葉を細かく学ぶ中で、現代の問題も考察していく。「言葉」というものを捉え直し、言葉のもつ特性などを理解した上で教材研究をする。言葉が育つ環境を考えることで、小学校での学びにどのようにつながるのかを具体的に考える。(担当教員：保育士・幼稚園教諭・保育施設巡回指導の実務経験あり)			
-------	---	--	--	--

キーワード	言葉の獲得	言葉の発達段階	言語的環境	教材研究
-------	-------	---------	-------	------

到達目標	幼稚園教育や保育で育みたい資質能力について理解することができる。(30%)			
	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、理解を深めることができる。(40%)			
	乳幼児の言葉の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構築する方法を身に付けることができる。(30%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
				/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育内容のとらえ方と領域「言葉」（ねらい及び内容・全体構造をふまえて）	
	【予習】テキストの目次を見て、授業内容の概観をつかむ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を準備する	90分
	【復習】領域「言葉」に関してノートにまとめる 当日中に、WEBシラバス上で「鉛筆を持った人マーク」をクリックし、今日の授業についてのアンケートフォームに記入し、回答送信ボタンを押す（毎回）。 第1回授業内容 五・七・五	90分
第2回	発達のとらえ方と言葉（言葉の特徴と発達段階） 言葉の発達の基盤となる信頼関係の形成 非言語的コミュニケーションの重要性	
	【予習】テキストの第2回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】乳児期の言葉の特徴と発達段階に関してノートにまとめる	90分
第3回	発達のとらえ方と言葉（言葉の特徴と発達段階） 伝え合う喜びを味わうようになる過程	
	【予習】テキストの第3回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】幼児期の言葉の特徴と発達段階に関してノートにまとめる	90分
第4回	言葉が育つ環境（児童文化財も含めて） ZOOM ホワイトボードで「へんしんトンネル」を考えてみよう	
	【予習】テキストの第4回の授業内容が書かれている箇所を読む テキスト以外の参考文献を探す	90分
	【復習】言葉が育つ環境に関して、ノートにまとめる	90分
第5回	演習 「言葉の楽しさや美しさ」に気付く遊び（しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなど）	
	【予習】しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなどについて書かれている文献を探す	90分
	【復習】しりとり、なぞなぞ、詩、わらべうたなどについて書かれている文献を読み、ノートに内容をまとめておく 第5回 授業内容	90分
第6回	言葉遊びに関する指導案作成（絵本・紙芝居など 児童文化財にかかわるもの） 様式：指導案	
	【予習】指導案が作成できるように、参考文献や資料を探す	90分
	【復習】作成した指導案を吟味、再考する	90分
第7回	言葉遊びに関する指導案作成（しりとり・なぞなぞなど ゲームにかかわるもの）	
	【予習】指導案が作成できるように、参考文献や資料を探す 指導案作成のための絵本か紙芝居、参考になる資料を持参してください。 充電したパソコンも持ってきてください。	90分
	【復習】作成した指導案を吟味、再考する	90分

第8回	言葉遊びに関する模擬保育（情報機器及び教材の活用）	
	【予習】第6、7回に作成した指導案を吟味、再考し、模擬保育ができるように準備する	90分
	【復習】模擬保育の反省点をふまえ、ノートにまとめておく もう一度、指導案を練り直す	90分
第9回	保育の展開と子ども理解 保育者の役割と援助	
	【予習】テキストのこれまでの授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】授業内容とこれまでの学びをつなげて、考えをまとめておく	90分
第10回	グループ討議 乳児期にみられる問題点（事例を通して考える） 障害のある子や外国籍の子どもへの援助について 指導案について グループ内の話し合い内容の発表 課題1に、発表パワーポイント等を提出（データ添付をお願いします）	
	【予習】テキストの第10回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】障害のある子や外国籍の子どもへの援助について、具体例が書かれている文献を探して理解を深める	90分
第11回	グループ討議 乳児期にみられる問題点（事例を通して考える） 「言葉による伝え合い」について（小学校での学びにどのようにつながるのか）	
	【予習】テキストのこれまでの授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】乳幼児期の「言葉による伝え合い」とはどのようなことなのかを考え、小学校での学びにどのようにつながるのかをノートにまとめておく	90分
第12回	発達に合わせて援助する保育とは何かに関する教材研究 指導案作成	
	【予習】指導案作成の準備をする（テキストの関連箇所を読む 参考文献、資料を探す）	90分
	【復習】教材研究発表（模擬保育）の準備をする	90分
第13回	発達に合わせて援助する保育とは何かに関する教材研究 模擬保育 七夕の短冊から 子どもの発達を想像してみよう（仮）	
	【予習】テキストの第13回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】模擬保育の反省点から、今後の課題を見出す	90分
第14回	保育者の指導に関する問題点及び評価 参考資料（研修会パワーポイントより）	
	【予習】テキストの第14回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】保育者の指導に関する問題点及び評価に関して、ノートにまとめる その際、事例をあげて、より具体的に考えられるようにしておく 第6回～14回の授業内容	90分
第15回	「言葉の獲得に関する領域」の問題点 2021レポート課題	
	【予習】テキストの第15回の授業内容が書かれている箇所を読む	90分
	【復習】「言葉の獲得に関する領域」の問題点に関して、キーワードごとに整理する 事例をあげて、より具体的に論述できるようにしておく	90分

第16回	【予習】	90分
	【復習】	90分

評価方法	<p>課題レポート（60%）、模擬保育の発表内容（40%）を総合的に評価します。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p>
------	---

使用資料 <テキスト>	柴崎正行・戸田雅美・秋田喜代美編 『最新保育講座』	使用資料 <参考図書>	厚生労働省『保育所保育指針解説書』（フ レーベル館）
----------------	------------------------------	----------------	-------------------------------

授業外学修等	<p>レポートの課題は、テキストを全て読んでいることを前提として出題します。レポート作成時期まで、テキストに2~3回は目を通せるよう、計画して読み進めておいてください。また、関連の文献などにも着目して、自分の考えを深めておきましょう。</p>
--------	---

授業外質問方法	<p>授業の前後、オフィスアワーを中心に随時受け付けます。 オフィスアワーに授業が重なっている場合は、別の時間を予約してください。</p>
---------	--

オフィス・アワー	木曜日 2限（E-402 本江研究室）
----------	---------------------

授業科目名	子どもと人間関係	科目コード	K1202P12
英文名	Children and Human Relationship		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	准教授	担当教員名	本江 理子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	1単位

授業の概要	<p>子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針等に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 人間関係に関わる事項を中心に保育における指導案作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。 (担当教員：保育士・幼稚園教諭の実務経験あり)</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	人とのかかわり	集団の中での育ち	個人の育ち	保育者の援助	事例検討
-------	---------	----------	-------	--------	------

到達目標	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、理解を深める。(50%)				
	子どもの生活と遊びにおける他者(保育者等や他の子ども)との関係や集団の中での育ちの理解と援助に関わる知識及び技術が何かを考えることができる。(20%)				
	子どもの世界を想像し、子どもの生活と遊びにおける体験の例を考察することができる。(30%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
				/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 人とかかわることの意味を考える(グループ討議)	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「領域 人間関係」に関連する部分を探してチェックしておく。	90分
	【復習】当日中に、WEBシラバス上で「鉛筆を持った人マーク」をクリックし、今日の授業についてのアンケートフォームに記入し、回答送信ボタンを押す(毎回) 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「領域 人間関係」に関連する部分読み込む。 第1回 振り返り	90分
第2回	子どもの世界について考える 乳幼児にとって「友達」とは何か(グループ討議) 「平等」「公平」とは何か(全体討議)	
	【予習】乳幼児にとって「友達」とは何かを関連文献などで調べてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめておく。 第2回 授業内容	90分
第3回	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿から保育者の役割を考える(自立心、協同性を中心に)	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の関連する部分を探してチェックしておく。	90分
	【復習】授業内容をふまえ、「自立心」「協同性」についてノートをまとめておく。 第3回 授業内容	90分
第4回	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿から保育者の役割を考える(道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わりを中心に)	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の関連する部分を探してチェックしておく。	90分
	【復習】授業内容をふまえ、「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」についてノートをまとめておく。 座右の銘(チャットに書きました)	90分
第5回	事例検討(ビデオ、ドキュメンテーションなど) 子どもの生活と遊びにおける事例から、遊びの中で育つものを考える	
	【予習】第1回～第4回までの授業内容を復習しておく。 第5回の授業に向けて(レポート課題等)	90分
	【復習】第5回までの授業内容を復習しておく。 本日の学びをレポートで知らせてください。(第5回 復習欄の横 課題提出4 に 添付)5月27日(木)17時まで みなさんが見つけた素敵なフレーズ	90分
第6回	「人間関係」に関する指導案作成 (教材研究) 様式: 指導案	
	【予習】テキスト『保育指導案大百科事典』のポイントをつかんでおく。 指導案作成のための教材・文献・資料を準備する。	90分
	【復習】教材研究の反省点を洗い出し、第7回の指導案立案の準備をする。	90分
第7回	「人間関係」に関する指導案作成 (立案) 目指せ、本日、指導案完成! 時間内で書き切る練習です。 仕上がってなくても、いったん提出。	
	【予習】テキスト『保育指導案大百科事典』をさらに読み込む。 指導案作成ができるように準備しましょう。充電したパソコン、資料をお忘れなく。	90分
	【復習】テキスト『保育指導案大百科事典』をさらに読み込む。	90分

	「人間関係」に関する指導案作成（グループ内発表） 指導案を見せ合えるように準備しましょう。充電したパソコン、指導案のデータを持参してください。	
第8回	【予習】発表の準備をする。（実際に行ってみる・教材の準備をするなど） 「どんな場面の設定にするのか」「ねらい」「内容」までは、考えてくる。	90分
	【復習】発表内容を振り返り、課題を見い出す。 提出するもののお知らせ（レポート課題2つ & 指導案）	90分
第9回	【予習】	
	【復習】	
第10回	【予習】	
	【復習】	
第11回	【予習】	
	【復習】	
第12回	【予習】	
	【復習】	
第13回	【予習】	
	【復習】	
第14回	【予習】	
	【復習】	
第15回	【予習】	
	【復習】	
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>課題レポート（70%）、演習内容（30%）で評価します。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 人間性：30% 社会性：20% 専門性：50%</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>開仁志編著『保育指導案大百科事典』（一藝社）</p>	使用資料 <参考図書>	授業内で適宜配布します。
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の関連部分を読み込みましょう。 ・予習、復習をしっかりと行ってください。 		
授業外質問方法	<p>授業の前後とオフィスアワーに受け付けます。 オフィスアワーに授業が重なっている場合は、別の時間を予約してください。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 2限（E-402 本江研究室）</p>		

授業科目名	子どもと表現	科目コード	K1202P15
英文名	Children and Creative Expression		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	1単位

授業の概要	子どもの表現全般を踏まえ、造形表現や身体表現を中心に、保育で実際に必要とされる知識や技術を学ぶ。		
-------	--	--	--

キーワード	保育技術	教材研究	児童文化		
-------	------	------	------	--	--

到達目標	保育の内容を学び、乳幼児期に適した保育教材について理解することができる。(30%)
	子どもの表現活動の意味を理解し、具体的展開のための保育技術を習得することができる。(35%)
	表現活動に係わる教材等の活用及び作成、環境構成の知識・技術を習得することができる。(35%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業の進め方）、「保育技術」「表現」とは何かを考える。	
	【予習】参考文献等で保育について把握する	30分
	【復習】日常生活の中で批判的思考力をもってアートの思考を生かせるように探求する	30分
第2回	子どもの発達と造形遊び1 「鯉のぼり」を造形遊びの要素を含めて制作する1（制作）	
	【予習】材料、道具を準備する	30分
	【復習】日常生活の中で批判的思考力をもってアートの思考を生かせるように探求する	30分
第3回	子どもの造形遊びと保育技術2 「鯉のぼり」を造形遊びの要素を含めて制作する2（設置する）	
	【予習】材料、道具を準備する	30分
	【復習】日常生活の中で批判的思考力をもってアートの思考を生かせるように探求する	30分
第4回	子どもの造形的遊びと保育技術3 布や毛糸等を使って1	
	【予習】材料、道具を準備する	30分
	【復習】日常生活の中で批判的思考力をもってアートの思考を生かせるように探求する	30分
第5回	子どもの造形的遊びと保育技術4 布や毛糸等を使って2	
	【予習】材料、道具を準備する	30分
	【復習】日常生活の中で批判的思考力をもってアートの思考を生かせるように探求する	30分
第6回	子どもの造形的遊びと保育技術5 段ボールで遊ぶ、制作する1	
	【予習】材料、道具を準備する	30分
	【復習】日常生活の中で批判的思考力をもってアートの思考を生かせるように探求する	30分
第7回	子どもの造形的遊びと保育技術6 段ボールで遊ぶ、制作する2	
	【予習】材料、道具を準備する	30分
	【復習】日常生活の中で批判的思考力をもってアートの思考を生かせるように探求する	30分
第8回	子どもの造形遊びと保育技術7 絵の具で遊ぶ フィンガーペインティング	
	【予習】材料、道具を準備する	30分
	【復習】日常生活の中で批判的思考力をもってアートの思考を生かせるように探求する	30分
第9回		
	【予習】	
	【復習】	

第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ~ について、活動の取り組み（80%）提出物（20%）で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	特になし
授業外学修等	特になし		
授業外質問方法	いつでも研究室にお越しください。		
オフィス・アワー	水曜日2限（E-306佐部利研究室）		

授業科目名	乳児保育	科目コード	K1202P17
英文名	Infant Care		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	講師	担当教員名	竹田 好美
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	1単位

授業の概要	<p>乳児保育 での学びを踏まえ、3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について学ぶ。また、養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法、環境構成、乳児保育における配慮の実践について、具体的に学ぶ。適宜小グループに分かれ、テーマについて議論したり、事例検討を行ったり、指導計画を作成したりすることを通して理解を深めていく。 (科目担当教員：幼稚園教諭の実務経験あり)</p>
-------	--

キーワード	3歳未満児の発育・	援助や関わりの基本	生活や遊びの環境	計画の作成
-------	-----------	-----------	----------	-------

到達目標	3歳未満児の発達・発育の過程や特性踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解することができる。(30%)
	3歳未満児の保育の内容や方法、乳児保育における配慮の実践について具体的に理解することができる。(50%)
	乳児保育における計画の作成について具体的に理解することができる。(20%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>オリエンテーション 乳児保育 での学びの確認 / 子どもの遊びの充実を図るために - 手作りおもちゃ発表会 - 第1回資料 GoogleFoams課題 GoogleFoams出席票 おもちゃ画像(説明付)は課題1に、設計図画像は課題2にアップロードして下さい。×切は、4月22日(木)中です。</p>	
	<p>【予習】乳児保育 での学びをまとめておく。 乳児保育 での課題、手作りおもちゃの設計図とおもちゃを完成させ、発表の準備をしておく。</p>	90分
	<p>【復習】第1回の授業についてまとめる。</p>	90分
第2回	<p>乳児と保育者の関わりの基本 (1) 主体性を尊重した関わり 第2回資料 第2回資料(記入用)</p>	
	<p>【予習】授業内容に関する教科書の内容を確認しておく。</p>	90分
	<p>【復習】第2回の授業についてまとめる。 ワークシートを完成させる。 ワークシート ワークシート(記入例) ワークシートは、第2回 課題1にアップロードしてください。</p>	90分
第3回	<p>乳児と保育者の関わりの基本 (2) 共感的・応答的な関わり 第3回資料 ワークシート</p>	
	<p>【予習】授業内容に関する教科書の内容を確認しておく。</p>	90分
	<p>【復習】第3回の授業についてまとめる。 ワークシート を完成させる。 ワークシート は、第3回 課題1にアップロードしてください。</p>	90分
第4回	<p>乳児保育における生活と遊びの実態 (1) 1日の流れと生活や遊びを支える環境構成 第4回資料</p>	
	<p>【予習】授業内容に関する教科書の内容を確認する。</p>	90分
	<p>【復習】第4回の授業についてまとめる。 乳児期における子どもの生活や遊びにおいて、保育者が配慮すべきことについて年齢ごとにまとめておく。 レポート作成参考資料 レポート作成参考資料</p>	90分
第5回	<p>乳児保育における生活と遊びの実態 (2) 生活や遊び、乳児同士の関わりに対する発達・発育を踏まえた援助 第5回資料 課題1に「乳児の生活・遊びと保育者の援助」をアップロードする</p>	
	<p>【予習】授業内容に関する教科書の内容を確認しておく</p>	90分
	<p>【復習】第5回の授業についてまとめる 第4回・第5回の授業での学びをベースに、乳児期における子どもの生活や遊びにおいて、保育者が配慮すべきことについて年齢ごとにまとめておく。</p>	90分
第6回	<p>乳児保育における保育の計画の実際 (1) 保育所・認定こども園における計画の実際 第6回資料 日誌課題</p>	
	<p>【予習】授業内容に関する教科書の内容を確認する。</p>	90分
	<p>【復習】第6回の授業についてまとめる。 日誌を完成させる。</p>	90分

第7回	乳児保育における保育の計画の実際 (2) 記録から計画を作成する 課題1に「日誌」、課題2に「部分実習指導案」を7月19日(月)までにアップロードする 第7回資料 指導案様式	
	【予習】 授業内容に関する教科書の内容を確認しておく。	90分
	【復習】 第7回の授業についてまとめる 指導案を作成する。	90分
第8回	乳児保育における連携・協働の実際 課題1に「最終課題」を7月19日(月)までにアップロードする	
	【予習】 授業内容に関する教科書の内容を確認しておく	90分
	【復習】 第8回の授業についてまとめる	90分
第9回	期末試験 授業時間を設定しないレポート試験に変更します。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	

第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（受講態度・提出物等）（50％）、期末試験（50％）で総合的に評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。
------	--

使用資料 <テキスト>	阿部和子・大方美香 編著 『乳児保育の理論と実践』 光生館	使用資料 <参考図書>	文部科学省『幼稚園教育要領解説』平成30年（フレーベル館）
----------------	----------------------------------	----------------	-------------------------------

授業外学修等	上記時間外においても、授業内容等に関して予習、復習、準備などに積極的に取り組むこと。
--------	--

授業外質問方法	オフィスアワー、メールまたは直接研究室に訪ねて質問してください。 takeda@tuins.ac.jp
---------	---

オフィス・アワー	月曜4限（E301 竹田研究室）
----------	------------------

授業科目名	子どもの安全と健康(A)	科目コード	K1202P18
英文名	Child Safety and Health		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	非常勤講師	担当教員名	境 美砂子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	1単位

授業の概要	<p>保育者として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術、子どもに多い疾病への対応方法、子どもの事故防止、救急処置及び救急蘇生法、保育において保育者が行うべき健康・安全管理や、保育・保健活動における組織的活動や多職種連携などについて、保育に関連する各種ガイドラインや統計データなどに基づき授業を展開する。なお、本授業は演習科目であり、実践的に学ぶことをねらいとする。（担当教員：小児専門病院での看護師経験あり）</p>		
-------	--	--	--

キーワード	保育上の安全管理	救急処置・蘇生法	子どもの養護	多職種連携
-------	----------	----------	--------	-------

到達目標	保育における緊急時の対応や事故防止、安全管理、子どもの体調不良時の適切な対応について具体的に学ぶことができる。(30%)
	保育における保健的観点を踏まえた保育環境および援助について理解できる。(20%)
	子どもがよく罹患する感染症とそれらの予防策、感染症発症時の対応策を理解できる。(20%)
	子どもの特徴(3歳未満の子ども、慢性疾患や障害を持つ子どもなど)をふまえた保育時の対応方法を考えることができる。(20%)
	保育・保健活動における組織的活動や多職種連携について理解できる。(10%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保健的観点を踏まえた保育環境および援助について (担当教員: 小児専門病院での看護師経験あり) 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第1章 , 初回にグループピングを行う	
	【予習】テキストのもくじおよびテキストP4～P8を読むこと。	60分
	【復習】テキストP11の「おさらいテスト」に取り組む。	60分
第2回	保育における健康および安全の管理について 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第2章 , , , 子どもが過ごす環境における事故防止のチェックポイントについて考え(個人ワーク)、グループディスカッションを実施する。	
	【予習】テキストP12～P26を読むこと。	60分
	【復習】提示した課題(課題レポート)に取り組む。	120分
第3回	子どもの体調不良などに対する適切な対応～その1～ 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第3章 バイタルサイン測定や体調不良の児への対応方法などの演習後にグループディスカッションを実施する。	
	【予習】テキストP36～45を読むこと。	60分
	【復習】テキストP52の課題1, 課題2に取り組む。	120分
第4回	子どもの体調不良などに対する適切な対応～その2～ 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第3章 救急処置および救急蘇生法の演習後、グループディスカッションを実施する。	
	【予習】子どものBLS (basic life support) について調べる(課題レポート)。 テキストP46～50を読むこと。	120分
	【復習】テキストP57, 58の「おさらいテスト」に取り組む。	60分
第5回	子どもがよく罹患する感染症とそれらの予防策、感染症発症時の対応策について 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第4章 ,	
	【予習】第4回授業終了時に、課題を提示する(課題レポート)。 テキストP59～69を読むこと。	60分
	【復習】テキストP70の課題1, P71の課題2に取り組む。 テキストP72, 73の「おさらいテスト」に取り組む。	120分
第6回	保育に必要な保健的対応について～その1～ 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第5章 , , , 子ども(乳児から3歳児)の着衣、おむつ交換の演習後、グループディスカッションを実施する。	
	【予習】テキストP76～86を読むこと。	60分
	【復習】テキストの着衣およびおむつ交換の箇所を熟読すること。	60分
第7回	保育で必要な保健的対応について～その2～ 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第5章 , , ,	
	【予習】テキストP87～103を読むこと。	60分
	【復習】テキストP131, 132の「おさらいテスト」に取り組む。	60分

第8回	保育・保健活動における組織的活動や多職種連携について 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第6章 子どもの継続的な健康支援のために必要な多職種連携のあり方についてグループディスカッションし、その内容をグループ毎に発表する。	
	【予習】テキストP111～122を読むこと。	30分
	【復習】最終課題を提示する（課題レポート）。	120分
第9回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	【予習】	
	【復習】	
第11回	【予習】	
	【復習】	
第12回	【予習】	
	【復習】	
第13回	【予習】	
	【復習】	
第14回	【予習】	
	【復習】	
第15回	【予習】	
	【復習】	
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ~ について、期末試験50%、レポート40%、受講状況（授業態度等）10%で総合的に評価する。なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。ディプロマポリシー 人間性：30% 社会性：20% 専門性：50%		
使用資料 <テキスト>	授業で現場で役に立つ！子どもの健康と安全 演習ノート 初版（診断と治療社）	使用資料 <参考図書>	必要に応じて適宜授業内で伝える。
授業外学修等	毎回の予習・復習内容をよく読んで取り組んでください。モデル人形や学生同士で演習を実施する場合がありますので、動きやすい服装で出席してください。演習内容については事前にお知らせします。		
授業外質問方法	質問、疑問、意見などは毎回配布する受講カードに記入してください。また、質問についてはメールでも問い合わせ可能です。境のアドレスは初回授業でお伝えします。		
オフィス・アワー	授業前または終了後、非常勤講師控え室または教室で対応します。		

授業科目名	子どもの安全と健康(B)	科目コード	K1202P18
英文名	Child Safety and Health		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	非常勤講師	担当教員名	境 美砂子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	1単位

授業の概要	<p>保育者として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術、子どもに多い疾病への対応方法、子どもの事故防止、救急処置及び救急蘇生法、保育において保育者が行うべき健康・安全管理や、保育・保健活動における組織的活動や多職種連携などについて、保育に関連する各種ガイドラインや統計データなどに基づき授業を展開する。なお、本授業は演習科目であり、実践的に学ぶことをねらいとする。（担当教員：小児専門病院での看護師経験あり）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	保育上の安全管理	救急処置・蘇生法	子どもの養護	多職種連携
-------	----------	----------	--------	-------

到達目標	保育における緊急時の対応や事故防止、安全管理、子どもの体調不良時の適切な対応について具体的に学ぶことができる。(30%)
	保育における保健的観点を踏まえた保育環境および援助について理解できる。(20%)
	子どもがよく罹患する感染症とそれらの予防策、感染症発症時の対応策を理解できる。(20%)
	子どもの特徴(3歳未満の子ども、慢性疾患や障害を持つ子どもなど)をふまえた保育時の対応方法を考えることができる。(20%)
	保育・保健活動における組織的活動や多職種連携について理解できる。(10%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー
------	-------	-----	-------	-------	---------------

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
------------	-----	-------	-------	-------

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
-------	-------	----------	--------	------------	--------------

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保健的観点を踏まえた保育環境および援助について (担当教員: 小児専門病院での看護師経験あり) 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第1章 , 初回にグループピングを行う	
	【予習】テキストのもくじおよびテキストP4～P8を読むこと。	60分
	【復習】テキストP11の「おさらいテスト」に取り組む。	60分
第2回	保育における健康および安全の管理について 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第2章 , , , 子どもが過ごす環境における事故防止のチェックポイントについて考え(個人ワーク)、グループディスカッションを実施する。	
	【予習】テキストP12～P26を読むこと。	60分
	【復習】提示した課題(課題レポート)に取り組む。	120分
第3回	子どもの体調不良などに対する適切な対応～その1～ 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第3章 バイタルサイン測定や体調不良の児への対応方法などの演習後にグループディスカッションを実施する。	
	【予習】テキストP36～45を読むこと。	60分
	【復習】テキストP52の課題1, 課題2に取り組む。	120分
第4回	子どもの体調不良などに対する適切な対応～その2～ 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第3章 救急処置および救急蘇生法の演習後、グループディスカッションを実施する。	
	【予習】子どものBLS (basic life support) について調べる(課題レポート)。 テキストP46～50を読むこと。	120分
	【復習】テキストP57, 58の「おさらいテスト」に取り組む。	60分
第5回	子どもがよく罹患する感染症とそれらの予防策、感染症発症時の対応策について 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第4章 ,	
	【予習】第4回授業終了時に、課題を提示する(課題レポート)。 テキストP59～69を読むこと。	60分
	【復習】テキストP70の課題1, P71の課題2に取り組む。 テキストP72, 73の「おさらいテスト」に取り組む。	120分
第6回	保育に必要な保健的対応について～その1～ 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第5章 , , , 子ども(乳児から3歳児)の着衣、おむつ交換の演習後、グループディスカッションを実施する。	
	【予習】テキストP76～86を読むこと。	60分
	【復習】テキストの着衣およびおむつ交換の箇所を熟読すること。	60分
第7回	保育で必要な保健的対応について～その2～ 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第5章 , , ,	
	【予習】テキストP87～103を読むこと。	60分
	【復習】テキストP131, 132の「おさらいテスト」に取り組む。	60分

第8回	保育・保健活動における組織的活動や多職種連携について 「子どもの健康と安全 演習ノート」テキスト 第6章 子どもの継続的な健康支援のために必要な多職種連携のあり方についてグループディスカッションし、その内容をグループ毎に発表する。	
	【予習】テキストP111～122を読むこと。	30分
	【復習】最終課題を提示する（課題レポート）。	120分
第9回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ~ について、期末試験50%、レポート40%、受講状況（授業態度等）10%で総合的に評価する。なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。ディプロマポリシー 人間性：30% 社会性：20% 専門性：50%		
使用資料 <テキスト>	授業で現場で役に立つ！子どもの健康と安全 演習ノート 初版（診断と治療社）	使用資料 <参考図書>	必要に応じて適宜授業内で伝える。
授業外学修等	毎回の予習・復習内容をよく読んで取り組んでください。モデル人形や学生同士で演習を実施する場合がありますので、動きやすい服装で出席してください。演習内容については事前にお知らせします。		
授業外質問方法	質問、疑問、意見などは毎回配布する受講カードに記入してください。また、質問についてはメールでも問い合わせ可能です。境のアドレスは初回授業でお伝えします。		
オフィス・アワー	授業前または終了後、非常勤講師控え室または教室で対応します。		

授業科目名	生活	科目コード	K1202P38
英文名	Life Environment Studies		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	准教授 非常勤講師	担当教員名	石倉 卓子 水上 義行
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	幼児期から児童期への円滑な移行を目指す方を明らかにするため、幼児教育施設における生活や生活科誕生の背景、幼児期や小学校低学年の発達段階での学びを踏まえて、体験的な学習活動を重視した生活科の役割を理解する。			
-------	--	--	--	--

キーワード	生活	生活科	低学年	幼稚園教育	体験的な学習
-------	----	-----	-----	-------	--------

到達目標	幼児期における生活、領域と教科の違い、幼小連携・接続の実態について理解することができる。(40%)
	生活科の誕生と幼児・児童の生活環境の変化を理解することができる。(30%)
	生活科の概要を理解し、具体的な活動や体験が重視される背景を、幼児期・児童期の学びからとらえることができる。(30%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
------	-------	-----	-------	-------	-------------------

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
------------	-----	-------	-------	-------

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
-------	-------	----------	--------	-------------	--------------

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1回～8回：石倉（幼稚園教諭・特別支援学校教諭の実務経験あり）、第9回～15回：水上（小学校校長の実務経験あり） 幼小連携・接続の必要性【石倉】	
	【予習】幼稚園教育要領解説「改訂の基本的な考え方」（p.2-9）、「小学校教育との接続に当たっての留意事項」（p.90-93）に目を通してくる。PC、スマホの充電（毎回）	90分
	【復習】授業についてノートにまとめる。 第3回に予定している幼児の生活（園内外）の記事を探しておく（web可）。新聞記事はAグループが4/19までの記事、Bグループは4/20から4/26までの間の話題をピックアップする。 新聞活用タイム記入用紙：全員、この欄の右にある「課題提出4」へお昼までに提出すること	90分
第2回	幼児期の特性と幼稚園教育の役割 -幼稚園教育要領及び園の画像から【石倉】 発表のグループ 例 当日はこのWordファイルに記入したものを画面共有して説明してもらいます。	
	【予習】幼稚園教育要領解説「幼児期の特性と幼稚園教育の役割」（p.10-21）に目を通してくる。 幼稚園教育要領解説「教師の役割」（p.45-49）に目を通してくる。	90分
	【復習】授業についてノートにまとめる。	90分
第3回	園内外の活動や行事から幼児の生活を知る -新聞活用タイム【石倉】 グループで共有した後、数人に新聞記事を紹介してもらいます。	
	【予習】一人一記事をレポートにまとめてくる。幼稚園教育要領解説「家庭や地域社会との連携」（p.133-135）、「学校間の交流や障害のある幼児との活動を共にする機会」（p.136-137）に目を通してくる。	90分
	【復習】授業についてノートにまとめる。	90分
第4回	幼児教育における「領域」と小学校教育における「教科」の違い -遊びを通じた経験の総合性の視点から【石倉】 河邊貴子『遊びを中心とした保育』領域と教科の違い（総合的な学びの保障） 違いについて発表してもらいますので、『幼稚園教育要領解説』『小学校学習指導要領』を持参してください。	
	【予習】テキストから、幼児にとってなぜ遊びが大切なのか、領域・教科とは何かを予習してくる。	90分
	【復習】授業についてノートにまとめる。	90分
第5回	幼小接続を幼児教育の遊びの視点から考える -全国の取り組みから【石倉】 DVD視聴「幼児教育から小学校教育へ」 通信状態によって変更になることがあります。 グループごとにネット検索等で情報を得て話し合い、代表グループに各1事例を発表してもらいます。 文部科学省「幼児期の教育と小学校教育の接続について」参照 富山県「わくわく・きときと接続ガイド」参照 「幼児教育での育ちを踏まえた小学校教育の展開」発表：全11班（各班説明2分以内、寸劇5分以内で発表：5領域の内容と第1学年の教科の内容をつなげて、幼小場面をそれぞれ寸劇風に発表する）	
	【予習】幼小接続の取り組みを行っている様々な幼稚園・こども園などについて調べる。3つの資質・能力（幼稚園教育要領解説p.4）、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（幼稚園教育要領解説p.50-73）に目を通してくる。PCを充電して持参する。	90分
	【復習】授業についてノートにまとめる。 1～4班のリーダーは、3日前までに、演じる内容をこのWordファイルに記入してishikura@tuins.ac.jpに送信すること。当日、画面共有して説明してもらいます。	90分
第6回	遊びを通じた学びを踏まえた教科へ（1～4班）【石倉】 『幼稚園教育要領解説』『小学校学習指導要領』を持参 グループごとに一つの遊びを取り上げ、領域のねらいと内容について討論し、小学校以上の教科とのつながりについて考え、演じて発表します。 本日の意見・感想はこの5/24Formsへ18:30までに入力・送信すること。 長くても300字以内で収めること。	
	【予習】選定した遊びとそれを踏まえた教科の内容について、5領域や教科のねらいや内容を確認し、記入したデータを3日前までに教員へFormsで送信し、発表の練習をする。	90分
	【復習】授業についてノートにまとめる。 今日の発表内容を、資質・能力、幼児期の終わりまでに育てたい姿の視点からも考えてみる。 5～8班のリーダーは、3日前までに、演じる内容をこのWordファイルに記入し、ishikura@tuins.ac.jpへ送信すること。当日、画面共有して説明してもらいます。	90分

第7回	遊びを通した学びを踏まえた教科へ (5～8班) [石倉] 『幼稚園教育要領解説』『小学校学習指導要領』を持参 グループごとに一つの遊びを取り上げ、領域のねらいと内容について討論し、小学校以上の教科とのつながりについて考え、演じて発表します。 本日の意見・感想はこの5/31Foamsへ18:30までに入力・送信すること。 長くても300字以内で収めること。	
	【予習】選定した遊びとそれを踏まえた教科の内容について、5領域や教科のねらいや内容を確認し、記入したデータを3日前までに教員へFormsで送信し、発表の練習をする。	90分
	【復習】授業についてノートにまとめる。 今日の発表内容を、資質・能力、幼児期の終わりまでに育てたい姿の視点からも考えてみる。 9～11班のリーダーは、3日前までに、演じる内容をこのWordファイルに記入し、ishikura@tuins.ac.jpへ送信すること。当日、画面共有して説明してもらいます。	90分
第8回	遊びを通した学びを踏まえた教科へ (9～11班) [石倉] 『幼稚園教育要領解説』『小学校学習指導要領』を持参 グループごとに一つの遊びを取り上げ、領域のねらいと内容について討論し、小学校以上の教科とのつながりについて考え、演じて発表します。 本日の意見・感想はこの6/7Foamsへ18:30までに入力・送信すること。 長くても300字以内で収めること。	
	【予習】選定した遊びとそれを踏まえた教科の内容について、5領域や教科のねらいや内容を確認し、記入したデータを3日前までに教員へFormsで送信し、発表の練習をする。	90分
	【復習】授業についてノートにまとめる。 今日の発表内容を、資質・能力、幼児期の終わりまでに育てたい姿の視点からも考えてみる。 石倉課題：全3回(5/24,5/31,6/7)のFormsへの感想をレポートに替える。	90分
第9回	子どもの生活環境の変化と生活科誕生への道筋 [水上]	
	【予習】生活科が新たな教科として生まれた経緯について調べておく。	90分
	【復習】低学年社会科や低学年理科と、生活科との違いについてまとめる。	90分
第10回	小学校学習指導要領・生活1・2年生 [水上]	
	【予習】平成29年版学習指導要領の内容や、生活科の見方考え方について調べておく。	90分
	【復習】平成29年版小学校学習指導要領生活科についてその特徴をまとめる。	90分
第11回	生活科学習の変遷 [水上]	
	【予習】平成元年から現在に至る小学校学習指導要領生活科の内容について整理しておく。	90分
	【復習】平成元年から現在に至る生活科の中で、特に変化していない内容等について理解する。	90分
第12回	生活科の授業の実際 [水上]	
	【予習】生活科指導案をもとに、生活科授業のねらいと活動を理解しておく。	90分
	【復習】生活科授業の特徴を、他教科と比較して明確にする。	90分
第13回	スタートカリキュラムと生活科 [水上]	
	【予習】幼保小接続に関するアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの趣旨について知っておく。	90分
	【復習】スタートカリキュラムとしての生活科について、留意点をまとめる。	90分
第14回	生活科学習がもたらしたもの [水上]	
	【予習】生活科から各教科への接続について考えをまとめておく。	90分
	【復習】生活科とそれ以外の教科等の共通点、相違点を明確にまとめる。	90分

	生活科から総合的な学習へ [水上]	
第15回	【予習】生活科の役割と、総合的な学習の時間の役割との異同を明確にしておく。	90分
	【復習】教科学習の入口としての生活科について、実践上の留意点を整理する。	90分
第16回	定期試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ~ について、レポート60%、平常の受講態度（講義中の発表や講義後の感想等）40%で評価する。（水上・石倉がそれぞれレポート30%、受講態度20%で合算する）到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：20%、社会性：20%、専門性60%）		
使用資料 <テキスト>	文部科学省 平成30年『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館）、文部科学省 平成2	使用資料 <参考図書>	厚生労働省 平成30年『保育所保育指針解説』（フレーベル館）、内閣府・文部科学
授業外学修等	小学校や幼稚園の公開研究会などに積極的に参加したり、身の回りの自然や社会事象への関心をもつこと。 現場への訪問が叶わない場合は、小学校、保育・幼児教育施設のHPを大いに活用して、生活を探る。		
授業外質問方法	【石倉】授業の前後、オフィスアワー、メール（ishikura@tuins.ac.jp）などを利用して質問してください。		
オフィス・アワー	石倉：水曜日5限（E-403石倉研究室）		

授業科目名	音楽 (A)	科目コード	K1202P40
英文名	Music II		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	教授 非常勤講師 非常勤講師	担当教員名	堀江 英一 佐々木 ゆき子 大村 禎子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>音楽 における学習を踏まえ、1コマの半分は子どもの歌の課題を中心に、ピアノ演奏の習熟度別2グループに分かれて演習を行い、ピアノと歌唱を通して、保育・教育に必要な音楽の技能をさらに幅広く学び、表現力をより高める。1コマの半分はリトミックやボディパーカッションを中心とした多様な音楽表現活動を学習する。(50%) (堀江英一：中学校、高等学校での実務経験あり)</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	ピアノ	リトミック	歌唱	ボディパーカッショ
-------	-----	-------	----	-----------

到達目標	<p>音楽 における学習を子どもの歌の課題などを通してさらに幅広く学び、保育・教育に必要な音楽の表現力をより高めることを目標とする。授業では、子どもの歌及びピアノ曲を課題として、ピアノ奏法、歌唱法、器楽奏法、身体表現について学習し、小学校、幼稚園、保育所での音楽表現活動に必要な実践力を身につける。(50%)</p>			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	指導（佐々木）：オリエンテーション 指導（堀江）：オリエンテーション 指導（大村）：オリエンテーション	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（先生とおともたち） 指導（堀江）：ピアノ（日のまる 他3曲） 指導（大村）：リトミック（音の階段・音とハンドサイン） フィードバック 以下、模範演奏を行い、学生の演奏に助言をします。	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	
第3回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（おはなしゆびさん） 指導（堀江）：ピアノ（春が来た 他3曲） 指導（大村）：リトミック（リズムと指揮）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第4回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（カレンダー・マーチ） 指導（堀江）：ピアノ（こおろぎ 他3曲） 指導（大村）：歌唱指導とリトミック（2拍子のダンス）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第5回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（ガンバリマンのうた） 指導（堀江）：ピアノ（世界中のこどもたち 他3曲） 指導（大村）：歌唱指導とリトミック（2・3拍子のダンス）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第6回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（ふうせん） 指導（堀江）：ピアノ（線路はつづくよ 他3曲） 指導（大村）：歌唱指導とリトミック（4拍子のダンス）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第7回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（アイアイ） 指導（堀江）：ピアノ（手のひらを太陽に 他3曲） 指導（大村）：歌唱指導とリトミック（6 / 8 拍子のダンス 他）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分

第8回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（おかあさん） 指導（堀江）：ピアノ（たなばたさま 他3曲） 指導（大村）：歌唱指導とリトミック（いろいろなりズム）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第9回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（手のひらを太陽に） 指導（堀江）：ピアノ（とんぼのめがね 他2曲） 指導（大村）：ボディパーカッション（サークルパニック）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第10回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（大きな古時計） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（日のまる、大きなたいこ） 指導（大村）：ボディパーカッション（伝言リズム）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第11回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（ドレミの歌） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（春が来た、こおろぎ） 指導（大村）：ボディパーカッション（身体でドラムセット）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第12回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（みんなともだち） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（うさぎ、どんぐりころころ） 指導（大村）：ボディパーカッション（ポデッパノロック）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第13回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（山のワルツ） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（子もり歌、七つの子） 指導（大村）：ボディパーカッション（ボイス・アンサンブル）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	
第14回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（ヤッホッポ！なつやすみ） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（越天楽今様、まつぼっくり） 指導（大村）：創作発表会（ボディPアンサンブルA）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	

第15回	指導（佐々木）：成果発表 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（おぼろ月夜、とんぼのめがね） 指導（大村）：創作発表会（ボディPアンサンブルB）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平素の授業に取り組む姿勢（50%）及び技能の習得度（50%）により総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。
------	---

使用資料 <テキスト>	初等科音楽教育研究会編『最新小学校音楽科教育法』（音楽之友社）、井口太代表著	使用資料 <参考図書>	参考資料（楽譜等）を適宜配布
----------------	--	----------------	----------------

授業外学修等	音楽 の単位修得者が履修できます。各回の課題を練習して授業に臨んでください。筆記用具を持参してください。
--------	--

授業外質問方法	堀江 horie@tuins.ac.jp 佐々木・大村 授業終了後
---------	-----------------------------------

オフィス・アワー	火曜3限
----------	------

授業科目名	音楽 (B)	科目コード	K1202P40
英文名	Music II		

科目区分	子ども育成の内容・方法
------	-------------

職名	教授 非常勤講師 非常勤講師	担当教員名	堀江 英一 佐々木 ゆき子 大村 禎子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>音楽 における学習を踏まえ、1コマの半分は子どもの歌の課題を中心に、ピアノ演奏の習熟度別2グループに分かれて演習を行い、ピアノと歌唱を通して、保育・教育に必要な音楽の技能をさらに幅広く学び、表現力をより高める。1コマの半分はリトミックやボディパーカッションを中心とした多様な音楽表現活動を学習する。 (堀江英一：中学校、高等学校での実務経験あり)</p>		
-------	--	--	--

キーワード	ピアノ	リトミック	歌唱	ボディパーカッショ
-------	-----	-------	----	-----------

到達目標	<p>音楽 における学習を子どもの歌の課題などを通してさらに幅広く学び、保育・教育に必要な音楽の表現力をより高めることを目標とする。授業では、子どもの歌及びピアノ曲を課題として、ピアノ奏法、歌唱法、器楽奏法、身体表現について学習し、小学校、幼稚園、保育所での音楽表現活動に必要な実践力を身につける。</p>			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	指導（佐々木）：オリエンテーション 指導（堀江）：オリエンテーション 指導（大村）：オリエンテーション	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（先生とおともたち） 指導（堀江）：ピアノ（日のまる 他3曲） 指導（大村）：リトミック（音の階段・音とハンドサイン） フィードバック 以下、模範演奏と学生の演奏に対して助言をします。	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	
第3回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（おはなしゆびさん） 指導（堀江）：ピアノ（春が来た 他3曲） 指導（大村）：リトミック（リズムと指揮）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第4回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（カレンダー・マーチ） 指導（堀江）：ピアノ（こおろぎ 他3曲） 指導（大村）：歌唱指導とリトミック（2拍子のダンス）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第5回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（ガンバリマンのうた） 指導（堀江）：ピアノ（世界中のこどもたち 他3曲） 指導（大村）：歌唱指導とリトミック（2・3拍子のダンス）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第6回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（ふうせん） 指導（堀江）：ピアノ（線路はつづくよ 他3曲） 指導（大村）：歌唱指導とリトミック（4拍子のダンス）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第7回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（アイアイ） 指導（堀江）：ピアノ（手のひらを太陽に 他3曲） 指導（大村）：歌唱指導とリトミック（6 / 8拍子のダンス 他）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分

第8回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（おかあさん） 指導（堀江）：ピアノ（たなばたさま 他3曲） 指導（大村）：歌唱指導とリトミック（いろいろなりズム）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第9回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（手のひらを太陽に） 指導（堀江）：ピアノ（とんぼのめがね 他2曲） 指導（大村）：ボディパーカッション（サークルパニック）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第10回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（大きな古時計） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（日のまる、大きなたいこ） 指導（大村）：ボディパーカッション（伝言リズム）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第11回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（ドレミの歌） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（春が来た、こおろぎ） 指導（大村）：ボディパーカッション（身体でドラムセット）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第12回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（みんなともだち） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（うさぎ、どんぐりころころ） 指導（大村）：ボディパーカッション（ポデッパノック）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第13回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（山のワルツ） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（子もり歌、七つの子） 指導（大村）：ボディパーカッション（ボイス・アンサンブル）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	
第14回	指導（佐々木）：ピアノ・歌唱・身体表現（ヤッホッポ！なつやすみ） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（越天楽今様、まつぼっくり） 指導（大村）：創作発表会（ボディPアンサンブルA）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	

第15回	指導（佐々木）：成果発表 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（おぼろ月夜、とんぼのめがね） 指導（大村）：創作発表会（ボディPアンサンブルB）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平素の授業に取り組む姿勢（50%）及び技能の習得度（50%）により総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学の成績評価基準に従って評価する。
------	--

使用資料 <テキスト>	初等科音楽教育研究会編『最新小学校音楽科教育法』（音楽之友社）、井口太代表著	使用資料 <参考図書>	参考資料（楽譜等）を適宜配布
----------------	--	----------------	----------------

授業外学修等	音楽 の単位修得者が履修できます。各回の課題を練習して授業に臨んでください。筆記用具を持参してください。
--------	--

授業外質問方法	堀江 horie@tuins.ac.jp 佐々木・大村 授業終了後
---------	-----------------------------------

オフィス・アワー	火曜3限
----------	------

授業科目名	保育所実習指導	科目コード	K1302F01
英文名	Guidance on Day Nursery Practical Training I		

科目区分	子ども育成の実習		
------	----------	--	--

職名	講師 准教授	担当教員名	竹田 好美 本江 理子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日 水曜日	時限	1限目 3限目
開講時期	2年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	1単位

授業の概要	<p>保育所実習 の事前事後指導として行う。事前指導においては、保育所における実習の意義や目標、実習の心得、実習の段階や方法等について学習する。事後指導においては、各自の学習成果のまとめや実習課題の確認を行い、今後の学習に役立てる。 (科目担当教員：保育所や幼稚園での実務経験あり)</p>		
-------	---	--	--

キーワード	保育所の機能・役割	保育士の職務内容	3歳未満児の生活と遊		
-------	-----------	----------	------------	--	--

到達目標	保育所の目的や機能及び社会的役割について理解することができる。(15%)				
	保育士の基本的な職務内容や役割、基本的な援助や指導のあり方を理解し、必要な書類を作成したり実習に向けて準備したりすることができる。(50%)				
	保育所実習 の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にすることができる。(35%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育所実習 の概要と保育所実習 および事前事後指導の流れ 授業計画に関しては、別途配布資料の日程表の通りに行います。 日程表 第1回資料 2020年度 保育所実習の手引き(一部)	
	【予習】1年次の保育関係の授業を振り返っておく。学生便覧を読んでおく。	90分
	【復習】第1回の授業の内容についてまとめる。	90分
第2回	保育所実習の目的 授業計画修正版 第2回資料 自己紹介シートは、第2回の課題1にアップロードして下さい。〆切は4月22日(木)です。	
	【予習】保育の実習の目的について考えておく。	90分
	【復習】第2回の授業の内容についてまとめる。	90分
第3回	保育所の一般的理解 第3回資料	
	【予習】保育所の制度や保育内容・方法についてまとめておく。	90分
	【復習】第3回の授業の内容についてまとめる。	90分
第4回	実習の心構え 第4回資料 第4回資料 第4回資料 Forms課題	
	【予習】保育所実習における心構えや配慮すべきことを考えておく。	90分
	【復習】第4回の授業の内容についてまとめる。 課題 ワークシート(1日の流れ) 課題 漢字練習	90分
第5回	保育所実習の実際 第5回資料 第5回課題 0,1歳児クラス 第5回課題 1歳児クラス	
	【予習】実習の手引きを読んでおく。	90分
	【復習】第5回の授業の内容についてまとめる。 第5回課題 2歳児クラス 第5回課題 漢字練習	90分
第6回	実習配属先保育所の概要 第6回資料 指導案様式 漢字課題	
	【予習】自分の近所にある保育所等の情報を集めておく。	90分
	【復習】第6回の授業の内容についてまとめる。実習先の保育所についてまとめておく。 実習に向けての心構えを確認したり、必要な書類を整えたり、服装や持ち物等を準備したりする。	90分
第7回	保育所実習特別講義 (保育所実習の意義) 第7回資料 2021保育所実習 の流れ	
	【予習】保育所実習の意義について考えておく。	90分
	【復習】第7回の授業の内容についてまとめる。 実習に向けての心構えを確認したり、必要な書類を整えたり、服装や持ち物等を準備したりする。 実習施設概要レポート 事前打ち合わせ調査用紙	90分

第8回	保育所実習特別講義（保育所実習の概要） 第8回資料 第8回資料	
	【予習】保育所実習で取り組む必要がある内容について考えておく。	90分
	【復習】第8回の授業の内容についてまとめる。 実習に向けての心構えを確認したり、必要な書類を整えたり、服装や持ち物等を準備したりする。	90分
第9回	実習日誌の書き方 特別講義「充実した保育実習を目指して」 富山市立雲雀ヶ丘保育所 所長 大村純子先生 第9回資料	
	【予習】実習日誌の書き方の教科書を読んでおく。	90分
	【復習】第9回の授業の内容についてまとめる。 実習に向けての心構えを確認したり、必要な書類を整えたり、服装や持ち物等を準備したりする。	90分
第10回	指導案の書き方 第10回資料	
	【予習】指導案の書き方の教科書を読んでおく。	90分
	【復習】第10回の授業の内容をまとめる。部分実習指導案を作成する。 実習に向けての心構えを確認したり、必要な書類を整えたり、服装や持ち物等を準備したりする。	90分
第11回	実習課題の明確化 先輩に聞く 授業日変更 7月5日(月)2限 第11回資料 先輩にきく グループ	
	【予習】実習の課題について考えておく。	90分
	【復習】第11回の授業の内容をまとめる。実習生個人票を作成する。 実習に向けての心構えを確認したり、必要な書類を整えたり、服装や持ち物等を準備したりする。	90分
第12回	実習開始に向けて 第12回資料 細菌検査について 実習対応指針	
	【予習】実習先へ事前訪問を行い、実習の内容についてまとめておく。実習施設概要レポートを作成する。	90分
	【復習】第12回の授業の内容をまとめる。 実習に向けての心構え、実習に必要な書類や、服装・持ち物等の最終チェックを行う。	90分
第13回	実習の振り返りと自己評価 第13回資料	
	【予習】実習のまとめを作成する。実習の反省・自己評価をまとめておく。	90分
	【復習】第13回の授業の内容をまとめる。	90分
第14回	今後の自己課題の明確化 第14回資料 実習のまとめ	
	【予習】今後の課題について考えておく。	90分
	【復習】第14回の授業の内容をまとめる。 保育所実習 配属表_20210924版	90分
第15回	実習の総括 第15回資料 欠席届 記入例	
	【予習】実習で学んだことと今後の課題を発表できるようにしておく。	90分
	【復習】第15回の授業の内容をまとめる。 今後の学習に向けた課題や目標を明確にし、取り組む。	90分

第16回	試験は行わない	
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	
第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	

第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	
第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	
第30回		
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（受講態度等）（50％）、レポート（実習事後レポート）（50％）で総合的に評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	開仁志編著『実習日誌の書き方～幼稚園・保育所・施設実習完全対応～』（一藝	使用資料 <参考図書>	厚生労働省『保育所保育指針解説』平成30年（フレール館）
授業外学修等	上記時間外においても、実習内容などに関して予習、復習等に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	メール又はオフィスアワーの時間に直接研究室を訪ねて質問してください。 竹田（takeda@tuins.ac.jp） 本江（ri4hongo@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	前期 ... 月曜 4限（竹田） ・ 木曜 2限（本江） 後期 ... 水曜 4限（竹田） ・ 水曜 2限（本江）	竹田研究室（E301）	・ 本江研究室（E402）

授業科目名	施設実習指導	科目コード	K1302F05
英文名	Guidance on Practical Training in Residential Care I		

科目区分	子ども育成の実習		
------	----------	--	--

職名	教授 教授	担当教員名	宮田 徹 室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日 月曜日	時限	5限目 5限目
開講時期	2年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	1単位

授業の概要	施設実習（実習期間：2021年11月8日～19日）の事前事後指導として行う。事前指導においては、児童福祉施設等における実習の意義や目標、実習の段階や方法、実習の心得等について学習する。事後指導においては、各自の実習課題の確認や実習成果のまとめを行い、今後の学習に役立てる。（担当教員：福祉分野での実務経験あり）		
-------	---	--	--

キーワード	施設保育士	児童福祉施設			
-------	-------	--------	--	--	--

到達目標	児童福祉施設等の目的や機能及び社会的役割について基本的事項を理解し、説明できる。（50%）				
	保育士の基本的な職務内容や役割について、基本的な援助や指導の在り方を理解し、説明できる。（50%）				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1回オリエンテーション(目的・心構え等) 「実習の手引き(前年度版)」を使って説明 【資料】実習の手引き(前年度版) / 配布用シラバス(通年) / 施設実習 の流れ	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	児童福祉施設等の一般的理解(1)施設実習の予備知識 DVD視聴 (記録用紙)	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	児童福祉施設等の一般的理解(2)乳児院・児童養護施設 「社会的養護」 スライド / DVD視聴(記録用紙 乳児院用 児童養護施設用)	
	【予習】印刷用	
	【復習】厚生労働省ホームページ 社会的養護 (参考)資料集「社会的養育の推進に向けて(令和2年10月)」厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課	
第4回	児童福祉施設等の一般的理解(3)障害児施設 「障害児支援」 スライド / DVD視聴(記録用紙)	
	【予習】印刷用	
	【復習】厚生労働省ホームページ 障害児支援施策	
第5回	知的障害について 【資料】「知的障害について」講義(PPT資料) / 発達段階	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	発達障害について 【資料】「発達障害について」講義(PPT資料) / 発達障害の新たな分類	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	発達障害の理解と支援 【資料】DVD視聴「記録用紙」	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	障害児・者の施設について 【資料】「障害児・者の施設」講義(PPT資料)	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	発達障害の理解 動画視聴「自閉症スペクトラム」	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	実習施設紹介 実習施設希望調査 【資料】2021年度「施設実習」実習施設一覧 住所等 詳細	
	【予習】	
	【復習】 「施設実習」実習施設希望調査【回答期限：7/5(月) 18:00】 (Google フォームへ)	
第11回	実習日誌の書き方	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	活動計画書の書き方 / 実習計画書の書き方 「活動計画書について」 【資料】「活動計画書について」講義 (PPT資料) 」 「実習計画書について」 【資料】「実習計画書について」講義 (PPT資料) 」 「実習計画書 (例) 」 「実習計画書 (様式) 」	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	実習計画書作成 (1) 「実習計画書」と「事前学習」を7/26(月)までに Webシラバス第13回の に提出。 「実習計画書」 : 「実習計画書 (実習施設名) 」 (Wordファイル。学籍番号+氏名は自動付与される) 「事前学習」 : 「事前学習 (実習施設名) 」 (PDFファイル。学籍番号+氏名は自動付与される。) 「事前学習」の形式は自由。Word、PowerPoint、OneNote その他のアプリで自由に作成し、PDF化して提出。 実習配属発表 2021(令和3)年度「施設実習」実習施設 (配属)一覧 授業中に発表します 実習施設一覧 (住所等・詳細)	
	【予習】	
	【復習】 「実習計画書」 (様式)	
第14回	実習計画書作成 (2) 見直し、修正、確認した「実習計画書」を改めて、7/30(金)までに、Webシラバス第14回の に提出。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	実習計画書作成 (3) 「実習計画書」 添削して返却予定 (再度見直し・修正が必要な場合もある) 8/4に授業はありません。(実習計画書の添削提出等がある場合に備えて、この回を確保してあるものです)	
	【予習】	
	【復習】	

第16回	第2回オリエンテーション	
	【予習】	
	【復習】	
第17回	実習計画書作成(4) 最終確認	
	【予習】	
	【復習】	
第18回	特別講義(1)	
	【予習】	
	【復習】	
第19回	特別講義(2)	
	【予習】	
	【復習】	
第20回	第3回オリエンテーション(実習前確認) 施設実習(2021/11/8~11/19)	
	【予習】	
	【復習】	
第21回	成果と課題の確認(1) 事後報告	
	【予習】	
	【復習】	
第22回	成果と課題の確認(2) 「実習のまとめ」作成	
	【予習】	
	【復習】	
第23回	成果と課題の確認(3) 「実習のまとめ」+実習日誌提出	
	【予習】	
	【復習】	
第24回	施設実習報告会準備(1)PPT作成	
	【予習】	
	【復習】	

第25回	施設実習報告会準備（2）PPT作成、発表練習	
	【予習】	
	【復習】	
第26回	施設実習報告会準備（3）PPT作成、発表練習	
	【予習】	
	【復習】 報告会用PPTファイル提出 【期限：1/11(火)】 実習施設ごとに宮田（tmiyata@tuins.ac.jp）へ	
第27回	施設実習報告会準備（4）発表練習、報告会資料製本 「施設実習」報告会実施要項（役割分担表あり）	
	【予習】	
	【復習】	
第28回	施設実習報告会準備（5）運営打合せ・全体リハーサル	
	【予習】	
	【復習】	
第29回	施設実習 報告会 【2022/1/26(水)1限】 クラス分けは 実施要項 を参照。報告会資料（6in1） 感想アンケート（Forms）へのリンク（1,2年生ともに回答してください）	
	【予習】	
	【復習】	
第30回	総括 「施設実習指導」のふりかえり」提出（課題用紙は当日配布します） （その他）期末の「授業アンケート」に回答をお願いします。	
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 1 及び2は受講態度 (40%)、レポート(60%) で総合的に評価する。 なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性20% 社会性20% 専門性：60%</p>		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	<p>上記時間外においても、実習内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。子ども育成学部履修規程にある保育士養成課程の部分をよく読んでおくこと。</p>		
授業外質問方法	<p>時間外の質問はメールで受け付けます。宮田 (tmiyata@toyama-c.ac.jp)、室林 (muro@tuins.ac.jp)</p>		
オフィス・アワー	<p>水曜日2限, E507宮田研究室</p>		

授業科目名	施設実習	科目コード	K1302L07
英文名	Practical Training in Residential Care I		

科目区分	子ども育成の実習
------	----------

職名	教授 教授	担当教員名	宮田 徹 室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>保育所以外の児童福祉施設等における実習を通して、施設の役割や機能を具体的に理解するとともに、観察や子ども・利用者との関わりを通して子ども・利用者への理解を深める。また、既習の教科目の内容を踏まえ、施設における子ども・利用者の生活と環境について総合的に理解し、支援計画・記録及び自己評価等について具体的に理解する。あわせて、保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。（担当教員：福祉分野での実務経験あり）</p>		
-------	---	--	--

キーワード	施設保育士	児童福祉施設			
-------	-------	--------	--	--	--

到達目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する（35%）
	個別的なかわりや集団における活動等での観察及び実践を通して、子ども・利用者の生活や発達の特徴を理解する（35%）
	職員（保育士・指導員等）の基本的な職務内容や役割、他の職員とのチームワークなどについて、観察や補助的な体験を通して理解する（30%）

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	「人」としての資質・能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(授業計画は、10日間の実習プログラムの計画案であり、それぞれの内容は実習施設により適宜変更される) オリエンテーション・見学 観察実習	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	観察実習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	参加実習 (場合により簡単な部分的な指導実習含む)	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	参加実習（場合により簡単な部分的な指導実習含む） 反省会	
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 は実習評価表（100%）に基づき総合的に評価する。 なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性30% 社会性30% 専門性：40%</p>		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	特になし
授業外学修等	実習科目のため非該当		
授業外質問方法	実習中、必要に応じて、科目担当教員または訪問指導担当教員に連絡すること。		
オフィス・アワー	実習科目のため非該当		

授業科目名	保育所実習	科目コード	K1302P03
英文名	Day Nursery Practical Training I		

科目区分	子ども育成の実習
------	----------

職名	講師 准教授	担当教員名	竹田 好美 本江 理子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	実際の教育現場において、大学で学んだ理論や知識を生かすとともに、教育の現場に触れながら教育の実践的な知識、技能等の基礎を修得する。		
-------	---	--	--

キーワード	保育所の機能・役割	保育士の職務内容	3歳未満児の生活と遊		
-------	-----------	----------	------------	--	--

到達目標	保育所の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。(30%)
	保育所における乳幼児の生活や遊びの姿について具体的な理解を深めるとともに、必要な養護や教育の基本的内容を、観察や参加を通して理解する。(40%)
	保育士の基本的な職務内容・役割について現場保育士からの指導を受けるとともに、観察や補助的な経験を通して、基本的な心構えを身につける。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(授業計画は、10日間の実習プログラムの計画案であり、それぞれの内容は実習施設により適宜変更される) オリエンテーション・見学 観察実習	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	観察実習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	参加実習 (場合により簡単な部分的な指導実習含む)	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	参加実習（場合により簡単な部分的な指導実習含む） 反省会	
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 は実習評価表（100％）に基づき総合的に評価する。 なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性30% 社会性30% 専門性：40%</p>		
使用資料 <テキスト>	なし	使用資料 <参考図書>	厚生労働省『保育所保育指針解説』平成30年（フレール館）
授業外学修等	実習科目のため非該当		
授業外質問方法	実習中、必要に応じて、実習指導「教員または訪問指導担当教員に連絡すること。		
オフィス・アワー	実習科目のため非該当		

授業科目名	子ども家庭支援の心理学	科目コード	K1402L02
英文名	Psychology for Child and Family Support		

科目区分	子どもの発達と環境
------	-----------

職名	准教授 非常勤講師	担当教員名	大平 泰子 根塚 明子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>生涯発達それぞれの発達段階の特徴、家族・家庭の意義や役割、子育て家庭を取り巻く状況、多様な家庭、子どもの精神保健などについて解説する。 (担当教員 大平：心理職として医療機関等での実務経験あり) (担当教員 根塚：心理職として医療機関等での実務経験あり)</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	生涯発達	家族	家庭	子育て	精神保健
-------	------	----	----	-----	------

到達目標	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、各時期の移行、発達課題等について理解できる。(30%)
	家族・家庭の意義や機能、親子関係や家族関係について理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を持つことができる。(30%)
	子育て家庭をめぐる社会状況や課題を理解できる。(30%)
	子どもの精神保健について理解できる。(10%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(大平) オリエンテーション、生涯発達とは何か	
	【予習】テキストを読んで、授業内容について大まかなイメージを持つ。	90分
	【復習】配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第2回	(大平) 乳幼児期から学童期前期にかけての発達	
	【予習】授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第3回	(大平) 学童期後期から青年期にかけての発達	
	【予習】授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第4回	(大平) 成人期・老年期における発達	
	【予習】授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第5回	(大平) 子育てを取り巻く社会的状況	
	【予習】授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第6回	(大平) 家族・家庭の意義と機能、親子・家族関係の理解	
	【予習】授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第7回	(大平) 子育ての経験と親としての育ち	
	【予習】授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第8回	(根塚) 多様な家庭形態とその理解	
	【予習】知的能力について、事前に調べる。	90分
	【復習】知的能力について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第9回	(根塚) 特別な配慮を必要とする家庭	
	【予習】授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分

第10回	(根塚) 発達支援の必要な子どもがいる家庭	
	【予習】 授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】 配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第11回	(根塚) 子どもの精神保健	
	【予習】 授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】 配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第12回	(根塚) 振り返りとまとめ	
	【予習】 これまでの学習内容を振り返る。	90分
	【復習】 理解が不十分な点について、知識の整理をする。	90分
第13回	(大平) 発達特性の把握	
	【予習】 授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】 配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第14回	(大平) 保育における子どもと家庭の支援	
	【予習】 授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】 配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第15回	(大平) 振り返りとまとめ	
	【予習】 授業で取り上げる内容について、事前に調べる。	90分
	【復習】 理解が不十分な点について、知識の整理をする。	90分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 1, 2, 3, 4 について、根塚担当分は授業内課題(100%)で、大平担当分はレポート(100%)で評価する。 なお、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。 専門性：100%</p>		
使用資料 <テキスト>	青木紀久代編「子ども家庭支援の心理学」 (みらい)	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	授業の内容を復習しておくこと。		
授業外質問方法	授業終了後に教室で、および随時研究室で受け付ける。		
オフィス・アワー	(大平)水曜2限、(根塚)授業終了後		

授業科目名	幼児理解	科目コード	K1402L03
英文名	Understanding of Infants		

科目区分	子どもの発達と環境
------	-----------

職名	准教授 非常勤講師	担当教員名	河崎 美香 嶋野 珠生
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>幼児理解は、幼稚園教育のあらゆる営みの基本となるものである。乳幼児期の親子関係、幼児の発達の原理や基盤となる理論の知識を身に付け、幼児理解を深めるための保育者の見方や関係論的視点について理解する。幼稚園における幼児の生活や遊びの実態に即して、幼児の発達や学び及びその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考えることができる。幼児理解に関連する具体的実践事例を通し、保護者支援や特別支援教育との関連を理解する。(担当教員：1～10回 幼稚園教諭の実務経験あり、11～15回 保育巡回相談及び保育カウンセラーとしての実務経験あり)</p>				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	幼児の発達	幼児の生活と遊び	学びの過程	具体的実践力	関係論的視点
-------	-------	----------	-------	--------	--------

到達目標	幼児理解の意義を理解し、幼児の発達や学びを捉える原理を理解することができる。(20%)				
	幼児理解を深めるための教師の基礎的態度を理解することができる。(20%)				
	幼児理解のための観察記録や観察法、個と集団の関係を捉える意義や方法等、幼児理解の方法を具体的に理解することができる。(20%)				
	幼児の発達や学び、その過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考えることができる。(20%)				
	保護者の心情や基礎的な対応の方法を理解することができる。(20%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本講義の概要、幼児理解の必要性 (河崎美香) 幼児教育における幼児理解の概観と、本講義の流れを理解する。 幼児期にふさわしい生活として、乳幼児期の発達課題や自発的使用の原理等の視点から幼児理解の意義、必要性を理解する。	
	【予習】テキスト第1章を読む	90分
	【復習】幼児理解の必要性について整理する	90分
第2回	幼児教育の特質と幼児理解 (河崎美香) 幼児理解のあり方を幼児教育の特質と関連付け、小学校教育との違いや生涯学習の視点から学ぶ。 幼児の主体的な生活やプラスの原体験を育む生活の重要性及び学校生活の基盤となる力との関連について理解する。	
	【予習】幼児教育と小学校教育の共通点と違いについて調べる	90分
	【復習】幼児期の特質を整理し、幼児の主体的な生活やプラスの原体験を育む生活の重要性及び学校生活の基盤となる力についてまとめる	90分
第3回	保育者の姿勢と幼児に対する共感的理解 (河崎美香) 幼児理解を深めるための保育者の見方や基礎的な態度について学ぶ。保育者の役割としての信頼関係の確立や共感的理解の意義と方法について理解する。	
	【予習】テキスト第13章を読む	90分
	【復習】保育者の役割や態度、共感的理解や肯定的見方について整理する	90分
第4回	わが国の法規等から見た子ども観 (河崎美香) 学習指導要領全体の向かう方向性(「資質・能力」の3つの柱)、幼稚園教育要領に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等について学び、幼児理解を深める。	
	【予習】テキスト第4章を読む	90分
	【復習】「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について、各領域の相互性と総合性について関連付けて整理する	90分
第5回	「楽しさ」の教育的意義と幼児理解 (河崎美香) 指導計画のねらいや内容として「～を楽しむ」「楽しく～する」の記述について、「楽しさ」の教育的意義について、岸井勇雄の理論から学ぶ。子どもの生活や遊び場面の中の「楽しさ」について例示をもとに学び、保育者のあり方について理解を深める。	
	【予習】テキスト第2章3,4節、第5章1節を読む	90分
	【復習】楽しさの教育的意義について整理し、考察する	90分
第6回	個と集団の関係からみる幼児理解 個性と道徳性 (河崎美香) 事例「アリをめぐる生命の話し合い」「片付けも遊び」を取り上げ、個と集団の捉え方や幼児理解、援助について学ぶ。	
	【予習】テキスト第11章読む	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する	90分
第7回	個と集団の関係からみる幼児理解 幼児の社会性の発達 (河崎美香) 事例「ブランコの取り合い」を取り上げ、個とグループ内の関係が時間経過とともにどのように変容していくかを捉え、幼児理解と援助について学ぶ。	
	【予習】テキスト第9章3,4,5節を読む	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する	90分
第8回	行動観察による幼児の内面理解 (河崎美香) 子どもの内面を理解するために、子どもの行動を観察、記録、評価する方法について学ぶ。	
	【予習】テキスト第6章を読む	90分
	【復習】保育観察と記録の意義について整理する	90分

第9回	特別な支援を必要とする幼児の理解 (河崎美香) 特別な支援を必要とする幼児を中心に、個別支援のあり方、集団の中での援助、子ども同士の育ち合いについて学ぶ。	
	【予習】テキスト第12章を読む	90分
	【復習】障害に応じた個別支援のあり方と集団の中での支援の意義について整理し、考察する	90分
第10回	幼児を知るための保護者理解 (河崎美香) 保護者の心情や幼児教育を取り巻く現状を踏まえ、保護者支援や家庭との連携の方法について理解を深める。	
	【予習】テキスト第14章を読む	90分
	【復習】保護者支援や家庭との連携の方法について整理し、考察する	90分
第11回	事例から学ぶ「子どもの思いを受け止める 母を思う子どもの気持ち」 保育現場でのエピソード記述を読み理解を深める、DVD教材を用いて子どもの姿のイメージを高める。(嶋野珠生)	
	【予習】事前に配布するプリント(エピソード記述)を読んでおく。	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する	90分
第12回	事例から学ぶ「子どもの思いを受け止める トラブル場面で子どもの思いを受け止める」 保育現場でのエピソード記述を読み理解を深める、DVD教材を用いて子どもの姿のイメージを高める。(嶋野珠生)	
	【予習】事前に配布するプリント(エピソード記述)を読んでおく。	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する 振り返りシート 提出は へ	90分
第13回	事例から学ぶ「家族関係のなかの子どもの思い」 保育現場でのエピソード記述を読み理解を深める、DVD教材を用いて子どもの姿のイメージを高める。(嶋野珠生)	
	【予習】事前に配布するプリント(エピソード記述)を読んでおく。	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する	90分
第14回	事例から学ぶ「障害児保育」 保育現場でのエピソード記述を読み理解を深める。(嶋野珠生)	
	【予習】事前に配布するプリント(エピソード記述)を読んでおく。	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する	90分
第15回	事例から学ぶ「エピソード記述を用いた保育ケース会議から学ぶ」園内ケース会議を通じた子どもの理解と援助の実際を学ぶ。(嶋野珠生)	
	【予習】事前に配布するプリント(エピソード記述)を読んでおく。	90分
	【復習】保護者支援や家庭との連携の方法について整理し、考察する	90分
第16回	筆記試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1. 全15回の授業内ワークシート及びコメントシート(60%程度)、レポート課題(40%)で評価する。 2. 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	河崎：谷田貝公昭監修・大沢裕編著「新版 幼児理解」	使用資料 <参考図書>	各授業において必要に応じて紹介する。
授業外学修等	次回分のテキスト・資料の予習をしておくこと。		
授業外質問方法	河崎：メール、オフィスアワーに研究室に来ること 嶋野：研究室（富山短期大学F館の511号室）へ直接来ること		
オフィス・アワー	金曜 10:50～12:20 河崎研究室(E302)		

授業科目名	子どもの食と栄養	科目コード	K1402P06
英文名	Child Food and Nutrition		

科目区分	子どもの発達と環境
------	-----------

職名	非常勤講師	担当教員名	大掛 恵美子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性を踏まえた栄養の意義と、発達段階に応じた食生活のあり方について学ぶ。 ・子どもを取り巻く食の諸問題等について、グループワークや対話型で授業を展開する。 ・3回の調理実習をとおして、より実践的な能力を養う。 (担当教員：管理栄養士として、病院および併設児童福祉施設、認定こども園において実務経験あり)			
-------	--	--	--	--

キーワード	子ども	健康	食生活	食育	栄養
-------	-----	----	-----	----	----

到達目標	子どもの心身の成長、人格や情緒の形成にも大きな影響を及ぼす食の重要性を、専門的知識をもって伝えることができる。(80%)
	専門職として他職種や家庭・地域との連携をとりながら効果的に指導できる。(20%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業のねらい・進め方等の本講義がめざすものを紹介し、子どもの健康と食生活の意義について考える。	
	【予習】テキスト8～36ページを読み、子どもの食と栄養の意義・特徴を調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認、まとめる。	60分
第2回	栄養と食品に関する基礎知識（1） 将来の健康づくりの基礎となる小児栄養の意義と重要性、5大栄養素の働きについて学ぶ。	
	【予習】テキスト38～57ページを読み、栄養素の働きや特徴を調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認、まとめる。	60分
第3回	栄養と食品に関する基礎知識（2） 栄養素の働きと消化吸収などの基礎的知識を学ぶ。	
	【予習】テキスト58～70ページを読み、栄養素の働きと消化吸収について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認、まとめる。 <授業アンケートフィードバック:>	60分
第4回	栄養と食品に関する基礎知識（3） 栄養素をバランスよく摂取するために、食事づくりに必要な献立作成のポイントと調理の基本を学ぶ。 <第4回講義資料:>	
	【予習】テキスト72～92ページを読み、食事として摂取する食品の量や数、調理法について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認、まとめる。	60分
第5回	子どもの発育・発達と食生活（1） 妊娠・授乳期の食生活、乳児期の食生活・調乳について学ぶ。	
	【予習】テキスト94～107ページを読み、妊娠・授乳期および乳児期の食生活や調乳方法について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認、まとめる。	60分
第6回	子どもの発育・発達と食生活（2） 離乳の意義・必要性・進め方と幼児期の心身の発達と食生活の特徴について理解を深める。 配付資料：	
	【予習】テキスト108～119ページを読み、授乳期・離乳期の意義と幼児期の食生活について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認、まとめる。	60分
第7回	子どもの発育・発達と食生活（3） 間食の意義と与え方、学童期・思春期の食生活の特徴に理解を深める。	
	【予習】テキスト120～137ページを読み、間食のあり方・学童期・思春期の食生活について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認、まとめる。	60分

第8回	<p>食育の基本と内容（1） 食育基本法が成立した背景を把握し、食育における養護と教育の一体化を考える。 食育の内容と計画の立案等を行う。</p>	
	<p>【予習】テキスト144～157ページを読み、どのような目的とねらいを持って食育を行うか、どのような媒体をもちいて食育を行うことができるか調べる。</p>	30分
	<p>【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認し、まとめて、食育の計画案を立てる。</p>	60分
第9回	<p>食育の基本と内容（2） 子どもを取り巻く食環境と家庭・地域支援について学び、子どもや保護者を支援できる力を養う。</p>	
	<p>【予習】テキスト158～170ページを読み、子どもを取り巻く食環境とその課題、支援策について調べる。</p>	30分
	<p>【復習】食育計画を具体化し、まとめる。</p>	60分
第10回	<p>家庭や児童福祉施設における食生活 家庭や児童福祉施設における食事のあり方に理解を深め、専門職としての役割を検討する。</p>	
	<p>【予習】テキスト172～185ページを読み、施設における実際の食生活と望まれる保育者の対応について調べる。</p>	30分
	<p>【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認、まとめる。</p>	60分
第11回	<p>特別な配慮を要する子どもの食と栄養 疾病と食事の対応、摂食嚥下障害など障害のある子どもへの対応について学び、実践できる力を養う。</p>	
	<p>【予習】テキスト186～201ページを読み、特別な配慮が必要な子どもへの対応について調べる。</p>	30分
	<p>【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認、まとめる。</p>	60分
第12回	<p>特別な配慮を要する子どもの食と栄養（2） 食物アレルギーのある子どもへの対応について学び、実践できる力を養う。</p>	
	<p>【予習】テキスト202～222ページを読み、食物アレルギーを起こしやすい食品や子どもへの対応について調べる。</p>	30分
	<p>【復習】講義内容を振り返り、学んだ要点を確認、まとめる。</p>	60分
第13回	<p>実習（1）幼児期の間食 間食の必要性和意義について理解を深め、アレルギーや食育を意識したおやつを作る。</p>	
	<p>【予習】間食の必要性和意義、与え方について調べる。テキスト120～127ページを読み復習しておく。</p>	30分
	<p>【復習】調理実習を終え、試食後の感想をレポートにまとめる。</p>	60分
第14回	<p>実習（2）離乳食 発達段階に合わせた調理形態や離乳食調理のポイントを実践しながら学ぶ。</p>	
	<p>【予習】発達段階に応じた離乳食についてテキスト108～113ページを読み復習しておく。</p>	30分
	<p>【復習】調理実習を終え、試食後の感想をレポートにまとめる。</p>	60分
第15回	<p>実習（3）幼児期の食事 食育を意識した幼児食を作り、調理のポイントを実践しながら学ぶ。</p>	
	<p>【予習】幼児食と食育について、テキスト114～117ページを読み復習しておく。</p>	30分
	<p>【復習】調理実習を終え、試食後の感想をレポートにまとめる。</p>	60分

第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	学期末試験（60％程度）、レポート（25％程度）、受講態度（15％程度）とし、総合評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	大江敏江ほか 「子どもの食と栄養演習ブック」 第2版	使用資料 <参考図書>	参考資料一覧<op.file1 code="#2584"></op.file1>
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職として、子どもの食生活の面で保護者を指導・支援していくことが期待されている。 ・学生自身、自らの食生活に関心を持ち、健康の維持・増進のためにも積極的に取り組んでほしい。 ・理解を深めるために、予習・復習に努めること。 		
授業外質問方法	授業の前後に受け付けます。		
オフィス・アワー	授業終了後、非常勤講師控室で対応		

授業科目名	相談援助の理論と方法	科目コード	K1502F04
英文名	Theory & Methods of Social Work I		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授	担当教員名	村上 満
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日 月曜日	時限	5限目 2限目
開講時期	2年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要	<p>・人権の尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえながら、相談援助（ソーシャルワーク）活動をしていく上での基本的なコミュニケーションや人との円滑な付き合い方等といった信頼関係の形成を図るための基盤となる理論を通して、相談援助の一連の過程（インテークからアフターケアまで）とそれに係る知識と面接技術について理解する。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	社会福祉士	相談援助	ソーシャルワーク	各種アプローチ
-------	-------	------	----------	---------

到達目標	相談援助（ソーシャルワーク）活動について、具体的に説明することができる。（25％）
	相談援助の構造と機能について、分かりやすく答えることができる。（25％）
	相談援助における展開過程について、系統立てて説明することができる。（25％）
	代表的なアプローチについての概要を説明することができる。（25％）

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・相談援助とは ソーシャルワークの定義について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	相談援助とは ソーシャルワークの役割について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	相談援助の構造と機能 ソーシャルワークの構造について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	相談援助の構造と機能 ソーシャルワークの機能について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	相談援助における援助関係 援助関係の意義について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	相談援助における援助関係 援助関係の質と自己覚知	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	相談援助の展開過程 相談援助のプロセス	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	相談援助の展開過程 ケース発見からインテークまで	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第9回	相談援助の展開過程 問題把握からアセスメントまで	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第10回	相談援助の展開過程 支援目標の設定から支援の計画まで	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	相談援助の展開過程 支援の実施から経過観察まで	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	相談援助の展開過程 再アセスメントと支援目標の再設定まで	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第13回	相談援助の展開過程 支援の終結とアフターケアまで	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第14回	相談援助の展開過程 予防的対応とサービス開発について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第15回	前期の振り返りとまとめ これまでの総まとめ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第16回	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの意義と目的	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第17回	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの方法と留意点	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	相談援助のための契約の技術 契約の意義と目的	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第19回	相談援助のための契約の技術 契約の方法と留意点	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第20回	相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントの特性	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第21回	相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントで得た情報の使い方	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第22回	相談援助のための介入の技術 介入の意義と目的	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第23回	相談援助のための介入の技術 介入の方法と留意点	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第24回	相談援助の展開過程における技術 経過観察、再アセスメントの技術	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第25回	相談援助の展開過程における技術 効果測定、評価とサービス開発の技術	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第26回	相談援助のための面接の技術 面接の目的と展開	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第27回	相談援助のための面接の技術 面接におけるコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第28回	相談援助のための記録の技術 記録の意義と活用	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第29回	相談援助のための記録の技術 記録の方法と今後の課題	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第30回	相談援助のための交渉の技術 交渉の意義とプレゼンテーション	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第31回	期末試験	
	【予習】期末試験に向けての内容理解	180分
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 1 ~ 4 は、毎回の小プリントと期末試験(80%)で評価する。</p> <p>態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p> <p style="text-align: right;">受講</p>		
使用資料 <テキスト>	『相談援助の理論と方法』社会福祉士養成講座編集委員会(中央法規)	使用資料 <参考図書>	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房
授業外学修等	<p>上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。</p> <p>児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜・3限 E709村上研究室</p>		

授業科目名	相談援助演習 (A)	科目コード	K1502F06
英文名	Seminar in Social Work I		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授	担当教員名	室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日 木曜日	時限	5限目 3限目
開講時期	2年通年	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	相談援助の知識と技術について、演習を通して学習する。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発にかかわる具体的な相談援助事例を体系的に取り上げるとともに、個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導を中心とする演習を行う。ソーシャルワーク実践現場の経験有り。ソーシャルワークの実務経験あり。			
-------	--	--	--	--

キーワード	コミュニケーション	面接技法	価値と倫理	事例学習
-------	-----------	------	-------	------

到達目標	社会福祉士に求められる相談援助にかかわる知識と技術の基礎を習得することができる。また主体的に課題に取り組む姿勢を身につけることができる。(100%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 事前テスト解説	
	【予習】	
	【復習】課題レポートに取り組む。 なぜ社会福祉士を取得するのか、またどのような社会福祉士を目指すのか、そのために自分は何をするのか述べてください。 提出(～4/12)	60分
第2回	自己理解、自己覚知	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第3回	コミュニケーション (パისტックの原則)	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第4回	記録技法と情報整理技法 (ジェノグラム) 【資料】「ジェノグラム」「PPT資料」	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第5回	記録技法と情報整理技法 (エコマップ) 【資料】「エコマップ」「事例1」「PPT資料」	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第6回	コミュニケーション (非言語コミュニケーション)	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第7回	自分の生活史作成	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第8回	自分の生活史把握	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分

第9回	自分の生活史把握	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第10回	他者理解	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第11回	面接技法（受容・個別化・利用者主体）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第12回	面接技法（かかわり技法・観察技法）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第13回	面接技法（要約）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第14回	面接技法（ロールプレイ）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第15回	相談援助演習の基本概念 個人の理解	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第16回	相談援助演習の基本概念 環境の理解	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第17回	相談援助演習の基本概念 価値と倫理（人権・社会正義）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分

第18回	事例学習 児童養護（1） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第19回	事例学習 児童養護（2） 模擬ケア会議	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第20回	事例学習 発達障害（1） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第21回	事例学習 発達障害（2） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第22回	事例学習 身体障害（聴覚障害）（1） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第23回	事例学習 身体障害（聴覚障害）（2） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第24回	事例学習 発達障害（3） 模擬ケア会議	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第25回	事例学習 知的障害（1） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第26回	事例学習 知的障害（2） 模擬ケア会議	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分

第27回	事例学習 身体障害（肢体不自由）（1） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第28回	事例学習 身体障害（肢体不自由）（2） 模擬ケア会議	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第29回	事例学習 身体障害（肢体不自由）（3）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第30回	事例学習の振り返り ふりかえり（まとめ）	
	【予習】	
	【復習】【後期のまとめ】	30分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標について、参加状況・取り組みの姿勢等(50%)、レポート(50%)により総合的に評価する。全出席を原則とする。なお、評価する基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	監修：社団法人日本社会福祉士養成校協会 『社会福祉士相談援助演習』（第2版）(中	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	日頃より関連のある文献をよく読んでおくこと。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。室林（muro@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	月曜 1 限、室林研修室		

授業科目名	相談援助演習 (B)	科目コード	K1502F06
英文名	Seminar in Social Work I		

科目区分	子ども育成の相談・援助		
------	-------------	--	--

職名	教授	担当教員名	室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	2年通年	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	相談援助の知識と技術について、演習を通して学習する。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発にかかわる具体的な相談援助事例を体系的に取り上げるとともに、個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導を中心とする演習を行う。ソーシャルワークの実務経験あり。			
-------	--	--	--	--

キーワード	コミュニケーション	面接技法	価値と倫理	事例学習
-------	-----------	------	-------	------

到達目標	社会福祉士に求められる相談援助にかかわる知識と技術の基礎を習得することができる。また主体的に課題に取り組む姿勢を身につけることができる。(100%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 事前テスト解説	
	【予習】	
	【復習】課題レポートに取り組む。 なぜ社会福祉士を取得するのか、またどのような社会福祉士を目指すのか、そのために自分は何をするのか述べてください。 提出(～4/12)	60分
第2回	自己理解、自己覚知	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第3回	コミュニケーション (パისტックの原則)	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第4回	記録技法と情報整理技法 (ジェノグラム) 【資料】「ジェノグラム」「PPT資料」	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第5回	記録技法と情報整理技法 (エコマップ) 【資料】「エコマップ」「事例1」「PPT資料」	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第6回	コミュニケーション (非言語コミュニケーション)	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第7回	自分の生活史作成	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第8回	自分の生活史把握	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分

第9回	自分の生活史把握	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第10回	他者理解	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第11回	面接技法（受容・個別化・利用者主体）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第12回	面接技法（かかわり技法・観察技法）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第13回	面接技法（要約）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第14回	面接技法（ロールプレイ）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第15回	相談援助演習の基本概念 個人の理解	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第16回	相談援助演習の基本概念 環境の理解	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第17回	相談援助演習の基本概念 価値と倫理（人権・社会正義）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分

第18回	事例学習 児童養護（1） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第19回	事例学習 児童養護（2） 模擬ケア会議	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第20回	事例学習 発達障害（1） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第21回	事例学習 発達障害（2） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第22回	事例学習 身体障害（聴覚障害）（1） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第23回	事例学習 身体障害（聴覚障害）（2） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第24回	事例学習 発達障害（3） 模擬ケア会議	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第25回	事例学習 知的障害（1） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分
第26回	事例学習 知的障害（2） 模擬ケア会議	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどのように考え行動したか振り返る。	30分

第27回	事例学習 身体障害（肢体不自由）（1） 事例検討	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどうに考え行動したか振り返る。	30分
第28回	事例学習 身体障害（肢体不自由）（2） 模擬ケア会議	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどうに考え行動したか振り返る。	30分
第29回	事例学習 身体障害（肢体不自由）（3）	
	【予習】	
	【復習】本日の演習で自分はどうに考え行動したか振り返る。	30分
第30回	事例学習の振り返りふりかえり（まとめ）	
	【予習】	
	【復習】一年をとおりて自分は何を学んだのか振り返る。	30分
第31回	補講(該当者のみ)（1）1限	
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標について、参加状況・取り組みの姿勢等(50%)、レポート(50%)により総合的に評価する。全出席を原則とする。なお、評価する基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	監修：社団法人日本社会福祉士養成校協会 『社会福祉士相談援助演習』（第2版）(中	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	日頃より関連のある文献をよく読んでおくこと。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。室林（muro@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	月曜 1 限、室林研修室		

授業科目名	地域福祉論	科目コード	K1602F04
英文名	Community Welfare		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援
------	----------------

職名	教授	担当教員名	相山 馨
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日 金曜日	時限	4限目 4限目
開講時期	2年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要	現在の社会福祉の中心的課題である地域福祉の発展過程をふまえて、新しい地域福祉の展開を明らかにする。また、それを具現化するソーシャルワークアプローチについて考察する。(担当教員:地域でのソーシャルワーク実践の実務経験あり)		
-------	--	--	--

キーワード	福祉教育	コミュニティソーシ	ソーシャルサポート		
-------	------	-----------	-----------	--	--

到達目標	地域福祉の発展過程や新しい社会福祉システムとしての地域福祉について知識を得ることができる。(25%)
	地域福祉の基本的な考え方やその主体と対象について学ぶことができる。(25%)
	多様化したニーズに対応するための新たな地域福祉実践の展開方法について理解することができる。(50%)

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	地域福祉の発展過程	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第2回	行政と住民の協働による地域福祉	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第3回	地域福祉の理念	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第4回	地域のとらえ方と福祉圏域	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第5回	地域福祉の主体	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第6回	福祉教育の概念と内容	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第7回	社会福祉協議会の役割と実際	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第8回	地域福祉に関わる組織と団体	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分

第9回	コミュニティソーシャルワークの考え方	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第10回	コミュニティソーシャルワークの方法	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第11回	専門他職種のチームアプローチとコミュニティソーシャルワーク	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第12回	住民の参加とその方法	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第13回	ソーシャルサポートネットワーク	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第14回	ソーシャルサポートネットワークとエコロジカルアプローチ	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第15回	実践事例の展開	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

第17回	社会資源の概要と社会資源活用	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第18回	福祉サービスの開発	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第19回	福祉でまちづくりとソーシャルアクション	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第20回	地域福祉におけるアウトリーチの意義	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第21回	質的な福祉ニーズの把握方法と実際	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第22回	量的な福祉ニーズの把握方法と実際	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第23回	地域自立生活支援におけるチームアプローチとソーシャルワーク実践	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第24回	ジェネラルソーシャルワークの展開過程	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分

第25回	地域トータルケアシステムの展開方法	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第26回	地域トータルケアシステムの事例	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第27回	福祉サービスの評価方法と実際	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第28回	地域福祉の実践事例（地域の見守りネットワーク）	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第29回	地域福祉の実践事例（いきいきサロンとケアネット）	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第30回	日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方（イギリス）	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第31回	日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方（アメリカ）	
	【予習】テキストを読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第32回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	試験(70%)、ワーク点(30%)		
使用資料 <テキスト>	社会福祉士養成講座編集委員会編 『地域福祉の理論と方法』(中央法規)	使用資料 <参考図書>	太田義弘編 『ソーシャルワーク実践と支援科学』(
授業外学修等	日頃から地域の特性や住民の生活をとらえるよう心がけること。 テキストを中心に予習し、授業で出てきたキーワードを中心に復習を継続すること。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。相山 (aiyama@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	月曜1限 相山研究室		

授業科目名	高齢者福祉論	科目コード	K1602F13
英文名	Social Welfare for the Elderly		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援		
------	----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	相山 馨
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日 水曜日	時限	5限目 4限目
開講時期	2年通年	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	4単位

授業の概要	<p>高齢者の特性や現代社会における高齢者の生活実態について考察する。また、高齢者保健福祉に影響を及ぼした社会的諸要因を探りながら、介護保険制度を中心とした高齢者保健福祉制度の内容について概説する。(担当教員:高齢者福祉でのソーシャルワーク実践の実務経験あり)</p>		
-------	--	--	--

キーワード	介護保険	地域包括ケアシステ	高齢者虐待		
-------	------	-----------	-------	--	--

到達目標	高齢者の特性とその生活実態について理解する。(30%)				
	高齢者保健福祉制度を体系的に把握する。(30%)				
	介護保険制度の基本的枠組みやサービスの体系について習得する。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	高齢者の特性	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第2回	高齢者の生活実態	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第3回	少子高齢社会と高齢者	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第4回	高齢者保健福祉の起源と生成	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第5回	高齢者保健福祉制度の発展	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第6回	老人福祉法	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第7回	高齢者虐待防止法	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第8回	高齢者の権利擁護とネットワーク	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第9回	高齢者に関わる他の法律	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分

第10回	介護保険制度の目的と理念	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第11回	介護保険制度の仕組み	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第12回	地域包括支援センターの役割	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第13回	介護保険サービスの体系（居宅サービス）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第14回	介護保険サービスの体系（施設サービス、地域密着型サービス）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第15回	社会福祉協議会と非営利民間活動の取り組み	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第16回	期末試験	
	【予習】	30分
	【復習】	
第17回	高齢者の生活課題と社会資源活用	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第18回	高齢者支援の方法	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分

第19回	高齢者支援における連携と実際（アセスメント）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第20回	高齢者支援における連携と実際（生活ニーズの明確化とケアプラン）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第21回	高齢者支援における連携と実際（地域包括支援センターの支援展開）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第22回	高齢者を支援する専門職の役割とその実際	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第23回	介護の概念と範囲	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第24回	介護過程の概要	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第25回	介護過程の展開技法	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第26回	自立に向けた介護と介護予防	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第27回	住環境の整備と福祉用具	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分

	I C Fモデルに基づくケアの展開	
第28回	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
	認知症ケア	
第29回	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
	認知症ケアマネジメントの展開	
第30回	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
	高齢者福祉の今後の課題	
第31回	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	30分
第32回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	試験(70%)、ワーク点(30%)		
使用資料 <テキスト>	社会福祉士養成講座編集委員会編	使用資料 <参考図書>	太田義弘編 『ソーシャルワーク実践と支援科学』(
授業外学修等	日頃から高齢者とふれ合う機会をつくり、生活課題の特性をとらえるよう心がけること。 テキストを中心に予習し、授業で出てきたキーワードを中心に復習を継続すること。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。相山 (aiyama@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	月曜1限		

授業科目名	障害者福祉論	科目コード	K1602L14
英文名	Social Welfare for People with Disabilities		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援		
------	----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	障害者福祉の理念と意義、障害者福祉制度とその発展過程、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉需要について理解し、障害者総合支援法や障害者福祉に関する法とサービス体系について学ぶ。ソーシャルワークの実務経験あり。			
-------	---	--	--	--

キーワード	I C F	障害者権利条約	障害者基本法	障害者総合支援法
-------	-------	---------	--------	----------

到達目標	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉需要について理解することができる。(30%)			
	社会福祉士に求められる障害者福祉に関する法・制度及び関連分野の専門職とその連携のあり方、障害者に対する相談援助活動について理解することができる。(70%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	3.地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】	
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	20分
第2回	障害福祉の基本理念	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第3回	障害者を取り巻く社会情勢と生活実態（1）（障害の概念とその理解）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第4回	障害者を取り巻く社会情勢と生活実態（2）（障害者福祉の歩み）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第5回	障害者にかかわる法体系（1）（障害者基本法）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第6回	障害者にかかわる法体系（2）（身体障害者福祉法等）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第7回	障害者にかかわる法体系（3）（障害者差別解消法等）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第8回	障害者にかかわる法体系（4）（他関連法）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第9回	障害者自立支援制度（1）（障害者総合支援法の考え方）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分

第10回	障害者自立支援制度（2）（障害福祉サービス利用のプロセス）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第11回	障害者自立支援制度（3）（総合的な自立支援システムの仕組みと課題）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第12回	障害者自立支援制度（4）（障害児に対する支援）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第13回	専門職の役割と実際（相談支援事業の役割と組織体系）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第14回	組織・機関の役割	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第15回	他職種連携ネットワーク	
	【予習】教科書を全体をとおして読む。	30分
	【復習】教科書を中心に、全体を把握する。	30分
第16回	期末試験	
	【予習】教科書を中心に理解を深める。	60分
	【復習】	

評価方法	到達目標 から について、取り組む姿勢・授業態度（20%）、試験（80%）で、総合的に評価する。なお、評価する基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	新・社会福祉士養成講座14「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」（第5版）（	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	日頃から、新聞等で障害者福祉に関心を持ち、最新の動向を確認すること。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。室林（muro@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	月曜1限 室林研究室		

授業科目名	子ども活動実践演習	科目コード	K1702P02
英文名	Training in Children's Activities		

科目区分	富山の子ども育成		
------	----------	--	--

職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	各地域における子ども活動の事例を取り上げ、どのような子ども活動が行われているのかを知る。また、実際に子ども活動を自分たちで企画し、教材研究を行い、保育の現場で実践する。		
-------	--	--	--

キーワード	ワークショップ	実践力	創造的な学びの場の	
-------	---------	-----	-----------	--

到達目標	各地域で行われている子どもを対象とした活動(子ども活動)の事例を検討し、視野を広げることができる。(20%)		
	子どもたちと触れ合い、興味・関心をもたせるための活動を考えたり、援助や支援をどのようにしていくかを実践的に学ぶことができる。(50%)		
	子どもを対象とした活動やワークショップを行うための企画、運営、実施、反省、改善の流れを身につけることができる。(30%)		

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力(人間性の向上)	地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 楽しいと感じる、活動、授業とはどんなものであるか、討議を通して、考察する。	
	【予習】参考文献等で子どもの活動にはどのようなものがあるのかを調べる	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第2回	子ども活動企画書づくり(活動案について)	
	【予習】アイデアをまとめる	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第3回	子ども活動企画書づくり(企画書作成、資料、材料、情報の収集)	
	【予習】アイデアをまとめる	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第4回	子ども活動企画書づくり(班ごとに企画書作成)	
	【予習】具体的な動きを考える	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第5回	子ども活動に向けての制作、準備 (活動場所の下見、会場構成)	
	【予習】下見の計画を立てる	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第6回	子ども活動に向けての制作、準備 (背景等)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第7回	子ども活動に向けての制作、準備 (小道具等)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第8回	子ども活動に向けての制作、準備 (大道具等)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第9回	子ども活動に向けての制作、準備 (案内板等)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分

第10回	子ども活動に向けての制作、準備（スタンプラリー等）	
	【予習】材料、教材、道具の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第11回	子ども活動に向けての制作、準備（制作物の運搬、設置等）	
	【予習】具体的な計画をもつ	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第12回	子ども活動実践に向けての最終打ち合わせ、準備の確認	
	【予習】具体的な計画をもつ	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第13回	子ども活動の実践	
	【予習】活動の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第14回	子ども活動の実践	
	【予習】活動の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第15回	子ども活動実践後の振り返りと考察（全体協議） まとめ	
	【予習】活動記録を準備する	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ~ について、子ども活動企画立案（20%）、実践の取り組みの様子（80%）で評価します。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	特になし
授業外学修等	自分が企画、実践したいアイデアを考えてください。 地域で行われているワークショップの情報収集をしてください。		
授業外質問方法	いつでも研究室にお越しください。		
オフィス・アワー	水曜2限（E-306佐部利研究室）		

授業科目名	富山の生活特別講義	科目コード	K1708P06
英文名	Special Lecture: Living in Toyama		

科目区分	富山の子ども育成		
------	----------	--	--

職名	教授 非常勤講師 非常勤講師	担当教員名	相山 馨 杉森 裕子 長守 信子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	3限目
開講時期	2年・3年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>「富山の生活特別講義」として、富山における女性の生活と子育てを巡る歩み、現状と課題について学び、地域に根ざした子どもの育成のあり方について理解を深めるとともに考究する。それぞれのテーマとねらいに基づいてオムニバス方式の授業展開を図る。(担当教員:地域でのソーシャルワーク実践の実務経験あり)</p>		
-------	--	--	--

キーワード	女性の生活	子育て		
-------	-------	-----	--	--

到達目標	(非常勤講師・杉森裕子) 富山の女性と食生活・食育をめぐる歩み・現状・課題について理解することができる。(25%)			
	(非常勤講師・長守信子) 富山の女性の生き方・女性問題の動向について理解することができる。(25%)			
	(准教授・相山馨) 富山の女性と地域資源活用をめぐる歩み・現状・課題について理解することができる。(50%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力(人間性の向上)	21世紀を生きる社会人としての資質・能力(社会性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・富山の生活環境 【相山】 富山の生活環境について検討する。	
	【予習】富山の生活環境について調べる	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第2回	地域の特性の理解 【相山】 それぞれの地域（市町村・圏域）の特性について把握し、地域の強みをみつける。	
	【予習】住んでいる市町村の強みについて考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第3回	地域の特性の理解 【相山】 それぞれの地域（市町村・圏域）の特性について把握し、地域ニーズをとらえる。	
	【予習】住んでいる市町村の改善点について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第4回	子どもをめぐる現状【長守】 現代の子育てをめぐる年代別問題の現状と子どもに与える影響	
	【予習】最近の、子どもをめぐる問題の背景について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第5回	女性の生き方【長守】 富山県内の年代別にみる女性の生き方と問題対応の特徴について考える。	
	【予習】自分が考える、地域の特性や特徴について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第6回	連鎖する社会問題【長守】 DV、貧困問題など連鎖が考えられる問題を考察する。	
	【予習】DVについて調べる	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第7回	女性問題の動向【長守】 女性問題の動向と必要と思われる社会資源を探る。	
	【予習】今後、あったらよいと思われる支援制度を考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第8回	子どもの発達連続性 【山浦】 幼稚園・保育園(所)・こども園と小学校の滑らかな接続について考える。	
	【予習】幼保と小のギャップ（生活の違い等）について調べる	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分

第9回	女性の生き方（仕事と子育て）【山浦】 教員として親として、それぞれの立場から仕事と子育てについて考える。	
	【予習】仕事を優先するか、子育てを優先するか、自分の生き方を考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第10回	気になる子どもへの関わり方【山浦】 幼児・児童への特別支援教育について考える。	
	【予習】気になる子どもの具体的な言動について探る	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第11回	現在の食生活の現状と課題 【杉森】 食生活の乱れから、子どもの生活習慣病予備軍が増加。県のデータをもとに食生活の改善を検討する。	
	【予習】近年の子どもの食生活について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第12回	食をとおした保護者への支援 【杉森】 家庭の行動変容に繋がる保護者支援に向けて、子どもの健やかなこころと身体を育む教育の重要性に理解を深める。更に子どもの頃からスポーツに親しみ運動ができる身体をつくるための食習慣について学ぶ。	
	【予習】保護者が抱える食生活の課題について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第13回	富山の農水産物・郷土料理【杉森】 富山の恵まれた自然環境から育まれた農水産物を顧みて、和食を基本とした「富山型食生活」への理解を深め実践へと繋げる。	
	【予習】富山の食文化について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第14回	富山の冠婚葬祭・行事食・風習【杉森】 富山の食文化継承と共に、先人の知恵や健康志向について考える。また、富山における女性の生活と子育てに地域特有の風習があることを知り、子どもの健康・幸福を願う親の思いを探る。	
	【予習】富山の風習について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第15回	住みよい地域づくりと専門職の役割 【相山】 「安心して生活し続けるための地域」とそれを支える専門職の役割について検討する。	
	【予習】「安心して生活し続けるための地域」について考える	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート(80%)、受講態度(20%)		
使用資料 <テキスト>	必要に応じて講義レジュメを配布する。必要に応じてテキスト等を指定する。	使用資料 <参考図書>	講義の中で紹介する。
授業外学修等	日頃、富山の生活・女性・子育て関連の出来事やニュースなどに注目しておくこと。 授業内容を復習し、再確認しておくこと。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。相山 (aiyama@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	月曜1限 相山研究室		

授業科目名	とやま地域学	科目コード	K1711P11
英文名	Toyama Regional Studies		

科目区分	富山の子ども育成
------	----------

職名	教授	担当教員名	尾畑 納子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年・3年・4年前期集中	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>新型コロナウイルスの感染拡大は世界を一変させました。拡大防止のため非常事態宣言や海外の大都市での都市封鎖など、これまで経験したことのない生活の制限を強いられることになりました。その影響は甚大で、今後私たちの生活様式は大きく変化することになります。</p> <p>今年度のとやま地域学のテーマは「過去から未来へー富山の未来創造ー」としました。県内大学生の皆さんに、富山という地域の歴史の変遷や自然環境、地域特性について学び、コロナ禍によって現在の東京集中社会から地域や社会はどのように変化していくのか、持続可能な社会とは何か、といった視点から、富山の地域づくりについて考えて欲しいと思います。様々な分野で富山について研究されている専門家の皆さんに、「データ分析から見る富山」、「歴史・文化の視点から見る越中・富山」、「豊かな森・里・川・海 of 自然環境」、「A I , デジタル化社会」について解説していただき、富山の未来を考えるきっかけとなることを目指します。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	富山の歴史	富山の自然	地方の未来創生		
-------	-------	-------	---------	--	--

到達目標	富山の歴史文化、環境、産業の現状などを学び、特色を理解すること。				
	富山の自然環境と持続可能な地域づくりを考える。				
	政策の専門家の講義を通して、富山のこれからについて考える。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 富山国際大学現代社会学部教授 尾畑 納子	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	地域創りの大転換 講師：富山地域研究所所長 浜松 誠二 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	地域創りの大転換 講師：富山地域研究所所長 浜松 誠二 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	地域創りの大転換 講師：富山地域研究所所長 浜松 誠二 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	越中（富山県）の歴史－大伴家持と富山 講師：前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	越中（富山県）の歴史－中世の社会 講師：前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	越中（富山県）の歴史－富山藩の大名たち 講師：前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	越中（富山県）の歴史－売薬業から見た近世・近代 講師：富山市郷土博物館 館長 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	富山の自然と地域エネルギー 講師：富山国際大学現代社会学部教授 上坂 博亨	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	富山の自然と地域づくり 講師：早稲田大学名誉教授 宮口 侗迪 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	富山の自然と地域づくり 講師：早稲田大学名誉教授 宮口 侗迪 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	水中カメラマンがみた富山湾の様子 水中カメラマン 大田 希生 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	立山から見る富山の自然 講師：立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田 肇 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	未来の富山 - ビッグデータとデジタル技術がもたらす社会変容 講師：富山国際大学 高木 利久 学長	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	新型コロナウイルス感染症について（仮） 講師：富山県理事・厚生部次長 木内哲平 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度及び毎時の課題、レポートをもって総合的に評価する。 試験は実施しない。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	・テキストは初回に無料配布予定。
授業外学修等			
授業外質問方法	・授業に関する質問は毎回質問票を配布して各講師に提出する。その他、休憩時間などを利用して質問に応じる。		
オフィス・アワー			